

# 淀川水系河川整備計画 進捗点検結果（前回点検～令和3年度）

P 1～ 木津川下流  
P 7～ 木津川上流  
P 1 2～ 淀川本川  
P 1 7～ 宇治川  
P 2 2～ 瀬田川・野洲川  
P 2 9～ 桂川  
P 3 4～ 猪名川

■進捗点検結果説明資料で取り上げた点検指標  
赤囲み：堤防強化

淀川水系河川整備計画の進捗点検における点検項目、観点及び指標

分類	No.	点検項目	観点	指標	平成30年度～令和3年度 進捗	点検結果
人と川とのつながり	1	日常からの川と人のつながりの構築	「住民参加推進プログラム」の作成・実践	住民参加推進プログラムの活動内容	進捗あり	木津川流域では、水辺に親しみやすい木津川の環境を活かした自然体験活動(木津川川ガキ団、親子で学ぼう遊ぼう等)や、過去の災害をふまえた防災活動(マイ・タイムライン学習等)、河川美化・維持管理等を目的とする淀川水系一斉美化アクションの実施など、多岐にわたる活動を実施した。
	2		住民・住民団体(NPO等)との連携	住民・住民団体(NPO等)との連携内容	進捗あり	平成30年度は、木津川管内では、淀川水系一斉美化アクションの一環として、地域団体、企業、行政と連携した「木津川流域クリーン作戦」を実施した(810名参加)。また、地域で活動する団体が交流する「木津川沿川活動団体交流会」を開催し、木津川の課題学習や意見交換を行い、共通の意見を「私たちの願い」としてとりまとめた(36名参加)。交流会の実施については地元紙で紹介された。令和元年度以降、コロナ禍の影響により、多数を集める活動を中止しているが、屋外での自然観察活動を中心に、河川愛護活動を継続的に実施している。
	3		河川レンジャーの充実	河川レンジャー在籍人数(治水・環境・防災などの拡大)と、住民・住民団体(NPO等)との交流内容	進捗あり	淀川河川事務所管内では各出張所管内毎に河川レンジャーを配置し、沿川全域で活動を行っており、平成30年度から令和3年度で592回(木津川では99回)、住民等と交流を行った。平成31年度の着衣泳の出前授業(R1.7)では、「着衣泳指導の目的がわかったか」の質問に100%が「わかった」と回答。
	4		子ども達の関わりの促進	環境教育等の実施内容	進捗あり	中聖牛等の水制設置後の変化を観察する継続的な生き物学習会や、親子で川について学ぶ学習会など、平成30年度～令和3年度で14回の活動を実施し、504名が参加した。令和3年度木津川で遊ぼうの活動(R3.7)では、「今日は貴重な体験を有り難うございました。子供を自然に触れさせる機会が少ないので非常に良い休日になりました。また参加したいです」「木津川に色々な魚がいることを知り、名前も知ることが出来ました」などの感想があった。
	5		情報発信の充実	HP、携帯サイトの情報発信内容、新しいコンテンツの取り組み	進捗あり	河川に係わる身近な情報(工事情報や河川のライブ映像、河川公園で行われるイベントなど)をホームページやSNS(Youtube、Facebook、Twitter)で、継続的に情報発信している。
	6		住民に関心をもってもらうための取り組み	住民に河川行政への関心をもってもらうための具体的な取り組み、住民、住民団体との交流内容	進捗あり	加茂水位観測所や神矢樋門・救急排水ポンプ学習会など、治水防災施設の役割を理解いただく活動を実施した。
	7		小径(散策路)、「歴史文化の薫る散歩道(仮称)」の整備	小径(散策路)の整備内容・延長	進捗なし	
	8		憩い、安らげる河川の整備	河川を安心して利用できる整備内容・箇所数	該当なし	
	9		三川合流部の整備	三川合流部交流拠点の整備内容	完了	平成28年度に三川合流部の交流拠点となる「さくらであい館」を背割堤地区に整備した。
	10	洪水・災害時の人と川とのつながりの構築	破堤氾濫に備えた分かりやすい情報発信	まるごとまちごとハザードマップ設置箇所・設置数、浸水想定区域、浸水シミュレーション等の防災情報の情報発信	進捗あり	沿川市町の京都市において、平成30年度に初めて1枚設置し、令和2年度に32枚、令和3年度に30枚を追加設置。 城陽市において、平成30年度に3枚、令和元年度に5枚を追加設置。 木津川市において、平成30年度に10枚、令和元年度に14枚、令和3年度に10枚を追加設置。 久御山町において、平成30年度に4枚、令和2年度に10枚、令和3年度に9枚を追加設置。 井手町において、平成30年度に初めて11枚を設置し、令和2年度に4枚を追加設置。 八幡市において、平成30年度に5枚を追加設置。 京田辺市において、平成30年度に2枚を追加設置。 笠置町において、平成30年度に初めて2枚を設置。 精華町において、平成30年度に初めて1枚を設置。それにより、京都府域で合計323枚を設置した。
	11		関係機関との連携	協議会等との連携内容	進捗あり	毎年度定期的に協議会(水害に強い地域づくり協議会)を開催することにより、関係自治体との連携を強化している。 なお、令和3年度は首長会議1回、行政WG2回、ブロック別会議3回、鉄道WGを1回開催し、関係機関との連携を図った。
	12	上下流の連携の構築	上下流交流の促進	水源地域ビジョンに基づく活動内容	該当なし	

■進捗点検結果説明資料で取り上げた点検指標  
赤囲み：堤防強化

淀川水系河川整備計画の進捗点検における点検項目、観点及び指標

分類	No.	点検項目	観点	指標	平成30年度～令和3年度 進捗	点検結果
環境	13	多様な生態系を有する淀川水系の再生と次世代への継承	琵琶湖・淀川水系の生態系の固有性および多様性の価値に関する保全	イタセンバラを目標種とした淀川中下流域での環境再生の実施内容・個体数〔下流域(湛水区間)、下流域(流水区間)〕	進捗あり	木津川の砂州化、河床浸食を改善するべく「中聖牛」などの伝統工法を用いて形成されるたまりを再生・保全を実施。また、たまりに生息する魚類、底生生物等の生息環境の調査として、継続的にタナゴ類仔魚の確認を行っている。令和3年度は399匹のタナゴ類の仔魚が確認された。
	14			ナカセコカワニナの生息・繁殖環境として望ましい河川環境の再生方策の検討内容〔中流域宇治川〕	該当なし	
	15			オオサンショウウオの生息・繁殖に適した河川環境の再生・創出方策の検討内容〔上流域(盆地～源流部)木津川〕	該当なし	
	16			アユモドキの生息環境として望ましい河川環境の再生方策の検討内容・確認箇所数〔中流域宇治川〕	該当なし	
	17	生態系・生物群集多様性の維持・回復に向けた取組	関係機関が連携した取り組み内容	進捗あり	「伝統的河川工法が河床地形や滞筋を替える効果と河床と生息場や生物群集に及ぼす影響」退の効果検証のため、京都大学防災研究所、やましろ里山の会、京の川の恵みを活かす会、京都大学、摂南大学、河川レンジャー等により竹蛇籠、聖牛、中聖牛を木津川中流部に設置した。	
	18	外来種対策の実施	外来種の現状把握と対策内容	進捗あり	平成30年度にコクチバス産卵床調査を実施。新木津川大橋から笠置大橋にかけて合計40箇所を確認し除去した。平成30年度にアレチウリ群落の成生育状況および結実前の除草試験の可否について検討を実施。	
	19	良好な景観の保全・創出の取り組み	瀬田川の水辺のあり方に関する取り組み内容〔上流域(山間部)宇治川～瀬田川、上流域(湛水区間)瀬田川(野洲川含む)〕	該当なし		
	20		河川景観を損ねている不法工作物等の計画的な正やゴミの不法投棄の防止内容・対策箇所数	進捗あり	木津川においては、平成30～令和3年度で約4,800㎡の不法耕作を是正した。平成30年度の不法耕作面積は約8.7万㎡であったが、令和3年度では、約8.2万㎡となり、減少傾向となっている。	
	21		ダム貯水池の斜面裸地対策、ダム周辺における構造物等の景観対策の実施内容・対策箇所数〔上流域(山間部)宇治川～瀬田川〕	該当なし		
	22	河川の連続性の確保	河岸-陸域の連続性の確保	ワンドやたまりの保全・再生内容・整備箇所数〔下流域(湛水区間)〕	進捗あり	木津川において土砂環境改善によるたまりの保全等を目的に、伝統的河川工法である中聖牛を設置している。平成30年から令和3年にかけて、木津川中流部右岸に新たに16基の中聖牛を製作・設置した。設置後の検証等により一部において浸食抑制効果があり、聖牛による導水効果、たまりへの土砂移動の促進効果が確認された。
	23		ヨシ原の保全・再生内容・面積〔下流域(感潮区間)、下流域(流水区間)、中流域宇治川〕	該当なし		
	24		内湾-汽水域-河川、琵琶湖-内湖-流入河川の連続性の確保	既設の堰・落差工の改良内容	該当なし	
	25	川本来のダイナミズムの再生	水位変動リズム回復のための流況・位況(流量・水位の変動様式)の改善	淀川大堰による水位操作の改善内容〔下流域(湛水区間)〕	該当なし	
	26			瀬田川洗堰による水位操作の改善内容〔上流域(湛水区間)瀬田川(野洲川含む)〕	該当なし	
	27			琵琶湖における水位低下緩和方策の検討内容〔上流域(湛水区間)瀬田川(野洲川含む)〕	該当なし	
	28			既設ダムにおける弾力的運用等の検討内容・魚類確認数〔上流域(山間部)木津川、上流域(山間部)名張川・宇陀川・青蓮寺川・猪名川〕	該当なし	
	29			河川環境上必要な流量を確保するための流況・位況(流量・水位の変動様式)の改善	流水の正常な機能を維持するため必要な流量の確保内容・正常流量確保日数	該当なし

■進捗点検結果説明資料で取り上げた点検指標  
赤囲み：堤防強化

淀川水系河川整備計画の進捗点検における点検項目、観点及び指標

分類	No.	点検項目	観点	指標	平成30年度～令和3年度 進捗	点検結果
30	30	流域の視点に立った水循環・物質循環系の構築	流域視点による水質対策の実現や流域的な現状把握状況	水質総量規制の実施体制の検討、新たな水質浄化の取り組み内容	進捗あり	河川事務所内の集中管理センターにて、24時間体制で水域の水質監視を行っている。
				南湖の再生プロジェクト取り組み内容〔上流域(湛水区間)瀬田川(野洲川含む)〕	該当なし	
				琵琶湖の水質保全対策の取り組み内容・効果〔上流域(湛水区間)瀬田川(野洲川含む)〕	該当なし	
				河川の水質保全対策の取り組み内容	進捗あり	木津川において継続的に水質調査(BOD)を実施。令和3年度の水質調査結果の平均値は0.8mg/L、水質階級はⅡ級であった。
				ダム貯水池の水質保全対策の取り組み内容・対策実施数	該当なし	
				河床変動等の土砂動態のモニタリング、総合土砂管理方策の検討内容(既存ダム、ダム下流)	進捗あり	淀川水系総合土砂管理検討委員会で総合土砂管理方策について検討。木津川上流河川事務所や水資源機構と連携した土砂管理について計画を検討中。
35	35	流域の土砂生産・移動・堆積の実態把握	流域の土砂生産・移動・堆積の実態把握	土砂を下流へ流すことができる砂防えん堤の設置内容・設置数(砂防施設)	該当なし	
37	37	流域管理に向けた継続的な施策展開	モニタリングの実施	河川環境のモニタリングの実施内容	進捗あり	事業の実施にあたっては淀川環境委員会の助言を得ながらモニタリングを実施している。木津川では木津川堤防強化工事施工箇所における貴重種等の植生回復の状況を把握するためのモニタリング調査を継続的に行っている。令和3年度に平成26年度以降の堤防強化工事でチガヤ群落表土の再利用が図られた箇所において、チガヤ群落の再生状況等、その効果を把握するためのモニタリング調査を実施。
				生物の生息・生育・繁殖環境に配慮した工事の施工	進捗あり	淀川環境委員会の指導・助言を得ながら生物の生息・生育・繁殖環境に配慮し適切に工事を施工している。令和3年度、淀川環境委員会に諮った工事案件数は42件だった。
				関係機関との連携による河川環境や景観の保全・再生	進捗あり	平成29年度に引き続いて、平成30年度からも土砂環境改善によるたまりの保全等を目的に、河川協力団体や河川レンジャーと連携し、伝統的河川工法である中聖牛、竹蛇籠を製作、設置した。
				河川管理者以外の者が管理する施設に対する働きかけ	進捗あり	木津川の高水敷利用について、公園等を審議対象として河川保全利用委員会を開催。令和3年度は川口市民会館(八幡市)、木津川河川敷運動公園(久御山町)、京都府木津川運動公園及び城陽市木津川河川敷運動広場(城陽市)、田辺木津川運動公園(京田辺市)を審議対象とし、河川保全利用委員会を開催した。
				河川環境の保全と再生のための人材育成	進捗あり	「多自然川づくり近畿地方ブロック会議」は、整備局・地方公共団体等の職員及び民間技術者の技術向上・研鑽を目的として毎年開催している。
				流域管理に向けた環境情報に関する調査研究の実施	進捗あり	平成28年度に環境情報図を更新してから4年が経過し、河川水辺の国勢調査をはじめとする環境情報データの蓄積や淀川保全対象種リストが更新されたことから、令和2年度に新たに環境情報図を更新した。

■進捗点検結果説明資料で取り上げた点検指標  
赤囲み：堤防強化

淀川水系河川整備計画の進捗点検における点検項目、観点及び指標

分類	No.	点検項目	観点	指標	平成30年度～令和3年度 進捗	点検結果
治水・ 防災	43	危機管理体制の構築	破堤氾濫に備えた被害の軽減対策、避難体制の確立	防災意識の啓発内容	進捗あり	河川レンジャーによる小学校等での出前講座を実施。実施回数は5回、参加者は175名であった。青谷小学校の講座(R3.10)では、「川がはんらんするときんということがわかりましたか」の質問には97%が「わかった」と回答した。
	44			自治体、水防団、マスメディア等との情報共有化のための情報伝達体制	進捗あり	R3年度、WEB会議により風水害対応時に水位予測データ等の共有を実施。
	45			ハザードマップの作成内容・フォローアップ	進捗あり	令和3年度に和東町(令和3年4月)、笠置町(令和3年9月)が淀川流域L2浸水想定区域によるハザードマップに更新している。これにより、木津川下流L2浸水想定範囲の自治体の更新が終了した。
	46			マイ防災マップの作成状況	進捗あり	マイ防災マップに関する出前講座を継続的に実施 令和3年度、マイ防災マップ作成オンライン学習動画を作成し事務所HPへ公表した。
	47			地下空間の浸水被害への対応状況	該当なし	
	48			水防活動、水防訓練への支援内容及び水防技術の継承	進捗あり	各沿川自治体でハザードマップ、避難計画の毎年更新や、各水防事務組合、水防団による水防訓練、河川レンジャーによる防災講座等を実施。
	49			水防拠点整備の内容・箇所数	進捗あり	令和3年度に水管理・国土保全局長より、水防拠点や河川防災ステーション等の防災関連施設整備に関する「河川防災関連施設全体計画」の承認を受けた。今後、全体計画に基づき沿川市町と河川防災ステーション整備に向けて調整を進めて行く。
	50			公共施設の耐水化等の支援内容	進捗なし	木津川市では市役所庁舎の耐水化として平成28年度に自家発電設備の燃料ポンプの電源基盤を1階から3階に移設。
	51			水害に強い地域づくりに向けた取組内容	進捗あり	電柱に想定浸水深長のラッピングをすることで、視覚的に浸水範囲を認識しやすくする、「まるごとまちごとハザードマップ」の実施箇所を増やした。具体的には京都市(宇治川と木津川と重複)で1箇所から63箇所に、長岡京市で7箇所から8箇所に、木津川市で42箇所から66箇所に、久御山町で11箇所から30箇所に、井手町で11箇所から15箇所に増加した。
	52			河川に集中させてきた洪水エネルギーの抑制/分散対策の実施	流域全体の総合的な治水の取組内容	進捗あり
	53	堤防強化の実施	堤防の強化対策の実施	HWL以下、浸透、侵食対策実施内容・延長	進捗あり	平成30年度～令和3年度の間で7.9kmの浸透対策、0.7kmの侵食対策を実施した。残り3.7kmの浸透対策、0.7kmの侵食対策を引き続き実施する。
	54			堤防天端以下、侵食対策実施内容・延長	該当なし	
	55			堤防天端舗装実施内容・延長	完了	
	56	川の中で洪水を安全に流下させるための対策	上下流バランスの確保	上下流バランスにおける調整内容	該当なし	
	57		河道流下能力の増大、洪水調節の効果的な実施による洪水位の低減	整備による効果	該当なし	
	58	高規格堤防(スーパー堤防)の整備	ハードによる超過洪水対策の実施	高規格堤防の整備内容・延長	該当なし	
	59	土砂対策	土砂移動の制御の実施	土砂移動抑制策(砂防堰堤、山腹工)の実施内容・箇所数	該当なし	
	60	既設ダム等の運用検討	洪水調節の効果的な実施による洪水位の低減状況	既存ダムの効果内容・洪水位低下量	該当なし	
	61	高潮対策	高潮被害軽減策の実施	橋梁の高上げ内容・箇所数	該当なし	
	62			陸閘の確実な操作のための取組	該当なし	
63	地震・津波対策	地震対策事業の実施	河川管理施設の耐震対策実施内容・箇所数	進捗なし		
64			緊急用河川敷道路の整備内容・延長	該当なし		
65		津波対策事業の実施	津波ハザードマップ作成支援内容・作成市町村数	該当なし		
66			津波情報提供設備の設置内容・設置数	該当なし		
67		陸閘の確実な操作のための取組	該当なし			

■進捗点検結果説明資料で取り上げた点検指標  
赤囲み：堤防強化

淀川水系河川整備計画の進捗点検における点検項目、観点及び指標

分類	No.	点検項目	観点	指標	平成30年度～令和3年度 進捗	点検結果
利 水	68	環境に配慮した効率的な水利用の促進	慣行水利権の許可水利権化の実施	水利権の見直し、転用、慣行水利権の許可化の実施状況	進捗あり	水利権の許可更新時に取水量の減量や用途廃止等の水利権の見直しを行っている。また慣行水利権の許可水利権化については、法定化に向けた働きかけを行っており、平成30年度から令和3年度の間水利権許可の実績は2件あり。
	69		効率的な水利用の促進	効率的な水利用のための取り組み	進捗あり	ダム貯水率をホームページで公表、各種イベントでのパネル展示などにより、節水への意識向上を図っている。
	70		安定した水利用が出来ていない地域の対策	新規水源の確保内容	進捗あり	川上ダム建設事業、天ヶ瀬ダム再開発事業を実施中。
	71	渇水への備えの強化	渇水調整の円滑化への取り組み	渇水対策会議の機能拡大、会議構成員拡大及び常設化(利水者会議)の実現に向けた内容	進捗あり	H30年度に気候変動が淀川水系の渇水リスクに及ぼす影響についての検討を行った。令和元年度は気象変動に関する研究動向や水資源分野への影響について情報共有・意見交換を実施した。令和3年度に淀川水系渇水対応タイムラインの試行運用を開始し、渇水への対策とその時期について行動計画を作成した。
利 用	72	川らしい利用の促進	水域の秩序ある河川利用に向けての誘導または規制の取組(水面利用)	舟運の取り組み内容	該当なし	
	73			秩序ある河川利用に向けての取組内容・誘導、規制数	該当なし	
	74		川の安全利用施策の実施	安全利用点検の実施内容、水難事故防止に向けた取り組みの実施回数	進捗あり	安全利用点検結果をもとに68箇所補修を実施した。危険箇所における注意喚起看板の設置や水難事故防止の教育等を行ったこともあり、利用者が増加するゴールデンウィークや夏休み期間において平成30年度～令和3年度にかけて無事故であった。
	75		「川に活かされた利用」の実施	河川でしか出来ない利用(環境教育等)の実施内容	進捗あり	魚とりや野鳥観察、探石など、多彩な川の体験活動を実施した。平成30年度～令和3年度で59回実施、2653名が参加した。体験活動を通じて、環境保全や、川の安全利用の啓発を行った。
	76		陸域・水陸移行帯の秩序ある河川利用に向けての誘導または規制の取組(川らしい河川敷利用)	河川保全利用に関する取り組み内容	進捗あり	木津川の高水敷利用について、公園等を審議対象として河川保全利用委員会を開催。委員からは「良好な河川環境を有しており、木津川の自然を活用した環境学習活動、自然観察会などの開催について、スポーツ利用者を対象にして、河川管理者を含む関係機関と連携した取組を進めてもらいたい。」などの意見をいただき、施設の改善について、施設管理者に指導・助言を行うことができた。
	77		違法行為の是正内容	進捗あり	木津川においては、平成30～令和3年度で約4,800㎡の不法耕作を是正した。平成30年度の不法耕作面積は約8.7万㎡であったが、令和3年度では、約8.2万㎡となり、減少傾向となっている。不法工作物に対しては、是正看板設置や現地指導を行い、行為者による撤去が行われた。また不法耕作地については、是正指導看板設置や現地指導の実施に伴い是正を行った。	
	78	憩い、安らげる河川の整備	憩い、安らげる河川の整備	水辺の整備内容	該当なし	
	79			小径(散策路)の利便性向上の取組内容	進捗なし	
	80			迷惑行為の是正内容・対策箇所数	進捗あり	木津川において、ラジコン飛行機やゴルフ等の迷惑行為が行われており、休日巡視を含めた現地での口頭指導、啓発チラシの配布、禁止看板の設置を行っている。平成30年度～令和3年度でラジコン飛行機の迷惑行為を9箇所から6箇所へと3箇所解消した。
	81		ホームレス対応内容・確認数	進捗あり	平成29年度以降1名と、人数に推移はない。引き続き定期的に巡回するとともに、福祉部局とも情報交換を実施している。	
82	まちづくり・地域づくりとの連携	まちづくりや地域連携の取り組み	歴史文化と調和した河川整備内容	該当なし		
83			水辺を活かしたまちづくりの利便性向上の取組内容	進捗あり	河川改修により創出される河川空間と、地域活性化や観光振興を推進するまちづくりが一体となり、地域の新たなにぎわいを創出する空間づくりを目指すべく、「和東町木津川かわまちづくり」計画が平成31年3月8日に登録され、計画に基づく整備を実施中。	

■進捗点検結果説明資料で取り上げた点検指標  
赤囲み：堤防強化

淀川水系河川整備計画の進捗点検における点検項目、観点及び指標

分類	No.	点検項目	観点	指標	平成30年度～令和3年度 進捗	点検結果	
維持管理	84	維持管理	堤防等の河川管理施設の機能を維持するための適切な維持管理の実施	ダム健康診断内容・補修箇所数、堤防等河川管理施設の巡視・点検及び補修の実施内容	進捗あり	堤防等河川管理施設の点検と点検結果の評価、対策工の検討及び優先度評価を実施。抽出された変状毎の2次評価結果では、R3年度末時点で、予防保全段階39箇所、措置段階0箇所となっている。	
	86			ダム機能の維持内容・堆砂量	該当なし		
	87	維持管理	河川区域等の管理	許可工作物の点検整備及び対策についての施設管理者への指導	点検、修繕内容・実施数	進捗あり	「許可工作物に係る施設維持管理技術ガイドライン」に基づき、令和3年度は橋梁、樋門等許可工作物77施設の点検について、設置者単独、又は河川管理者との合同点検を実施した。うち要監視段階が27施設、予防保全段階が4施設あった。
	88			河道内樹木の伐採の実施状況	進捗あり	木津川全体で平成30年度～令和3年度にかけて、1,117.3千㎡伐採した。このときの伐採箇所はすべて流水阻害対象樹木群であった。これにより、伐採区間については河道流下断面が確保できた。	
	89			堆積土砂の除去の実施内容	進捗あり	河道内堆積土砂の管理については、定期的及び出水後の河床変動状況を把握するため、縦横断測量等モニタリングを実施。	
	90			ゴミの不法投棄の状況及び処分の実施内容	進捗あり	不法投棄を発見した場合には、行為者の特定に努め、行為者への指導監督、撤去等の対応を適切に行う。ゴミ等の不法投棄は夜間や休日に行われやすいことから、行為者の特定等のため、必要に応じて夜間や休日の河川巡視等を実施する。広報によりマナーアップや自己啓発を促すとともに、河川レンジャーなどによる河川愛護活動や地域ボランティア活動の支援を行い、地域と一体となった塵芥処理に努める。淀川河川事務所管内では、H30年度は約4100m <sup>3</sup> 、H31年度で約1300m <sup>3</sup> 、令和2年度で約1100m <sup>3</sup> 、令和3年度で約980m <sup>3</sup> のゴミを処理。	

木津川上流進捗点検結果(平成30年度～令和3年度の点検結果)

■説明資料で取り上げた点検指標  
 赤囲み：木津川の洪水調節施設整備  
 青囲み：名張かわまちづくり一体型浸水対策

淀川水系河川整備計画の進捗点検における点検項目、観点及び指標

分類	No.	点検項目	観点	指標	平成30年度～令和3年度進捗	点検結果	
人と川のつながり	1	日常からの川と人のつながりの構築	「住民参加推進プログラム」の作成・実践	住民参加推進プログラムの活動内容	進捗あり	地元小学校の防災学習の授業に河川レンジャーとして参画し、上野遊水地管理センター及び遊水地において防災学習を実施した。平成30年は30人、令和元年は24人、令和2年は中止、令和3年は34人が参加。参加者からは「遊水地や堤防はいろんな人を守っていてすごいと思いました。」「まだまだ川について知らないことがあるのでもっと勉強したいです。」等の感想があり、子どもたちの川についての興味や遊水地への理解が深まった。 また、平成30年、令和3年に伊賀ぶらり体験博覧会「いがぶら」に参加。忍者列車で行く上野遊水地巡り(ウォーキングイベント)を開催し、越流堤や排水門などより多くの施設を見て、歩き、遊水地の仕組みが分かるようなコースを追加することで、参加者(約100名)の皆さんに楽しんでいただき、木津川上流河川事務所や遊水地への理解が深まった。	
	2		住民・住民団体(NPO等)との連携	住民・住民団体(NPO等)との連携内容	進捗あり	平成30年、令和元年に名張クリーン大作戦を実施した。参加人数はそれぞれ4000人。 令和元年から令和3年に水辺で乾杯を実施した。 住民・住民団体(NPO等)との連携として、パネル展示や名張川ウォーキング・環境啓発活動等の河川愛護イベントを実施し、住民に対して情報発信を積極的にに行った。	
	3		河川レンジャーの充実	河川レンジャー在籍人数(治水・環境・防災などの拡大)と、住民・住民団体(NPO等)との交流内容	進捗あり	木津川上流河川事務所管内では河川レンジャー3名が在籍し、木津川上流域で活動をおこなっており、4年間で35回、住民等と交流を行った。河川レンジャー活動を通して、木津川の自然環境への関心を高める取り組みを実施している。	
	4		子供達の関わりへの促進	環境教育等の実施内容	進捗あり	令和元年名張市立桔梗が丘小学校、令和3年伊賀市立大山田小学校にて川の環境について出前講座を実施した。 大阪湾再生行動計画の取り組みの一環として、地域の子どもたちに対して川への関心を高めることを目的とした水生生物調査、バックテスト(簡易水質検査)等を毎年実施している。子供たちへの教育の一環として、今後も継続して環境教育を実施していく。 河川レンジャーの事業として、木津川沿川の小学生を対象にした水生生物調査を実施した。平成30年は16人参加。令和1年から令和3年は中止。	
	5		情報発信の充実	HP、携帯サイトの情報発信内容、新しいコンテンツの取組	進捗あり	令和元年に事務所HPをリニューアルし、事務所の取組内容の発信や防災情報としてCCTV映像や水位情報について発信を行っている。また、事務所が実施するイベントや防災情報等のみならず、木津川上流域の特産物等の様々な情報をtwitterで発信を行っている。 令和3年にTwitterによる防災情報のツイート自動作成システムの取組を開始した。氾濫注意水位を超えるとツイートができるようにし、防災情報の発信の効率化を図った。	
	6		住民に関心をもってもらうための取り組み	住民に河川行政への関心をもってもらうための具体的な取り組み、住民、住民団体との交流内容	進捗あり	木津川上流では、平成30年度に名張川特殊堤完成15周年をきっかけに地域の方々に堤防の役割や洪水に対する意識啓発を目的として事業パネルの展示と災害対策機械の展示を実施。アンケート結果では7割の方に特殊堤の重要性を理解頂けた。 同年度に木津川流域の地形的特性から水害と土砂災害による複合災害が想定されるモデル地区において、想定最大規模降雨における洪水を対象とした地域住民の自主的な避難行動を支援するためのワークショップ(2回)を開催。 令和2年度には、名張かわまちづくりにおいて、住民の方の新たな意見・アイデアを聴取り取り入れるため、パネル展示によるオープン形式の意見交換会を実施。78名の参加があり多くの意見が寄せられ、それらを踏まえた設計を進めている。	
	7		小径(散策路)、「歴史文化の薫る散歩道(仮称)」の整備	小径(散策路)の整備内容・延長	進捗なし	改修事業に併せ実施していく予定。	
	8		憩い、安らげる河川の整備	河川を安心して利用できる整備内容・箇所数	進捗なし	名張かわまちづくりにおいて、自治体と連携しスロープやベンチ等、憩い・安らげる河川の整備を実施していく予定。	
	9		三川合流部の整備	三川合流部交流拠点の整備内容	該当なし		
	10		洪水・災害時の人と川とのつながりの構築	破堤氾濫に備えた分かりやすい情報の発信	まるとまちごとハザードマップ設置箇所・設置数、浸水想定区域、浸水シミュレーション等の防災情報の情報発信	進捗あり	まるとまちごとハザードマップについて、平成30年に伊賀市内の看板設置検討、令和2年に名張市内1カ所の看板設置検討を行い、令和3年は伊賀市の伊賀鉄道新居駅に看板設置を行った。
	11			関係機関との連携	協議会等との連携内容	進捗あり	減災対策協議会(平成28年設立)は、これまで12回の協議会を開催。令和3年度は、令和3年度以降の次期5ヶ年の取組方針を更新を行い、引き続き、関係機関との連携を図る。 流域治水協議会(令和2年設立)は、木津川上流分会としてこれまでに5回の協議会を開催。流域治水プロジェクトの策定と公表、対策メニューのフォローアップ等を実施。引き続きフォローアップと構成員、メニューの拡充について関係機関と調整を図る。
	12			上下流交流の促進	水源ビジョンに基づく活動内容	進捗あり	高山ダムでは、毎年11月23日開催(R2以降は中止)の地域イベント「南山城村生き生き祭り」に参加し、地域に親しまれるダムとして、堤体内見学や貯水池巡視体験などを実施。 青蓮寺湖環境美化クリーンハイキング(R3.2.14)、室生ダム湖クリーンウォーク(R2.10.25)、比奈知ダムライトアップ(R3.8.13～8.15)や各ダムにてダム施設見学会などを実施。



■説明資料で取り上げた点検指標  
 赤囲み：木津川の洪水調節施設整備  
 青囲み：名張かわまちづくり一体型浸水対策

淀川水系河川整備計画の進捗点検における点検項目、観点及び指標

分類	No.	点検項目	観点	指標	平成30年度～令和3年度進捗	点検結果	
環境	13	琵琶湖・淀川水系の生態系の固有性および多様性の価値に関する保全		イタセンバラを目標種とした淀川中下流域での環境再生の実施内容・個体数	該当なし		
	14			ナカセコカワニナの生息・繁殖環境として望ましい河川環境の再生方策の検討内容	該当なし		
	15			オオサンショウウオの生息・繁殖に適した河川環境の再生・創出方策の検討内容	進捗あり		川上ダムの建設に伴い、平成28年移転開始以降、令和3年末までに565個体の移転を実施。令和3年度調査迄で、遡上ルを設置した全ての堰(11箇所)においてオオサンショウウオの遡上を確認しており、人工巢穴32箇所のうち28箇所を利用を確認した。
	16			アユモドキの生息環境として望ましい河川環境の再生方策の検討内容・確認箇所数	該当なし		
	17	多様な生態系を有する淀川水系の再生と次世代への継承	生態系・生物群集多様性の維持・回復に向けた取組	関係機関が連携した取り組み内容(回数)	進捗あり	平成26年に設置した高岩井堰の簡易魚道について、令和元年に現況機能の再確認を実施し、課題整理を行った上で改良を実施した。令和3年、令和4年に名張川支流の留い川について、関係機関協力の元、簡易魚道を設置し、ナマズの遡上を確認した。	
	18		外来種対策の実施	外来種対策の実施	進捗あり	令和元年から特定外来種調査として、コクチバス等の生息状況の調査を実施。令和4年にはコクチバスの産卵床を撤去し駆逐する作業を行った。	
	19			瀬田川の水辺のあり方に関する取り組み内容	該当なし		
	20		良好な景観の保全・創出の取り組み	河川景観を損ねている不法工作物の計画的な是正やゴミの不法投棄の防止状況・対策箇所数	進捗あり	ゴミが捨てられている場所や種類等の現状を分析したゴミマップを作成し、河川ゴミの削減に向け、流域住民に当事者意識を感じてもらえるよう周知・啓発に努めている。	
	21			ダム貯水池の斜面裸地対策、ダム周辺における構造物等の景観対策の実施内容・対策箇所数	進捗あり	高山ダムの貯水池内法面侵食防止と湖岸緑化を目的に土留柵等の設置(H21年度)。現在、水位低下後の法面裸地において、緑化がはかられている。	
	22	河川の連続性の確保	河岸-陸域の連続性の確保	ワンドやたまりの保全・再生内容・整備箇所数	該当なし		
	23			干潟・ヨシ原の保全・再生内容・面積	該当なし		
	24		内湾-汽水域-河川、琵琶湖-内湖・流入河川の連続性の確保	既設の堰・落差工の改良内容	進捗あり		平成30年度に新居排水門の連続性確保を目的に簡易改良を実施した。令和元年、平成26年に設置した高岩井堰について、現況機能を再確認、課題を再整理し、簡易魚道改良を実施した。また、令和3年、令和4年に名張川支流の留い川について、関係機関協力の元、簡易魚道作成を実施し、ナマズの遡上を確認した。
	25	川本来のダイナミズムの再生		淀川大堰による水位操作の改善内容	該当なし		
	26			水位変動リズム回復のための流況・位況(流量・水位の変動様式)の改善	瀬田川洗堰による水位操作の改善内容		該当なし
27	琵琶湖における水位低下緩和方策の検討内容			該当なし			
28	流況の平滑化に対する河川環境の改善			既設ダムにおける弾力的運用等の検討内容・魚類確認数	進捗あり		平成29年度～令和2年度、青蓮寺ダム、比奈知ダム、室生ダム(令和2年度のみ)にて土砂還元を年1回実施。ダム下流では付着藻類の剥離・更新が見られ、アユの喰み跡も確認されている。また、アユやカワムツなどの魚類の個体数も増加傾向がみられる。
29		河川環境上必要な流量を確保するための流況・位況(流量・水位の変動様式)の改善	流水の正常な機能を維持するため必要な流量の確保内容・正常流量確保日数	該当なし			

木津川上流進捗点検結果(平成30年度～令和3年度の点検結果)

■説明資料で取り上げた点検指標  
 赤囲み：木津川の洪水調節施設整備  
 青囲み：名張かわまちづくり一体型浸水対策

淀川水系河川整備計画の進捗点検における点検項目、観点及び指標

分類	No.	点検項目	観点	指標	平成30年度～令和3年度進捗	点検結果	
流域の視点に立った水循環・物質循環系の構築	30	流域視点による水質対策の実現や流域的な現状把握状況		水質総量規制の実施体制の検討内容	進捗あり	大阪湾再生行動計画の取り組みの一環として、地域の子どもたちに対して川への関心を高めることを目的とした水生生物調査、バックテスト(簡易水質検査)等を毎年実施している。また、地域住民の方々に「河川環境に対する問題意識」を高めていただけるよう、河川環境保全の啓発を目的に環境学習会を平成30年に開催した。	
	31			南湖の再生プロジェクト取り組み内容	該当なし		
	32	流域の視点に立った水循環・物質循環系の構築	水質負荷と環境影響についての流域的な現状把握	琵琶湖の水質保全対策の取り組み内容・効果	該当なし		
	33			河川の水質保全対策の取り組み内容	進捗あり	情報共有ツールとして支川を含む流域の水質汚濁状況を直感的に把握できる水質見える化マップを作成しHPへ掲載している。また、水生生物を指標として河川の水質を評価し、また、住民や子供たちの身近な環境問題への関心を高めるため、地域の方々の協力を頂きながら稲広橋にて毎年(令和4年で28回目)継続的に実施している。	
	34			ダム貯水池の水質保全対策の取り組み内容・対策実施数	進捗あり	木津川上流ダム(高山ダム、布目ダム、室生ダム、青蓮寺ダム、比奈知ダム)では水質保全対策の継続実施により、平成30年度～令和3年度において、アオコ・淡水赤潮による大規模な水質障害は発生していない。	
	35			流域の土砂生産・移動・堆積の実態把握	河床変動等の土砂動態のモニタリング、総合土砂管理方策の検討内容(既存ダム、ダム下流)	進捗あり	令和4年4月、木津川上流ダム群土砂管理懇談会にて、川上ダムの代替補給容量を用いて既設ダムの水位を低下して実施する効率的な堆砂除去の基本方針を作成した。
	36	土砂を下流へ流すことができる砂防えん堤の設置内容・設置数(砂防施設)	進捗あり		平成30年度から令和3年度の間で、室生口砂防堰堤、谷出第3砂防堰堤が完成した。谷出第4砂防堰堤、谷出第6砂防堰堤、三本松砂防堰堤について、現在整備中。		
	37	流域管理に向けた継続的な施策展開	モニタリングの実施	河川環境のモニタリングの実施内容	進捗あり	令和2年度に大河原地区の河川内樹木の伐採を行い、樹木が繁茂していた砂州について総合土砂管理検討のために必要なデータ取得のために動態観測を実施している。	
	38			生物の生息・生育・繁殖環境に配慮した工事の施工	進捗あり	工事を実施する箇所において、「特別天然記念物オオサンショウウオ保護管理指針2012(三重県教育委員会・奈良県教育委員会、平成24年)」に基づき、国指定特別天然記念物のオオサンショウウオの生息状況を確認するとともに、生息が確認された際には、個体を一時的に捕獲・保護し、DNA分析によって在来種であった場合は工事の影響がない場所に移動・放流することを目的としてオオサンショウウオ保護調査を実施している。令和2年度の河道掘削工事の事前確認でオオサンショウウオ1個体を保護し、DNA分析の結果、在来種であったため、見つかった地区の上流側へ放流した。	
	39			関係機関との連携による河川環境や景観の保全・再生	関係機関との連携による河川環境や景観の保全・再生の実施内容	該当なし	
	40			河川管理者以外の者が管理する施設に対する働きかけ	河川管理者以外の者が管理する施設に対する働きかけの実施内容	該当なし	
	41			河川環境の保全と再生のための人材育成	河川環境の保全と再生のための人材育成の実施内容	進捗あり	令和元年名張市立桔梗が丘小学校、令和3年伊賀市立大山田小学校にて川の環境について若手職員による出前講座を実施した。また、生物や生物の生息・生育・繁殖環境等に関する専門知識の習得に向け、環境調査業務の小田魚道の遡上モニタリング調査、マダケ伐採モニタリング調査に職員が参加した。令和3年、令和4年に名張川支流の留い川について、関係機関協力の元、簡易魚道を設置し、ナマズの遡上を確認した。
42	流域管理に向けた環境情報に関する調査研究の実施			流域管理に向けた環境情報に関する調査研究の推進の実施内容	進捗あり	木津川上流環境研究会において、工事実施に向けて環境研究会で意見を聞いて環境を配慮して工事を実施している。また、総合土砂管理の検討を行うため土砂WGを発足した。関係者として水資源機構とも協力し、今後も関係者と調整を図りながら検討を進めていく。	

■説明資料で取り上げた点検指標  
 赤囲み：木津川の洪水調節施設整備  
 青囲み：名張かわまちづくり一体型浸水対策

淀川水系河川整備計画の進捗点検における点検項目、観点及び指標

分類	No.	点検項目	観点	指標	平成30年度～令和3年度進捗	点検結果	
治水・防災	43	危機管理体制の構築	破堤氾濫に備えての被害の軽減対策、避難体制の確立	災害体験者からの災害状況の聞き取り及び防災意識の啓発内容	進捗あり	平成30年に伊賀市三田地区防災ワークショップを開催し、木津川流域の地形的特性から水害と土砂災害による複合災害が想定されるモデル地区において、想定最大規模降雨における洪水を対象とした地域住民の自主的な避難行動を支援した。令和元年に笠置町職員を対象に防災対策強化に関する勉強会を開催し、「笠置町における災害の危険性と防災上の課題」と「笠置町災害対応タイムライン案」について意見交換をして頂き、現状と課題について理解を深めて頂いた。	
	44			自治体、水防団、マスメディア等との情報共有化のための情報伝達体制	進捗あり	水害時における木津川上流河川事務所と関係自治体との連携体制と災害対応の強化を図るため、出水期前に訓練を実施。平成30年度に危機管理型水位計24基を設置し、令和元年6月に「川の防災情報」にて一般公開した。また、簡易型河川監視カメラを令和元年に25基、令和2年に9基設置し、一般公開した。	
	45			ハザードマップ作成内容・フォローアップ	進捗あり	各自治体に浸水想定区域図のデータ提供を行い、ハザードマップの作成支援を行い、令和4年5月時点で沿川6市町村において、避難レベルの改正による更新作業を終えて公表も完了している。	
	46			災害対応プログラムの作成内容 (災害時要援護者に配慮した避難勧告・指示の発令基準の明確化及び周知体制整備の内容)	進捗あり	令和元年、洪水による浸水が想定される区域や土砂災害(特別)警戒区域内で地域防災計画で定められた要配慮者施設について、避難確保計画の作成・訓練の実施が義務化されたことを周知徹底、避難確保計画の作成支援のため講習会を開催した。また、流域治水の取組として、名張市と連携して浸水リスクを踏まえた立地適正化計画の検討を実施中。今後リスクマップ等を用いて、災害リスクの分析を行い、具体的な取組内容をおよび目標の検討を実施する。	
	47			地下空間の利用者及び管理者への情報伝達体制整備内容	該当なし		
	48			水防活動、水防訓練への支援内容及び水防技術の継承	進捗あり	毎年、出水期を迎えるにあたり、伊賀市と国交省合同による排水ポンプ車等災害対策用機械の操作訓練を実施している。令和元年台風19号では排水ポンプ車による排水作業を行い訓練の成果を発揮。また、台風や梅雨の水害に備えることを目的として、平成31年4月24日、令和2年7月1日に上野遊水地合同実地踏査を実施。構成機関は、伊賀警察署、三重県伊賀地域防災総合事務所、伊賀市総合危機管理課・公共基盤推進課・消防本部、上野遊水地区連絡協議会。令和2年は新型コロナウイルス感染症対策のため規模を縮小し、伊賀警察署とのみで開催。令和3年以降は新型コロナウイルス感染症対策のため未実施。	
	49			水防拠点整備の内容・箇所数	進捗なし		
	50			公共施設の耐水化等の支援内容	進捗あり	令和2年に減災対策協議会において、排水施設や庁舎の耐水化の必要対策箇所や取組を進めるにあたっての課題について、構成員に聞き取り調査を実施した。	
	51			水害に強い地域づくりに向けた取組内容	進捗あり	流域治水プロジェクトとして、市町村と連携して地区毎に応じたタイムラインの作成に係る説明会の開催及び作成支援を実施。名張市と連携し、川のにぎわいづくりを主体的に進めるとともに、浸水リスクを踏まえた立地適正化計画等の検討に着手。今後リスクマップ等を用いて、災害リスクの分析を行い、具体的な取組内容および目標の検討を実施する。	
	52			河川に集中させてきた洪水エネルギーの抑制/分散対策の実施	流域全体の総合的な治水の取組内容	進捗あり	令和2年度に淀川流域治水協議会を設立し、減災対策協議会を淀川流域治水協議会木津川上流分会として位置づけることが承認された。令和3年度は流域治水×グリーンインフラや特定都市河川の登録に関する情報、流域治水プロジェクトの充実に向けた取組について情報共有した。
	53			堤防強化の実施	堤防の強化対策の実施	HWL以下、浸透、浸食対策実施内容・延長	進捗あり
	54	堤防天端以下、浸食対策実施内容・延長	該当なし				
	55	堤防天端舗装実施内容・延長	進捗なし			堤防整備に合わせて実施を予定している。	
	56	上下流バランスの確保	上下流バランスにおける調整内容	該当なし			
	57	川の中で洪水を安全に流下させるための対策	河道流下能力の増大、洪水調節の効果的な実施による洪水位の低減	整備による効果	進捗あり	木津川上流では、服部川において河道掘削約80万m <sup>3</sup> のうち約40万m <sup>3</sup> を実施。名張川、宇陀川において引堤約1kmのうち約0.3km、河道掘削約15万m <sup>3</sup> のうち約3万m <sup>3</sup> を実施。事業全体が完了すると木津川における戦後最大洪水である昭和28年台風13号洪水に対して、名張川・宇陀川合流点の水位を約1m低下させ、浸水被害を軽減することができる。	
	58	高規格堤防(スーパー堤防)の整備	ハードによる超過洪水対策の実施	高規格堤防の整備内容・延長	該当なし		
	59	土砂対策	土砂移動の制御の実施	土砂移動抑制策(砂防堰堤、山腹工)の実施内容・箇所数	進捗あり	平成30年度から令和3年度の間で、室生口砂防堰堤、谷出第3砂防堰堤が完成した。谷出第4砂防堰堤、谷出第6砂防堰堤、三本松砂防堰堤について、現在整備中。	
	60	既設ダム等の運用の検討	洪水調節の効果的な実施による洪水位の低減状況	既存ダムの効果内容・洪水位低下量	進捗あり	青蓮寺ダム・室生ダム・比奈知ダムにおいて平成30年台風12号洪水で洪水調節を行い、名張地点で1.9mの水位低減効果が確認された。	
	61	高潮対策	高潮被害軽減策の実施	橋梁の嵩上げ内容・箇所数	該当なし		
	62			陸間の確実な操作のための取組	該当なし		
	63	地震・津波対策	地震対策事業の実施	河川管理施設の耐震対策実施内容・箇所数	進捗なし	堤防整備、河道掘削等洪水を安全に流下させる事を優先実施しており、今後、樋門・排水機場について耐震性照査を順次実施、必要な対策を検討していく予定。	
64	緊急用河川敷道路の整備内容・延長			該当なし			
65	津波対策事業の実施		津波ハザードマップ作成支援内容・作成市町村数	該当なし			
66			津波情報提供設備の設置内容・設置数	該当なし			
67			陸間の確実な操作のための取組	該当なし			

■説明資料で取り上げた点検指標  
 赤囲み：木津川の洪水調節施設整備  
 青囲み：名張かわまちづくり一体型浸水対策

淀川水系河川整備計画の進捗点検における点検項目、観点及び指標

分類	No.	点検項目	観点	指標	平成30年度～令和3年度進捗	点検結果
利水	68	環境に配慮した効率的な水利用の促進	慣行水利権の許可水利権化の実施	水利権の見直し、転用、慣行水利権の許可化の実施状況	進捗あり	水利権の許可更新時においては水需要量を精査し、取水量の減量や用途廃止等の調整を実施している。また、慣行水利権の許可水利権化については、法定化に向けた働きかけを行っている。
	69		効率的な水利用の促進	効率的な水利用のための取り組み	進捗あり	ダム貯水率をホームページで公表、各種イベントでのパネル展示などにより、節水への意識向上を図っている。
	70		安定した水利用が出来ていない地域の対策	新規水源の確保内容	進捗あり	川上ダム建設事業、天ヶ瀬ダム再開事業を実施中。
	71	渇水への備えの強化	渇水調整の円滑化への取り組み	渇水対策会議の機能拡大、会議構成員拡大及び常設化(利水者会議)の実現に向けた内容	進捗あり	H30年度に気候変動が淀川水系の渇水リスクに及ぼす影響についての検討を行った。令和元年度は気象変動に関する研究動向や水資源分野への影響について情報共有・意見交換を実施した。令和3年度に淀川水系渇水対応タイムラインの試行運用を開始し、渇水への対策とその時期について行動計画を作成した。
利用	72	川らしい利用の促進	水域の秩序ある淀川利用に向けての誘導または規制の取組(水面利用)	舟運の取り組み内容	該当なし	
	73			秩序ある河川利用に向けての取組内容・誘導、規制数	該当なし	
	74		川の安全利用施策の実施	安全利用点検の実施内容、水難事故防止に向けた取り組みの実施回数	進捗あり	安全利用点検結果をもとに27箇所の補修を実施した。危険箇所と判断される箇所には、注意喚起看板の設置や水難事故防止の看板を設置して川の利用者に注意を呼びかけた。
	75		「川に活かされた利用」の実施	河川でしか出来ない利用(環境教育等)の実施内容	進捗あり	河川レンジャー活動(No.3)、水生生物調査(No.4)、名張クリーン作戦及び水辺で乾杯(No.2)を行った。
	76		陸域・水陸移行帯の秩序ある河川利用に向けての誘導または規制の取組(川らしい河川敷利用)	河川保全利用の取り組み内容・回数	該当なし	
	77			違法行為の是正内容	該当なし	
	78	憩い、安らげる河川の整備	憩い、安らげる河川の整備	水辺の整備内容	進捗あり	木津川上流では、名張川河川改修により創出される河川空間と、地域活性化や観光振興を推進するまちづくりが一体となり、地域の新たなにぎわいを創出する空間づくりを目指すべく、平成30年度に名張市の名張かわまちづくり計画が登録され、計画に基づく整備を実施している。親水護岸、桜並木、親水広場、堤内地の案内サイン等を整備し、川を活かした地域づくりを実施中。
	79			小径(散策路)の利便性向上の取組内容	進捗あり	名張市の東奈良名張ツーリズム・マーケティングと協力し、水辺の風景や史跡、文化財を楽しむことができる自転車の小径(散策路)策定のためのサイクリングコース試走会を実施した。
	80			迷惑行為の是正内容・対策箇所数	該当なし	
	81			ホームレス対応内容・確認数	該当なし	
82	まちづくり・地域づくりとの連携	まちづくりや地域連携の取り組み	歴史文化と調和した河川整備内容	該当なし		
83			水辺を活かしたまちづくりの取り組み内容	該当なし		
維持管理	84	維持管理	堤防等の河川管理施設の機能を維持するための適切な維持管理の実施	ダムの健康診断内容・補修箇所数 堤防等河川管理施設の巡視・点検及び補修の実施内容	進捗あり	出水期前に堤防等河川管理施設及び河道の点検・評価要領に基づいた点検・評価を実施した。令和3年度の堤防及び護岸の点検結果は、要監視段階が22区間、予防保全段階が1区間、措置段階が0区間であった。同じく樋門等の点検結果は、要監視段階が15施設、予防保全段階が25施設、措置段階が0施設だった。ダムについては、高山ダム(令和3年)、青蓮寺ダム(令和元年)、比奈知ダム(令和元年)、布目ダム(令和2年)、室生ダム(令和2年)の定期検査を実施。上野遊水地の巡視において、迅速性や夜間の効率性の向上のため、ドローンを活用した巡視体制の強化の実証実験を令和3年に実施。従来の巡視では4遊水地を4名で約2時間必要であった巡視が、ドローンによる巡視では2名で約1時間となる。また、堤防点検のために2回の草刈りを行い、発生した草を「刈草ロール」にして無料で配布しており、地域住民とのコミュニケーションの推進、資源循環、コスト削減を図っている。
	85			ダム機能の維持内容・堆砂量	進捗あり	高山ダム(5,739/7,600千m <sup>3</sup> )、青蓮寺ダム(2,167/3,400千m <sup>3</sup> )、比奈知ダム(1,232/2,400千m <sup>3</sup> )、布目ダム(687/1,900千m <sup>3</sup> )では、目安堆砂量に対する進行速度が1.0倍以上となっている。今後、ダムの長寿命化施策として、現在建設中の川上ダムの代替容量を用いて、各ダムの堆砂対策を順次実施していく。(現行堆砂量/計画堆砂量)
	86		許可工作物の点検整備及び対策についての施設管理者への指導	点検、修繕内容・実施数	進捗あり	「許可工作物に係る施設維持管理技術ガイドライン」に基づく点検様式での点検結果の報告を設置者に依頼した。設置者自らが、毎年出水期前に点検を実施。令和3年度の点検結果は、203箇所の施設を点検し、要監視段階が74施設、予防保全段階が1施設、措置段階が2施設だった。
	87		河川区域等の管理	河道内樹木の伐採の実施状況	進捗あり	平成30年度から令和3年度にかけて、47.8千m <sup>2</sup> の伐採を行った。これにより、堤防からの河道内の見通しが確保されるとともに、出水時に流木等が河道内樹木に漂着し流水の阻害を起こすことを防ぐようになった。今後は、樹木等の再繁茂抑制対策(幼木踏み倒し等)を踏まえた伐採を継続的に行っていく。
	88			堆積土砂の除去の実施内容	進捗あり	平成30年度から令和3年度にかけて、55.7千m <sup>3</sup> の堆積土砂の除去を行った。引き続き、河道の堆積状況についてモニタリングを行い、計画的に堆積土砂の除去を行っていく。
89	ゴミの不法投棄の状況及び処分の実施内容	進捗あり		良好な河川環境を維持するため、住民団体・NPO等と協力した美化清掃活動として平成30年、令和2年に名張クリーン大作戦を実施した。(No.2)また、日常的に実施している河川巡視の中で、河川区域等における違法行為の発見や、河川内の環境や利用に関する情報収集を行っている。啓発活動の一環として、平成29年度からゴミマップを毎年度更新し、事務所HPに掲載し啓発している。		

淀川本川進捗点検結果(平成31年度～令和3年度の点検結果)

淀川水系河川整備計画の進捗点検における点検項目、観点及び指標

分類	No.	点検項目	観点	指標	平成31年度～令和3年度 進捗	点検結果	
人と川とのつながり	1	日常からの川と人のつながりの構築	「住民参加推進プログラム」の作成・実践	住民参加推進プログラムの活動内容	進捗あり	流域全体で河川清掃を行う「淀川水系一斉美化アクション」について、コロナ禍においては、アプリを使ってごみ拾いの実績を登録し、集計する「WEB淀川水系一斉美化アクション」として推進した。また、防災・歴史の活動においても、オンラインを活用したワークショップや川あるきなどの家にいながら参加できる新しい形態を導入し、集合が困難な状況下でも住民連携の推進に取り組んだ。 淀川点野地区では河川協力団体や沿川自治体、地元住民や大学などが協同し、水中歩行体験や水生生物の観察、淀川のボートのりなどを通じ、淀川の自然、歴史、文化などが学べるプログラム「淀川まるごと体験会」を8月に開催している。(令和3年度はコロナ禍のため中止)	
	2		住民・住民団体(NPO等)との連携	住民・住民団体(NPO等)との連携内容	進捗あり	地域団体、学校等と連携し、河川清掃や外来種駆除、水辺環境の整備等の川づくりに関わる定期的な活動を行った。新設の三ツ矢ワンドにおいては、令和3年度に河川レンジャーが近隣の高校のクラブ活動と連携し、日常的な維持管理に向けたモニタリング調査方法の勉強会を実施し、23名が参加した。参加した高校生からは「ワンドの水位と本川の水位の関係」「樹木伐採と生物への影響」「ワンドの利用」に関する疑問が呈され、調査方法を指導した生物の専門家、淀川河川事務所職員、河川レンジャーがそれぞれの立場から回答するなど、河川環境の保全や維持管理に関する活発な意見交換が行われた。	
	3		河川レンジャーの充実	河川レンジャー在籍人数(治水・環境・防災などの拡大)と、住民・住民団体(NPO等)との交流内容	進捗あり	淀川河川事務所管内では各出張所管内毎に河川レンジャーを配置し、沿川全域で活動を行っており、平成31年度から令和3年度で370回(淀川本川では208回)、住民等と交流を行った。令和3年度に実施したマイ・タイムラインの活動(区民カレッジR4.2)では、90%の受講者が「役に立った」と回答している。	
	4		子ども達の関わりの促進	環境教育等の実施内容	進捗あり	川の特性を活かした干潟の観察会やバッタのオリンピック(バッタ採集から同定、跳躍距離を競うまでのプログラム)を実施し、生息環境の解説を行い、環境の保全の啓発を行った。 近隣の小・中・高校や大学などを対象に淀川の歴史や文化、自然についてや河川の管理、公園の運営などを説明、解説する「出前講座」を継続的に行っている。バッタのオリンピック(R2.9)では参加者の90%以上が川に興味をもったと回答している。	
	5		情報発信の充実	HP、携帯サイトの情報発信内容、新しいコンテンツの取り組み	進捗あり	河川に係わる身近な情報(工事情報や河川のライブ映像、河川公園で行われるイベントなど)をホームページやSNS(Youtube、Facebook、Twitter)で、継続的に情報発信している。	
	6		住民に関心をもってもらうための取り組み	住民に河川行政への関心をもってもらうための具体的な取り組み、住民、住民団体との交流内容	進捗あり	阪神なんば線橋梁工事の見学会を地域の小学校を対象に実施。河川レンジャーが講師となり、ヨシ原の役割や工事の中での保全について、また、高潮から街を守るための架け替え工事の必要性などの説明を行い、防災の啓発につなげた。	
	7		小径(散策路)、「歴史文化の薫る散歩道(仮称)」の整備	小径(散策路)の整備内容・延長	進捗なし		
	8		憩い、安らげる河川の整備	河川を安心して利用できる整備内容・箇所数	進捗あり	令和3年度末時点で淀川河川公園内の移動式トイレは86箇所あり、更新等に合わせた車椅子利用に対応したトイレを適宜整備している。	
	9		三川合流部の整備	三川合流部交流拠点の整備内容	完了	平成28年度に三川合流部の交流拠点となる「さくらであい館」を背割堤地区に整備した。	
	10		洪水・災害時の人と川とのつながりの構築	破堤氾濫に備えた分かりやすい情報発信	まるごとまちごとハザードマップ設置箇所・設置数、浸水想定区域、浸水シミュレーション等の防災情報の情報発信	進捗あり	沿川市町の高槻市において、令和3年度に初めて17枚を設置。 また、摂津市において、令和2年度に6枚、令和3年度に17枚を追加設置。 島本町において、令和2年度に4枚を追加設置。それにより、大阪府域で合計69枚を設置した。
	11			関係機関との連携	協議会等との連携内容	進捗あり	毎年度定期的に協議会(水害に強い地域づくり協議会)を開催することにより、関係自治体との連携を強化している。 なお、令和3年度は首長会議1回、行政WG2回、鉄道WGを1回開催し、関係機関との連携を図った。
	12		上下流の連携の構築	上下流交流の促進	水源地域ビジョンに基づく活動内容	該当なし	

淀川本川進捗点検結果(平成31年度～令和3年度の点検結果)

淀川水系河川整備計画の進捗点検における点検項目、観点及び指標

分類	No.	点検項目	観点	指標	平成31年度～令和3年度 進捗	点検結果
環境	13	琵琶湖・淀川水系の生態系の固有性および多様性の価値に関する保全	琵琶湖・淀川水系の生態系の固有性および多様性の価値に関する保全	イタセンバラを目標種とした淀川中下流域での環境再生の実施内容・個体数〔下流域(湛水区間)、下流域(流水区間)〕	進捗あり	淀川におけるイタセンバラ野生復帰の取り組みとして、在来種の生息環境の整備としてワンド・たまりの整備を行っている。その一貫としてイタセンバラを含むタナゴ類の稚魚調査を行っている。R3年度における城北地区におけるイタセンバラ個体数の調査では352個体であった。
	14			ナカセコカワニナの生息・繁殖環境として望ましい河川環境の再生方策の検討内容〔中流域宇治川〕	該当なし	
	15			オオサンショウウオの生息・繁殖に適した河川環境の再生・創出方策の検討内容〔上流域(盆地～源流部)木津川〕	該当なし	
	16			アユモドキの生息環境として望ましい河川環境の再生方策の検討内容・確認箇所数〔中流域宇治川〕	該当なし	
	17	多様な生態系を有する淀川水系の再生と次世代への継承	生態系・生物群集多様性の維持・回復に向けた取組	関係機関が連携した取り組み内容	進捗あり	地域の市民団体、大学、企業、行政で構成されている淀川水系イタセンバラ保全市民ネットワーク(イタセンネット)、国土交通省淀川河川事務所、大阪府立環境農林水産総合研究所生物多様性センターが連携し平成25年～令和3年度の9年間でオオクチバス、ブルーギルを併せて約87,000個体、H31年からR3年度までの期間では約23,000個体を駆除している。
	18	外来種対策の実施	外来種の現状把握と対策内容	進捗あり	イタセンバラの産卵母貝となっているイシガイ類を大量に捕食していることが判明している特定外来生物である哺乳類ヌートリアの防除対策を進めている。R1年度は9頭、R2年度は2頭の捕獲・防除を行った。	
	19	良好な景観の保全・創出の取り組み	良好な景観の保全・創出の取り組み	瀬田川の水辺のあり方に関する取り組み内容〔上流域(山間部)宇治川～瀬田川、上流域(湛水区間)瀬田川(野洲川含む)〕	該当なし	
	20			河川景観を損ねている不法工作物等の計画的な正やゴミの不法投棄の防止内容・対策箇所数	進捗あり	淀川本川(大阪市域、守口市域、枚方市域、高槻市域)の不法耕作面積は、令和元年度から令和3年度にかけて約6千㎡前後を推移しており、令和3年度末時点で6千㎡である。不法係留船は12隻となり、減少傾向となっている。
	21			ダム貯水池の斜面裸地対策、ダム周辺における構造物等の景観対策の実施内容・対策箇所数〔上流域(山間部)宇治川～瀬田川〕	該当なし	
	22	河川の連続性の確保	河岸-陸域の連続性の確保	ワンドやたまりの保全・再生内容・整備箇所数〔下流域(湛水区間)〕	進捗あり	ワンド倍増計画のもと、R2年度に点野地区に1箇所、三矢地区に掘り込みワンド2箇所の整備を行った。今後効果検証のためのモニタリングを実施していく。
	23			ヨシ原の保全・再生内容・面積〔下流域(感潮区間)、下流域(流水区間)、中流域宇治川〕	進捗あり	鶴殿地区において、環境委員の助言のもと、R2年度に管理用通路部の切下げ整備(1,711㎡)を行った。現在ヨシの生育段階であるため経過観察中であり、順次モニタリングを行い効果検証を行う。
	24			内湾-汽水域-河川、琵琶湖-内湖・流入河川の連続性の確保	既設の堰・落差工の改良内容	該当なし
	25	川本来のダイナミズムの再生	水位変動リズム回復のための流況・位況(流量・水位の変動様式)の改善	淀川大堰による水位操作の改善内容〔下流域(湛水区間)〕	進捗あり	アユの遡上の促進とコイ・フナの産卵促進を目的とした、大潮期による淀川大堰の水位管理の変動を行った。
26	瀬田川洗堰による水位操作の改善内容〔上流域(湛水区間)瀬田川(野洲川含む)〕			該当なし		
27	琵琶湖における水位低下緩和方策の検討内容〔上流域(湛水区間)瀬田川(野洲川含む)〕			該当なし		
28	流況の平滑化に対する河川環境の改善			既設ダムにおける弾力的運用等の検討内容・魚類確認数〔上流域(山間部)木津川、上流域(山間部)名張川・宇陀川・青蓮寺川・猪名川〕	該当なし	
29	河川環境上必要な流量を確保するための流況・位況(流量・水位の変動様式)の改善			流水の正常な機能を維持するため必要な流量の確保内容・正常流量確保日数	進捗なし	

淀川本川進捗点検結果(平成31年度～令和3年度の点検結果)

淀川水系河川整備計画の進捗点検における点検項目、観点及び指標

分類	No.	点検項目	観点	指標	平成31年度～令和3年度 進捗	点検結果	
流域の視点に立った水循環・物質循環系の構築	30	流域視点による水質対策の実現や流域的な現状把握状況	水質総量規制の実施体制の検討、新たな水質浄化の取り組み内容	水質総量規制の実施体制の検討、新たな水質浄化の取り組み内容	進捗あり	河川事務所内の集中管理センターにて、24時間体制で水域の水質監視を行っている。	
	31				南湖の再生プロジェクト取り組み内容〔上流域(湛水区間)瀬田川(野洲川含む)〕		該当なし
	32	水質負荷と環境影響についての流域的な現状把握	琵琶湖の水質保全対策の取り組み内容・効果〔上流域(湛水区間)瀬田川(野洲川含む)〕	琵琶湖の水質保全対策の取り組み内容・効果〔上流域(湛水区間)瀬田川(野洲川含む)〕	該当なし	淀川の各所において、定期的に水質・底質分析調査を行っている。	
	33				河川の水質保全対策の取り組み内容		進捗あり
	34				ダム貯水池の水質保全対策の取り組み内容・対策実施数		該当なし
	35				河床変動等の土砂動態のモニタリング、総合土砂管理方策の検討内容(既存ダム、ダム下流)		該当なし
36	流域の土砂生産・移動・堆積の実態把握	土砂を下流へ流すことができる砂防えん堤の設置内容・設置数(砂防施設)	該当なし	該当なし			
流域管理に向けた継続的な施策展開	37	モニタリングの実施	河川環境のモニタリングの実施内容	河川環境のモニタリングの実施内容	進捗あり	中津地区、鵜殿地区におけるヨシ原植生モニタリング、各既存干潟及び河口干潟再生試験施行地における干潟・鳥類・魚類・植物・底生生物のモニタリング調査、淀川の各ワンドのモニタリングを行った。	
	38	生物の生息・生育・繁殖環境に配慮した工事の施工	生物の生息・生育・繁殖環境に配慮した工事の施工の実施内容・箇所	生物の生息・生育・繁殖環境に配慮した工事の施工の実施内容・箇所	進捗あり	R3年度に豊里地区における淀川伐木工事においての工事用道路の計画の際に、現存するオギ・ヨシ原に生息するカヤネズミの保全のため湿地帯を避け施工を行った。	
	39	関係機関との連携による河川環境や景観の保全・再生	関係機関との連携による河川環境や景観の保全・再生の実施内容	関係機関との連携による河川環境や景観の保全・再生の実施内容	進捗あり	市民団体、企業や地住民との連携のもと、淀川敷の清掃活動を目的とした「淀川わんどクリーン大作戦」を毎年開催している。(R2、R3は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止)また、河川レンジャーとの連携による市民参加型のイベントとしてR3年11月「鳥飼ワンドの外来水草の除去」を行った。	
	40	河川管理者以外の者が管理する施設に対する働きかけ	河川管理者以外の者が管理する施設に対する働きかけの実施内容	河川管理者以外の者が管理する施設に対する働きかけの実施内容	進捗あり	R1年度に大阪市水道局が管理する旧水管橋の撤去工事について、環境委員より指導助言を行いヨシ原への影響に配慮した工事を実施している。 R2年度には寝屋川市が管理する取水施設の撤去工事について、環境委員より指導助言を行い環境に配慮した工事を実施している。 淀川の高水敷利用について、公園等を審議対象として河川保全利用委員会を開催。 令和3年度は、津之江公園及びびまわり児童遊園(高槻市)、UR公園緑地(大阪市)を審議対象とし、河川保全利用委員会を開催。	
	41	河川環境の保全と再生のための人材育成	河川環境の保全と再生のための人材育成の実施内容	河川環境の保全と再生のための人材育成の実施内容	進捗あり	「多自然川づくり近畿地方ブロック会議」は、整備局・地方公共団体等の職員及び民間技術者の技術向上・研鑽を目的として毎年開催している。	
	42	流域管理に向けた環境情報に関する調査研究の実施	流域管理に向けた環境情報に関する調査研究の推進の実施内容	流域管理に向けた環境情報に関する調査研究の推進の実施内容	進捗あり	平成28年度に環境情報図を更新してから4年が経過し、河川水辺の国勢調査をはじめとする環境情報データの蓄積や淀川保全対象種リストが更新されたことから、令和2年度に新たに環境情報図を更新した。	

淀川本川進捗点検結果(平成31年度～令和3年度の点検結果)

淀川水系河川整備計画の進捗点検における点検項目、観点及び指標

分類	No.	点検項目	観点	指標	平成31年度～令和3年度 進捗	点検結果
治水・ 防災	43	危機管理体制の構築	破堤氾濫に備えた被害の軽減対策、避難体制の確立	防災意識の啓発内容	進捗あり	令和元年度、枚方市教育委員会への支援として、枚方市に特化した水害に関する副読本(案)を作成した。令和元年度、各治川市町主催の防災訓練等イベントにおいてVRを活用し浸水想定区域の説明を実施。(令和2～3年度は、コロナ禍で実施なし。)河川レンジャーによる大阪市立十三中学校等での出前講座を継続的に実施している。
	44			自治体、水防団、マスメディア等との情報共有化のための情報伝達体制	進捗あり	R3年度、WEB会議により風水害対応時に水位予測データ等の共有を実施。
	45			ハザードマップの作成内容・フォローアップ	進捗あり	令和3年度(令和4年2月)に門真市、東大阪市が淀川流域L2浸水想定区域によるハザードマップに更新している。これにより、淀川本川L2浸水想定範囲の自治体の更新が終了した。
	46			マイ防災マップの作成状況	進捗あり	マイ防災マップに関する出前講座を継続的に実施 令和3年度、マイ防災マップ作成オンライン学習動画を作成し事務所HPへ公表した。
	47			地下空間の浸水被害への対応状況	進捗なし	
	48			水防活動、水防訓練への支援内容及び水防技術の継承	進捗あり	各沿川自治体でハザードマップ、避難計画の毎年更新や、各水防事務組合、水防団による水防訓練、河川レンジャーによる防災講座等を実施。河川レンジャーの防災講座等については、実施回数61回、参加者11,824名であった(動画配信・イベント出展6回4,707人含む)。
	49			水防拠点整備の内容・箇所数	進捗あり	令和3年度に、淀川・宇治川・桂川・木津川における「河川防災関連施設全体計画」の承認を受けた。あわせて、摂津市鳥飼地区における「河川防災ステーション整備計画」が登録され、摂津市と連携して事業を推進している。
	50			公共施設の耐水化等の支援内容	進捗なし	
	51			水害に強い地域づくりに向けた取組内容	進捗あり	電柱に想定浸水深長のラッピングをすることで、視覚的に浸水範囲を認識しやすくする、「まるごとまちごとハザードマップ」の実施箇所を増やした。具体的には高槻市で0箇所から17箇所に、摂津市で11箇所から30箇所に、島本町で1箇所から5箇所に増加した。
	52			河川に集中させてきた洪水エネルギーの抑制/分散対策の実施	流域全体の総合的な治水の取組内容	進捗あり
	53	堤防強化の実施	堤防の強化対策の実施	HWL以下、浸透、侵食対策実施内容・延長	進捗あり	平成31年度～令和3年度の間で1,670mの浸透対策、175mの侵食対策を実施した。残り900mの浸透対策については阪神なんば線淀川橋梁事業および淀川左岸線2期事業と重複整備区間のため、事業間調整を行い整備予定。
	54			堤防天端以下、侵食対策実施内容・延長	進捗なし	
	55			堤防天端舗装実施内容・延長	完了	
	56	川の中で洪水を安全に流下させるための対策	上下流バランスの確保	上下流バランスにおける調整内容	進捗あり	淀川本川では、流下能力を向上させるために平成30年度から阪神なんば線淀川橋梁の架け替えに着手した。今後流下能力を確保するために必要となる橋梁架け替えを検討し、実施に向けて関係機関と調整を実施する予定。
	57		河道流下能力の増大、洪水調節の効果的な実施による洪水位の低減	整備による効果	進捗あり	淀川下流部の流下能力を向上させるため、阪神なんば線淀川橋梁(1箇所)の橋梁嵩上げを実施中。
	58	高規格堤防(スーパー堤防)の整備	ハードによる超過洪水対策の実施	高規格堤防の整備内容・延長	進捗あり	大阪市此花区西島地区において、高規格堤防整備(延長:約107m)が令和3年度に完成した。
	59	土砂対策	土砂移動の制御の実施	土砂移動抑制策(砂防堰堤、山腹工)の実施内容・箇所数	該当なし	
	60	既設ダム等の運用検討	洪水調節の効果的な実施による洪水位の低減状況	既存ダムの効果内容・洪水位低下量	該当なし	
	61	高潮対策	高潮被害軽減策の実施	橋梁の嵩上げ内容・箇所数	進捗あり	阪神なんば線淀川橋梁(1箇所)において、橋梁の嵩上げを実施中。
	62			陸開の確実な操作のための取組	進捗あり	淀川・神崎川及び左門殿川防潮扉点検操作訓練を関係する28機関合同で毎年実施。
	63	地震・津波対策	地震対策事業の実施	河川管理施設の耐震対策実施内容・箇所数	進捗あり	令和2年に淀川大堰、令和3年に淀川陸開、伝法陸開、阪神陸開の耐震対策が完了。
	64			緊急用河川敷道路の整備内容・延長	進捗なし	淀川左岸部の国道176号～JR上淀橋(JR東海道本線)の緊急道未整備区間2.2kmについては、淀川左岸線2期事業と重複整備区間のため、事業間調整を行い整備予定。
	65			津波ハザードマップ作成支援内容・作成市町村数	進捗無し	大阪府及び大阪市において、各機関のHP上で平成25年8月公表結果を公開している。以後、国土交通省「津波浸水想定の手引き」更新も無いことから、進捗無し。
	66		津波情報提供設備の設置内容・設置数	進捗あり	監視制御装置3台設置、観測局28台設置。(令和4年度工事にて、監視制御装置2台及び観測局12台更新予定。)	
	67		陸開の確実な操作のための取組	進捗あり	淀川・神崎川及び左門殿川防潮扉点検操作訓練を関係する28機関合同で毎年実施。	



淀川本川進捗点検結果(平成31年度～令和3年度の点検結果)

淀川水系河川整備計画の進捗点検における点検項目、観点及び指標

分類	No.	点検項目	観点	指標	平成31年度～令和3年度 進捗	点検結果
利水	68	環境に配慮した効率的な水利用の促進	慣行水利権の許可水利権化の実施	水利権の見直し、転用、慣行水利権の許可化の実施状況	進捗あり	水利権の許可更新時に取水量の減量や用途廃止等の水利権の見直しを行っている。また慣行水利権の許可水利権化については、法定化に向けた働きかけを行っており、平成30年度から令和3年度の間に水利権許可の実績は2件あり。
	69		効率的な水利用の促進	効率的な水利用のための取り組み	進捗あり	ダムの貯水率をホームページで公表、各種イベントでのパネル展示などにより、節水への意識向上を図っている。
	70		安定した水利用が出来ていない地域の対策	新規水源の確保内容	進捗あり	川上ダム建設事業、天ヶ瀬ダム再開発事業を実施中。
	71	渇水への備えの強化	渇水調整の円滑化への取り組み	渇水対策会議の機能拡大、会議構成員拡大及び常設化(利水者会議)の実現に向けた内容	進捗あり	H30年度に気候変動が淀川水系の渇水リスクに及ぼす影響についての検討を行った。令和元年度は気象変動に関する研究動向や水資源分野への影響について情報共有・意見交換を実施した。令和3年度に淀川水系渇水対応タイムラインの試行運用を開始し、渇水への対策とその時期について行動計画を作成した。
利用	72	川らしい利用の促進	水域の秩序ある河川利用に向けての誘導または規制の取組(水面利用)	舟運の取り組み内容	進捗あり	淀川舟運の更なる活性化に向けた取り組みを関係者が協議・連携して推進すべく、淀川舟運活性化協議会を令和4年3月に新たに設立した。
	73			秩序ある河川利用に向けての取組内容・誘導、規制数	進捗あり	淀川本川において不法係留が見られるため、水面利用の適正化に向けて是正に取り組んでいる。(平成30年度末時点で大阪府域25隻、守口市域6隻 計31隻を確認)平成31年度から令和3年度にかけて、これまでに引き続き不法係留船の所有者に対して是正指導を行い、大阪府域の13隻、守口市域の6隻 計19隻を是正した。不法係留船の撤去により、洪水時における不法係留船流失による河川管理施設等への衝突等に伴う損傷リスクを軽減するとともに、不法占用解消、環境改善が図られた。
	74			川の安全利用施策の実施	安全利用点検の実施内容、水難事故防止に向けた取り組みの実施回数	進捗あり
	75		「川に活かされた利用」の実施	河川でしか出来ない利用(環境教育等)の実施内容	進捗あり	フンドを活用した魚とりや自然観察会を実施して親子の参加を促し、川の自然環境を伝えるとともに、あわせて安全な河川利用の啓発を行った。平成31年度から令和3年度で35回の活動を実施し、1545名の参加があった。
	76		陸域・水陸移行帯の秩序ある河川利用に向けての誘導または規制の取組(川らしい河川敷利用)	河川保全利用に関する取り組み内容	進捗あり	淀川本川の高水敷利用について、公園等を審議対象として河川保全利用委員会を開催。委員からは「スポーツ利用者を主な対象とした環境学習に取り組むこと。」などの意見をいただき、繁殖力の強い外来種への対応強化など施設管理者に対して管理の改善について指導・助言を実施。
	77			違法行為の是正内容	進捗あり	淀川本川(大阪府域)の不法耕作面積は、令和元年度から令和3年度にかけて約6千㎡前後を推移しており、令和3年度末時点で6千㎡であり、巡視を含めた現地での口頭指導、禁止看板の設置等を実施している。
	78	憩い、安らげる河川の整備	憩い、安らげる河川の整備	水辺の整備内容	該当なし	
	79			小径(散策路)の利便性向上の取組内容	進捗なし	
	80			迷惑行為の是正内容・対策箇所数	進捗あり	ゴルフやゴミの不法投棄、車両乗り入れ等の迷惑行為が行われており、巡視を含めた現地での口頭指導、禁止看板の設置等を実施している。
	81			ホームレス対応内容・確認数	進捗あり	令和元年度には46名が河川敷で起居していたが、これまで定期的に巡回するとともに、福祉部局とも情報交換を実施したことにより、令和3年度末には36名と減少した。
82	まちづくり・地域づくりとの連携	まちづくりや地域連携の取り組み	歴史文化と調和した河川整備内容	該当なし		
83			水辺を活かしたまちづくりの利便性向上の取組内容	進捗あり	旧淀川区役所跡地の再開発や十三船着場整備を契機に、淀川河川敷十三エリアの魅力向上のため、かわまち支援制度を活用した周辺整備について令和2年度末より議論を実施。	
維持管理	84	堤防等の河川管理施設の機能を維持するための適切な維持管理の実施	ダムの健康診断内容・補修箇所数、堤防等河川管理施設の巡視・点検及び補修の実施内容	進捗あり	堤防等河川管理施設の点検と点検結果の評価、対策工の検討及び優先度評価を実施。抽出された変状毎の2次評価結果では、R3年度末時点で、予防保全段階23箇所、措置段階0箇所となっている。	
	86		ダム機能の維持内容・堆砂量	該当なし		
	87	許可工作物の点検整備及び対策についての施設管理者への指導	点検、修繕内容・実施数	進捗あり	「許可工作物に係る施設維持管理技術ガイドライン」に基づき、令和3年度は橋梁、樋門等許可工作物140施設の点検について、設置者単独、又は河川管理者との合同点検を実施した。うち要監視段階が19施設、予防保全段階が8施設であった。	
	88	維持管理	河川区域等の管理	河道内樹木の伐採の実施状況	進捗あり	淀川本川全体で平成31年度～令和3年度にかけて、447.6千㎡伐採した。対象樹木群の多くは流水阻害対象であったが、一部環境上好ましくない樹木群の伐採も行っている。これにより、伐採区間については河道流下断面が確保できた。
	89			堆積土砂の除去の実施内容	進捗あり	淀川本川において、当面は10.0kmから三川合流点のうち、航路を確保する必要があるところについては堆積土砂の除去対策を実施している。なお、その際、砂利採取規制計画に定める範囲内において、砂利採取を認めている。平成31年度～令和3年度で約40万m3の堆積土砂除去を実施。河道内堆積土砂の管理については、定期的及び出水後の河床変動状況を把握するため、縦横断面測量モニタリングを実施。
90	ゴミの不法投棄の状況及び処分の実施内容			進捗あり	不法投棄を発見した場合には、行為者の特定に努め、行為者への指導監督、撤去等の対応を適切に行う。ゴミ等の不法投棄は夜間や休日に行われやすいことから、行為者の特定等のため、必要に応じて夜間や休日の河川巡視等を実施する。広報によりマナーアップや自己啓発を促すとともに、河川レンジャーなどによる河川愛護活動や地域ボランティア活動の支援を行い、地域と一体となった塵芥処理に努める。淀川河川事務所管内では、H31年度で約1300m3、令和2年度で約1100m3、令和3年度で約980m3のゴミを処理。	

宇治川進捗点検結果(平成31年度～令和3年度の点検結果)

淀川水系河川整備計画の進捗点検における点検項目、観点及び指標

分類	No.	点検項目	観点	指標	平成31年度～令和3年度 進捗	点検結果	
人と川とのつながり	1	日常からの川と人のつながりの構築	「住民参加推進プログラム」の作成・実践	住民参加推進プログラムの活動内容	進捗あり	小学校と連携した総合学習や、自治体・自治会などと連携した活動を実施。地域の防災訓練と連携した浸水歩行体験については、平成31年度～令和3年度で活動を4回実施し、553名の参加があった。	
	2		住民・住民団体(NPO等)との連携	住民・住民団体(NPO等)との連携内容	進捗あり	自治体、地域団体と連携し、広報、ごみ処理、掃除道具の手配、当日の運営、安全管理等を分担して、河川清掃活動を実施。東高瀬川のクリーンアップ活動については、平成31年度～令和3年度で3回166名の参加があった。参加者からは「除草後の作業だったので、ごみを収集しやすかった」「年々不法投棄が少なくなってきたように思う」などの意見をいただいた。	
	3		河川レンジャーの充実	河川レンジャー在籍人数(治水・環境・防災などの拡大)と、住民・住民団体(NPO等)との交流内容	進捗あり	淀川河川事務所管内では各出張所管内毎に河川レンジャーを配置し、沿川全域で活動を行っており、平成31年度から令和3年度で370回(宇治川では43回)、住民等と交流を行った。 近年、継続して同じ中学校から防災や地域学習の依頼があり、令和3年度実施したマイ・タイムライン学習では、「ハザードマップの見方や水害時にどうすればいいかわかった」「事前に準備しておく事が大事だと思いました」「もう一度家族でハザードマップを見て、どこが安全でどこが危ないのかを知りたい」等の意見があった。あわせて近隣の小学校からも地域学習依頼があるなど、地域に活動の広がりが出てきている。	
	4		子ども達の関わりの促進	環境教育等の実施内容	進捗あり	総合学習として、地域の川の歴史について学び、清掃などを行う京都伏見ジュニア河川レンジャーの活動や、地域学習「宇治学」のプログラムとして地元の川を学ぶ単元において、水質調査・自然観察などの指導を行った。平成31年度～令和3年度で12回818名が参加した。実施した活動が広報誌に掲載された。	
	5		情報発信の充実	HP、携帯サイトの情報発信内容、新しいコンテンツの取り組み	進捗あり	河川に係わる身近な情報(工事情報や河川のライブ映像、河川公園で行われるイベントなど)をホームページやSNS(Youtube、Facebook、Twitter)で、継続的に情報発信している。	
	6		住民に関心をもってもらうための取り組み	住民に河川行政への関心をもってもらうための具体的な取り組み、住民、住民団体との交流内容	進捗あり	地域・学校と連携し、ハザードマップの読み方や避難フローの考え方を学ぶ出前講座などについて、平成31年度～令和3年度で活動を9回実施し、1213名が参加した。	
	7		小径(散策路)、「歴史文化の薫る散歩道(仮称)」の整備	小径(散策路)の整備内容・延長	進捗なし		
	8		憩い、安らげる河川の整備	河川を安心して利用できる整備内容・箇所数	進捗あり	令和3年度末時点で淀川河川公園内の移動式トイレは86箇所あり、更新等にあわせて車椅子利用に対応したトイレを適宜整備している。	
	9		三川合流部の整備	三川合流部交流拠点の整備内容	完了	平成28年度に三川合流部の交流拠点となる「さくらであい館」を背割堤地区に整備した。	
	10		洪水・災害時の人と川とのつながりの構築	破堤氾濫に備えた分かりやすい情報発信	まるごとまちごとハザードマップ設置箇所・設置数、浸水想定区域、浸水シミュレーション等の防災情報の情報発信	進捗あり	沿川市町の京都市において、令和2年度に32枚、令和3年度に30枚を追加設置。 久御山町において令和2年度に10枚、令和3年度に9枚を追加設置。それにより、京都府域で合計323枚を設置した。
	11			関係機関との連携	協議会等との連携内容	進捗あり	毎年度定期的に協議会(水害に強い地域づくり協議会)を開催することにより、関係自治体との連携を強化している。 なお、令和3年度は首長会議1回、行政WG2回、ブロック別会議2回、鉄道WGを1回開催し、関係機関との連携を図った。
	12		上下流の連携の構築	上下流交流の促進	水源地域ビジョンに基づく活動内容	進捗あり	令和元年7月5日「水辺で乾杯2019宇治茶で乾杯! in中之島」を開催、令和元年8月4日「森と湖に親しむ旬間イベントやましろ未来っ子サイエンスラリー」等の住民協働によるダム(流域)管理に取り組んだ。 令和2年9月6日「天ヶ瀬ダム(アーチ式)の景色を目に映そう!」を開催、令和2年10月25日「瀬田川一斉清掃」の活動に対してサポートを行った。 令和3年10月24日「鳳凰湖船舶安全利用協議会主催の清掃活動」に対してサポートを行った。

宇治川進捗点検結果(平成31年度～令和3年度の点検結果)

淀川水系河川整備計画の進捗点検における点検項目、観点及び指標

分類	No.	点検項目	観点	指標	平成31年度～令和3年度 進捗	点検結果
環境	13	琵琶湖・淀川水系の生態系の固有性および多様性の価値に関する保全		イタセンバラを目標種とした淀川中下流域での環境再生の実施内容・個体数〔下流域(湛水区間)、下流域(流水区間)〕	該当なし	
	14			ナカセコカワニナの生息・繁殖環境として望ましい河川環境の再生方策の検討内容〔中流域宇治川〕	進捗なし	
	15			オオサンショウウオの生息・繁殖に適した河川環境の再生・創出方策の検討内容〔上流域(盆地～源流部)木津川〕	該当なし	
	16			アユモドキの生息環境として望ましい河川環境の再生方策の検討内容・確認箇所数〔中流域宇治川〕	進捗なし	
	17	多様な生態系を有する淀川水系の再生と次世代への継承	生態系・生物群集多様性の維持・回復に向けた取組	関係機関が連携した取り組み内容	進捗あり	令和2年度より京都府の助言の元、外来種のアルゼンチンアリの駆除対策として、宇治川右岸域の伏見地区において薬剤散布を行っている。
	18		外来種対策の実施	外来種の現状把握と対策内容	進捗あり	京都府やほか関係機関と協同で「アルゼンチンアリ根絶協議会」を設立し、定期的に分布範囲の調査や、効率的な防除対策について検討している。
	19	良好な景観の保全・創出の取り組み		瀬田川の水辺のあり方に関する取り組み内容〔上流域(山間部)宇治川～瀬田川、上流域(湛水区間)瀬田川(野洲川含む)〕	該当なし	
	20			河川景観を損ねている不法工作物等の計画的な正やゴミの不法投棄の防止内容・対策箇所数	進捗あり	宇治川の令和3年度末時点の不法耕作面積は1,300m2となっており、減少傾向にある。
	21			ダム貯水池の斜面裸地対策、ダム周辺における構造物等の景観対策の実施内容・対策箇所数〔上流域(山間部)宇治川～瀬田川〕	進捗あり	平成27年度に実施した試験施工箇所について、現時点では概ね順調に生育しており、引き続きモニタリングを継続する。また、景観確保としてどの箇所が裸地対策として有効かどうか、優先箇所の選定をおこなって行く予定。
	22	河川の連続性の確保	河岸-陸域の連続性の確保	ワンドやたまりの保全・再生内容・整備箇所数〔下流域(湛水区間)〕	該当なし	
	23			ヨシ原の保全・再生内容・面積〔下流域(感潮区間)、下流域(流水区間)、中流域宇治川〕	進捗あり	令和3年3月に宇治川大橋付近において、ヨシ原保全を目的としたヨシ焼を関係団体主催で行った。
	24			内湾-汽水域-河川、琵琶湖-内湖・流入河川の連続性の確保	既設の堰・落差工の改良内容	該当なし
	25	川本来のダイナミズムの再生	水位変動リズム回復のための流況・位況(流量・水位の変動様式)の改善	淀川大堰による水位操作の改善内容〔下流域(湛水区間)〕	該当なし	
	26			瀬田川洗堰による水位操作の改善内容〔上流域(湛水区間)瀬田川(野洲川含む)〕	該当なし	
27	琵琶湖における水位低下緩和方策の検討内容〔上流域(湛水区間)瀬田川(野洲川含む)〕			該当なし		
28	流況の平滑化に対する河川環境の改善			既設ダムにおける弾力的運用等の検討内容・魚類確認数〔上流域(山間部)木津川、上流域(山間部)名張川・宇陀川・青蓮寺川・猪名川〕	該当なし	
29		河川環境上必要な流量を確保するための流況・位況(流量・水位の変動様式)の改善	流水の正常な機能を維持するため必要な流量の確保内容・正常流量確保日数	該当なし		

宇治川進捗点検結果(平成31年度～令和3年度の点検結果)

淀川水系河川整備計画の進捗点検における点検項目、観点及び指標

分類	No.	点検項目	観点	指標	平成31年度～令和3年度 進捗	点検結果		
流域の視点に立った水循環・物質循環系の構築	30	流域の視点による水質対策の実現や流域的な現状把握状況	水質総量規制の実施体制の検討、新たな水質浄化の取り組み内容	水質総量規制の実施体制の検討、新たな水質浄化の取り組み内容	進捗あり	河川事務所内の集中管理センターにて、24時間体制で水域の水質監視を行っている。		
	31				南湖の再生プロジェクト取り組み内容〔上流域(湛水区間)瀬田川(野洲川含む)〕		該当なし	
	32	水質負荷と環境影響についての流域的な現状把握	琵琶湖の水質保全対策の取り組み内容・効果〔上流域(湛水区間)瀬田川(野洲川含む)〕	琵琶湖の水質保全対策の取り組み内容・効果〔上流域(湛水区間)瀬田川(野洲川含む)〕	該当なし	宇治川において継続的に水質調査(BOD)を実施。令和3年度の水質調査結果の平均値は0.8mg/L、水質階級はⅡ級であった。		
	33				河川の水質保全対策の取り組み内容		進捗あり	
	34				ダム貯水池の水質保全対策の取り組み内容・対策実施数		該当なし	天ヶ瀬ダムの水質及び底質共に経年的な変化は概ね確認されておらず、引き続き水質、底質調査を実施していく。
	35				河床変動等の土砂動態のモニタリング、総合土砂管理方策の検討内容(既存ダム、ダム下流)		進捗あり	淀川水系総合土砂管理検討委員会で総合土砂管理方策について検討。R元年度、R3年度に置砂を実施し、その効果についてモニタリングを実施中。
	36	流域の土砂生産・移動・堆積の実態把握	土砂を下流へ流すことができる砂防えん堤の設置内容・設置数(砂防施設)	該当なし				
	流域管理に向けた継続的な施策展開	37	モニタリングの実施	河川環境のモニタリングの実施内容	河川環境のモニタリングの実施内容	進捗あり	事業の実施にあたっては淀川環境委員会の助言を得ながらモニタリングを実施している。宇治川では河川工事に伴う工事後のナカセコカワニナの生息環境の把握のため物理環境調査(流速、水深等)を継続的にしている。	
		38	生物の生息・生育・繁殖環境に配慮した工事の施工	生物の生息・生育・繁殖環境に配慮した工事の施工の実施内容・箇所	生物の生息・生育・繁殖環境に配慮した工事の施工の実施内容・箇所	進捗あり	淀川環境委員会の指導・助言を得ながら生物の生息・生育・繁殖環境に配慮し適切に工事を施工している。令和3年度、淀川環境委員会に諮った工事案件数は42件だった。	
		39	関係機関との連携による河川環境や景観の保全・再生	関係機関との連携による河川環境や景観の保全・再生の実施内容	関係機関との連携による河川環境や景観の保全・再生の実施内容	進捗あり	宇治川塔の島地区では、平成21年度より関係機関と連携し、景観や環境に配慮した河川改修を開始し、令和元年度に完成し、事業完成を記念した記念式典が開かれた。	
		40	河川管理者以外の者が管理する施設に対する働きかけ	河川管理者以外の者が管理する施設に対する働きかけの実施内容	河川管理者以外の者が管理する施設に対する働きかけの実施内容	進捗あり	宇治川の高水敷利用について、公園等を審議対象として河川保全利用委員会を開催。令和3年度は白川公園及び天ヶ瀬公園(宇治市)、かわきた自然公園(八幡市)、宇治川公園(京都市)を審議対象とし、河川保全利用委員会を開催。	
		41	河川環境の保全と再生のための人材育成	河川環境の保全と再生のための人材育成の実施内容	河川環境の保全と再生のための人材育成の実施内容	進捗あり	「多自然川づくり近畿地方ブロック会議」は、整備局・地方公共団体等の職員及び民間技術者の技術向上・研鑽を目的として毎年開催している。	
42		流域管理に向けた環境情報に関する調査研究の実施	流域管理に向けた環境情報に関する調査研究の推進の実施内容	流域管理に向けた環境情報に関する調査研究の推進の実施内容	進捗あり	平成28年度に環境情報図を更新してから4年が経過し、河川水辺の国勢調査をはじめとする環境情報データの蓄積や淀川保全対象種リストが更新されたことから、令和2年度に新たに環境情報図を更新した。		

宇治川進捗点検結果(平成31年度～令和3年度の点検結果)

淀川水系河川整備計画の進捗点検における点検項目、観点及び指標

分類	No.	点検項目	観点	指標	平成31年度～令和3年度 進捗	点検結果	
治水・ 防災	43	危機管理体制の構築	破堤氾濫に備えた被害の軽減対策、避難体制の確立	防災意識の啓発内容	進捗あり	河川レンジャーによる小学校等でのマイ・タイムライン作成の出前授業など7回757名行った。また、自治会の防災訓練で浸水地歩行などを5回563名行った。	
	44			自治体、水防団、マスメディア等との情報共有化のための情報伝達体制	進捗あり	R3年度、WEB会議により風水害対応時に水位予測データ等の共有を実施。	
	45			ハザードマップの作成内容・フォローアップ	完了		
	46			マイ防災マップの作成状況	進捗あり	マイ防災マップに関する出前講座を継続的に実施 令和3年度、マイ防災マップ作成オンライン学習動画を作成し事務所HPへ公表した。	
	47			地下空間の浸水被害への対応状況	該当なし		
	48			水防活動、水防訓練への支援内容及び水防技術の継承	進捗あり	各沿川自治体でハザードマップ、避難計画の毎年更新や、各水防事務組合、水防団による水防訓練、河川レンジャーによる防災講座等を実施。	
	49			水防拠点整備の内容・箇所数	進捗あり	令和3年度に水管理・国土保全局長より、水防拠点や河川防災ステーション等の防災関連施設整備に関する「河川防災関連施設全体計画」の承認を受けた。今後、全体計画に基づき沿川市町と河川防災ステーション整備に向けて調整を進めて行く。	
	50			公共施設の耐水化等の支援内容	進捗なし		
	51			水害に強い地域づくりに向けた取組内容	進捗あり	電柱に想定浸水深長のラッピングをすることで、視覚的に浸水範囲を認識しやすくする、「まるごとまちごとハザードマップ」の実施箇所を増やした。具体的には京都市で1箇所から63箇所に、久御山町で11箇所から30箇所に増加した。	
	52			河川に集中させてきた洪水エネルギーの抑制/分散対策の実施	流域全体の総合的な治水の取組内容	進捗あり	令和2年度に淀川流域治水協議会を設立し、協議会の中で淀川流域治水協議会淀川(京都府域)分会を設置。令和3年度は流域治水×グリーンインフラや特定都市河川の登録に関する情報、流域治水プロジェクトの充実に向けた取組について情報共有した。
	53			堤防強化の実施	堤防の強化対策の実施	HWL以下、浸透、侵食対策実施内容・延長	完了
	54	堤防天端以下、侵食対策実施内容・延長	進捗なし				
	55	堤防天端舗装実施内容・延長	完了				
	56	川の中で洪水を安全に流下させるための対策	上下流バランスの確保	上下流バランスにおける調整内容	進捗あり	R元年度に塔の島地区河川改修事業が完了。また、R4年8月からは天ヶ瀬ダム再開発事業のトンネル式放流設備の運用を開始。	
	57		河道流下能力の増大、洪水調節の効果的な実施による洪水位の低減	整備による効果	進捗あり	R元年度に塔の島地区河川改修事業が完了したことで、昭和28年台風13号洪水を目標とする流下能力を確保。	
	58	高規格堤防(スーパー堤防)の整備	ハードによる超過洪水対策の実施	高規格堤防の整備内容・延長	該当なし		
	59	土砂対策	土砂移動の制御の実施	土砂移動抑制策(砂防堰堤、山腹工)の実施内容・箇所数	該当なし		
	60	既設ダム等の運用検討	洪水調節の効果的な実施による洪水位の低減状況	既存ダムの効果内容・洪水位低下量	進捗あり	H31～R3においては、天ヶ瀬ダムの洪水調節の実績は無いが、天ヶ瀬ダム再開発事業の完了に伴い、天ヶ瀬ダムを効果的に運用し、宇治川及び淀川において洪水を安全に流下させるとともに、琵琶湖に貯留された洪水の速やかな放流を実施。	
	61	高潮対策	高潮被害軽減策の実施	橋梁の嵩上げ内容・箇所数	該当なし		
	62			陸間の確実な操作のための取組	該当なし		
	63	地震・津波対策	地震対策事業の実施	河川管理施設の耐震対策実施内容・箇所数	進捗なし		
64	緊急用河川敷道路の整備内容・延長			該当なし			
65	津波対策事業の実施		津波ハザードマップ作成支援内容・作成市町村数	該当なし			
66			津波情報提供設備の設置内容・設置数	該当なし			
67			陸間の確実な操作のための取組	該当なし			

宇治川進捗点検結果(平成31年度～令和3年度の点検結果)

淀川水系河川整備計画の進捗点検における点検項目、観点及び指標

分類	No.	点検項目	観点	指標	平成31年度～令和3年度 進捗	点検結果
利水	68	環境に配慮した効率的な水利用の促進	慣行水利権の許可水利権化の実施	水利権の見直し、転用、慣行水利権の許可化の実施状況	進捗あり	水利権の許可更新時に取水量の減量や用途廃止等の水利権の見直しを行っている。また慣行水利権の許可水利権化については、法定化に向けた働きかけを行っており、平成30年度から令和3年度の間に水利権許可の実績は2件あり。
	69		効率的な水利用の促進	効率的な水利用のための取り組み	進捗あり	ダム貯水率をホームページで公表、各種イベントでのパネル展示などにより、節水への意識向上を図っている。
	70		安定した水利用が出来ていない地域の対策	新規水源の確保内容	進捗あり	川上ダム建設事業、天ヶ瀬ダム再開事業を実施中。
	71	渇水への備えの強化	渇水調整の円滑化への取り組み	渇水対策会議の機能拡大、会議構成員拡大及び常設化(利水者会議)の実現に向けた内容	進捗あり	H30年度に気候変動が淀川水系の渇水リスクに及ぼす影響についての検討を行った。令和元年度は気象変動に関する研究動向や水資源分野への影響について情報共有・意見交換を実施した。令和3年度に淀川水系渇水対応タイムラインの試行運用を開始し、渇水への対策とその時期について行動計画を作成した。
利用	72		水域の秩序ある河川利用に向けての誘導または規制の取組(水面利用)	舟運の取り組み内容	進捗あり	淀川舟運の更なる活性化に向けた取り組みを関係者が協議・連携して推進すべく、淀川舟運活性化協議会を令和4年3月に新たに設立した。
	73			秩序ある河川利用に向けての取組内容・誘導、規制数	該当なし	
	74		川の安全利用施策の実施	安全利用点検の実施内容、水難事故防止に向けた取り組みの実施回数	進捗あり	安全利用点検結果をもとに4箇所の補修を実施した。危険箇所における注意喚起看板の設置や水難事故防止の教育等を行ったこともあり、利用者が増加するゴールデンウィークや夏休み期間において平成31年度～令和3年度にかけて無事故であった。
	75	川らしい利用の促進	「川に活かされた利用」の実施	河川でしか出来ない利用(環境教育等)の実施内容	進捗あり	小学校と連携した伏見ジュニア河川レンジャーの活動や、自治体の文化財保護課と連携した河原で土器探しなど、川の歴史や治水を学ぶ機会として、平成31年度～令和3年度で活動を13回実施し、488名の参加があった。
	76		河川保全利用に関する取り組み内容	進捗あり	宇治川の高水敷利用について、公園等を審議対象として河川保全利用委員会を開催。委員からは占用地利用の適正化や生物多様性への配慮について高評価をいただき、環境啓発や注意すべき外来種に関する看板の設置・更新など施設管理者に対して施設の改善について指導・助言を実施した。また、宇治川公園においては令和元年度に駐車場整備に伴ってグラウンド2面が返還され占用面積が減少した。	
	77		陸域・水陸移行帯の秩序ある河川利用に向けての誘導または規制の取組(川らしい河川敷利用)	違法行為の是正内容	進捗あり	宇治川においては、平成31～令和3年度で約200㎡の不法耕作を是正した。平成31年度の不法耕作面積は約1,500㎡であったが、宇治川の令和3年度末時点の不法耕作面積は1,300㎡2となっており、減少傾向にある。不法工作物に対しては、是正看板設置や現地指導を行い、行為者による撤去が行われた。また不法耕作地については、是正指導看板設置や現地指導の実施に伴い是正を行った。
	78	憩い、安らげる河川の整備	憩い、安らげる河川の整備	水辺の整備内容	該当なし	
	79			小径(散策路)の利便性向上の取組内容	進捗なし	
	80			迷惑行為の是正内容・対策箇所数	進捗あり	2箇所において、ドローン飛行やゴルフの迷惑行為が行われていたが、現地での口頭指導、禁止看板の設置等を行い、平成31年度に解消した。
	81			ホームレス対応内容・確認数	進捗あり	宇治川では、ホームレスの人数は増減を繰り返しており、令和3年度末時点では5名のホームレスが起居している。巡回時等に声掛けを行うなどして退去を促している。
	82	まちづくり・地域づくりとの連携	まちづくりや地域連携の取り組み	歴史文化と調和した河川整備内容	進捗あり	塔の島地区では、平成21年度より付近の景観や環境に配慮した河川改修を開始し、平成28年度からは宇治公園でも上面整備を実施。令和元年度完了。
83	水辺を活かしたまちづくりの利便性向上の取組内容			進捗あり	平成30年度よりかわまちづくり制度を活用し、ダム直下の旧発電所施設の有効活用や天ヶ瀬ダムのピュースポット整備などを宇治市と連携して実施。	
維持管理	84	維持管理	堤防等の河川管理施設の機能を維持するための適切な維持管理の実施	ダムの健康診断内容・補修箇所数、堤防等河川管理施設の巡視・点検及び補修の実施内容	進捗あり	日常点検及び主要河川管理施設総合点検実施要領に基づいた3年に1回の「主要河川管理施設総合点検(ダム定期検査)」を実施した。主要河川管理施設総合点検結果は、指摘事項なし、意見4件(土木構造物1件、貯水池周辺斜面の状態2件、貯水池の堆砂状況1件)であった。また、長寿命化計画に基づき、維持補修・更新を実施している。堤防等河川管理施設の点検と点検結果の評価、対策工の検討及び優先度評価を実施。抽出された変状毎の2次評価結果では、R3年度末時点で、予防保全段階38箇所、措置段階1箇所となっている。
	86			ダム機能の維持内容・堆砂量	進捗あり	天ヶ瀬ダムは完成後57年が経過しており、計画堆砂量6,000千m3のうち、令和3年度末における堆砂量は約5,128千m3であり、堆砂率は約85%となっている。平成27年度～令和3年度、ダム上流部において約130千m3の堆砂除去を実施。
	87		許可工作物の点検整備及び対策についての施設管理者への指導	点検、修繕内容・実施数	進捗あり	「許可工作物に係る施設維持管理技術ガイドライン」に基づき、令和3年度は橋梁、樋門等許可工作物100施設の点検について、設置者単独、又は河川管理者との合同点検を実施した。要監視段階が21施設、予防保全段階が14施設あった。
	88		河道内樹木の伐採の実施状況	進捗あり	宇治川全体で平成31年度～令和3年度にかけて、238.8千㎡伐採した。対象樹木群の全て流水阻害対象であった。これにより、伐採区間については河道流下断面が確保できた。	
	89		河道内堆積土砂の除去の実施内容	進捗あり	河道内堆積土砂の管理については、定期的及び出水後の河床変動状況を把握するため、縦横断面測量等モニタリングを実施。	
90	河川区域等の管理	ゴミの不法投棄の状況及び処分の実施内容	進捗あり	不法投棄を発見した場合には、行為者の特定に努め、行為者への指導監督、撤去等の対応を適切に行う。ゴミ等の不法投棄は夜間や休日に行われやすいことから、行為者の特定等のため、必要に応じて夜間や休日の河川巡視等を実施する。広報によりマナーアップや自己啓発を促すとともに、河川レンジャーなどによる河川愛護活動や地域ボランティア活動の支援を行い、地域と一体となった塵芥処理に努める。淀川河川事務所管内では、H31年度で約1300m3、令和2年度で約1100m3、令和3年度で約980m3のゴミを処理。		

瀬田川・野洲川進捗点検結果(令和元年度～令和3年度の点検結果)

淀川水系河川整備計画の進捗点検における点検項目、観点及び指標

分類	No.	点検項目	観点	指標	令和元年度～令和3年度 進捗	点検結果
人と川とのつながり	1		「住民参加推進プログラム」の作成・実践	住民参加推進プログラムの活動内容	進捗あり	①河川レンジャー制度運営委員会においてとりまとめた「河川レンジャー活動の理念・あるべき姿」に基づき、一般公募により選ばれた河川レンジャーが河川清掃活動などを通じて住民と住民ならびに住民と行政との連携・協働を行う体系が確立できている。令和元年度から令和3年度に計61回の活動実施。河川環境意識の向上に寄与していることから、今後も引き続き実施していく。 ②瀬田川水辺協議会にて「瀬田川にゴミが多い、沿川のみんなで清掃を。」との提言のもと、平成19年度より沿川住民、河川利用者等と協力し瀬田川一斉清掃を実施しており、この地域の10月第四日曜日の恒例行事として定着している。令和3年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となったが、自治連合会7団体、河川協力団体ほか、関係団体6団体から、令和元年度は約250名、令和2年度は約370名が参加した。河川美化への意識向上に寄与していることから、今後も引き続き実施していく。
	2		住民・住民団体(NPO等)との連携	住民・住民団体(NPO等)との連携内容	進捗あり	①ウォーターステーション琵琶の会と連携し、川や琵琶湖に親しむことを目的に、水辺に親しむ体験型イベント「水辺の匠」を毎年7月と12月に開催し、治水、防災や河川環境をより身近に感じてもらうことができている。令和元年度から令和3年度は新型コロナウイルスのため規模を縮小し「水辺の匠」を3回開催した。治水、防災及び環境教育の推進に寄与していることから、今後も引き続き実施していく。 ②沿川住民、漁業組合等の河川利用者と協力し瀬田川クリーン作戦を実施している。令和元年度は7回、令和2年度は6回、令和3年度は3回(新型コロナウイルス感染防止のため9月まで中止)実施した。河川美化への意識向上に寄与していることから、今後も引き続き実施していく。
	3		河川レンジャーの充実	河川レンジャー在籍人数(治水・環境・防災などの拡大)と、住民・住民団体(NPO等)との交流内容	進捗あり	令和3年度末時点で河川レンジャーは前年度から1名増えて3名が在籍している。さらなる河川レンジャーの担い手確保に向け、令和3年度から河川レンジャー活動を補佐し、活動を学ぶ河川レンジャートライアル(候補生)の募集を開始した。河川レンジャー活動の支援を図りながら、令和元年度22回、令和2年度13回、令和3年度26回のレンジャー活動が実施された。
	4		子ども達の関わりの促進	環境教育等の実施内容	進捗あり	①平成18年度より京都府立洛北高等学校付属中学校の生徒に出前講座を行っており、令和元年度で連続14年実施した(令和2年度、令和3年度はコロナ禍のため未実施)。参加者からは「テレビで放送されていた琵琶湖の水源を巡る対立について今日の内容を聞いてよくわかった。」などの意見があり、河川への意識向上に寄与していることから、今後も引き続き実施していく。 ②令和元年度に野洲川沿市の小学校4校(葉山小、野洲小、北野小、三上小)に出前講座を行い、水防学習と水防避難訓練を実施した(令和2年度、令和3年度はコロナ禍のため未実施)。児童からは「水が溢れないと思っていた。避難の準備をしようと思った。」「O×クイズが水害から命を守るために役立つと思う。」などの意見があり、水防意識向上に寄与していることから、今後も引き続き実施していく。 ③瀬田川及び野洲川で毎年、小中学生を対象とした水生生物調査を実施している。令和元年度は33名の参加により、水質バクテスタや透視度調査の体験を通じて環境学習を行った(令和2年度、令和3年度はコロナ禍のため未実施)。参加者より「自然環境保全への関心が高まった」と意見を得られ、環境保全意識の向上に寄与していることから、今後も引き続き実施していく。 ④野洲川河口部ヨシ帯は、立命館守山中学校の環境学習フィールドとなっており、立命館守山中学校と連携して、水生生物調査を継続して実施している。環境教育の向上に寄与していることから、今後も引き続き実施していく。
	5	日常からの川と人のつながりの構築	情報発信の充実	HP、携帯サイトの情報発信内容、新しいコンテンツの取り組み	進捗あり	①事務所ホームページで水系において関心の高い、琵琶湖水位や瀬田川洗堰放流量の日々の情報や天ヶ瀬ダム再開発事業の工事進捗状況の情報を毎月更新し掲載するとともに、事務所の取り組みに関する活動報告や記者発表の内容について、適宜、掲載し情報発信している。また、天ヶ瀬ダム再開発事業の工事に関する情報をまとめた「アマサイツーシン」についても継続して発行している。(vol.14-18) ②事務所ホームページに『天ヶ瀬ダム再開発事業のVR(バーチャルリアリティ:バーチャル見学)動画』を公開した。(画角変更可能:YouTubeにて公開)コロナ禍の影響で、見学会が中止となっているが、画角変更可能な画像公開によって、いつでもどこでもネット環境とPCなどが有れば、『天再事業見学の疑似体験が可能』となり、天再設備に興味を持ってもらうきっかけとなった。R4.3.10に公開し、再生回数は500回を超えている。 ③琵琶湖河川事務所のYouTubeチャンネル「Biwakokasen CH」に天ヶ瀬ダム再開発事業の解説動画・タイムラプス動画を公開。R2.5に公開した「【実録】アマサイー放流能力補完計画 第八話「減勢池部 日本最大級の水路トンネル」」は、再生回数900回を超えている。 ④天ヶ瀬ダム再開発事業を「魅せる!現場」として、河川への関心を高め、河川事業への理解を深めて頂くことを目的に申込みされた一般の方々との現場見学会を令和元年度14回、令和2年度2回開催している。(令和2年度及び令和3年度はコロナ禍の状況に応じて休止) ⑤令和2年度より毎日、事務所ツイッターで琵琶湖水位・瀬田川洗堰放流量を発信している。 ⑥河川レンジャーによる活動を広報することを目的にレンジャーレポートを作成し、令和元年度3回、令和2年度3回、令和3年度3回のレポートを発刊した。

瀬田川・野洲川進捗点検結果(令和元年度～令和3年度の点検結果)

淀川水系河川整備計画の進捗点検における点検項目、観点及び指標

分類	No.	点検項目	観点	指標	令和元年度～令和3年度 進捗	点検結果
かり	6		住民に関心をもってもらうための取り組み	住民に河川行政への関心をもってもらうための具体的な取り組み、住民、住民団体との交流内容	進捗あり	<p>①毎年、ウォーターステーション琵琶とアクア琵琶を会場として『水辺の匠』を開催。ウォーターステーション琵琶を利用している活動団体の方々と連携し治水、防災や河川環境などの情報発信を行っている。R3年度はコロナ感染対策をしながら規模を縮小して開催し、約500人が来場。河川や琵琶湖への関心向上に寄与していることから、今後も引き続き実施していく。</p> <p>②毎年3月頃に、守山市主催で『野洲川健康ファミリーマラソン大会』が開催されており、参加者(R3年度は約560人)を対象としたパネル展示等を行い、「野洲川の歴史」「野洲川河川内樹木の繁茂抑制への取り組み」「野洲川自然再生事業の取り組み」「水防啓発」等の琵琶湖河川事務所の取り組みについて紹介している。野洲川改修の歴史と重要性について、関心向上に寄与していることから、今後も引き続き実施していく。</p> <p>③瀬田川洗堰が建設されてから60周年を迎え、60年前の建設工事の状況を紹介することに合わせて、瀬田川洗堰の役割を琵琶湖周辺の人々に広く知っていただき、琵琶湖や河川に対する関心を高めることを目的に、パネル展を令和3年3月24日(水)～令和4年3月31日(木)間で、琵琶湖周辺の自治体10会場(アクア琵琶含む)にて開催した。琵琶湖や河川に対する関心向上に寄与した。</p> <p>④例年、6月末頃に、野洲川において守山市主催の『野洲川冒険大会』(いかだ下り大会)が開催されており、参加者及び関係者を対象にしたパネル展示やプレゼンテーション及び有志による「いかだ下り参加」を行っている。令和元年度は悪天候により、「いかだコンテスト」のみの開催されたが、河川愛護について興味を持って頂く機会となった。(令和2・3年は、コロナ禍により中止)</p> <p>⑤天ヶ瀬ダム再開発事業において、令和3年度に事業に対する理解促進のため、地元住民等を対象とした現場見学会を開催し、地元住民(志津川区約50名)、宇治市の市議らに参加をいただいた。</p>
	7		小径(散策路)、「歴史文化の薫る散歩道(仮称)」の整備	小径(散策路)の整備内容・延長	完了	※瀬田川の散策路整備は完了。
	8		憩い、安らげる河川の整備	河川を安心して利用できる整備内容・箇所数	進捗あり	野洲川の堤内側に整備している植栽護岸(延長450m)において、地元自治体等との協働により、植栽の再生に向けてシバザクラの植栽活動を行った。植栽後は「中洲芝桜通り ひだまり」と銘々され、地域の方々が憩える河川空間として再生されており、植栽護岸の維持管理が地元自治会にて行われている。
	9		三川合流部の整備	三川合流部交流拠点の整備内容	該当なし	
	10		破堤氾濫に備えた分かりやすい情報発信	まるごとまちごとハザードマップ設置箇所・設置数、浸水想定区域、浸水シミュレーション等の防災情報の情報発信	進捗あり	<p>①令和3年度に開催された「野洲川健康ファミリーマラソン」の参加者(約560人)を対象にパネル展示等を行い、拡張実現(AR)の技術を使用した浸水想定区域の説明をした。実際の浸水リスクを仮想体験できることで、事前の水害対策や水害への防災意識の向上に寄与していることから、今後も引き続き実施していく。</p> <p>②令和2年度に野洲川、令和3年度に瀬田川の洪水浸水想定区域図詳細版(浸水深数値付き)を作成・公表した。</p> <p>③アクア琵琶2階にて、野洲川の浸水想定区域についてタッチパネル表示し、広報している。また、パネル展実施時に、パンフレットなどで広報し、防災意識の向上に寄与していることから、今後も引き続き実施していく。</p>
	11	洪水・災害時の人と川とのつながりの構築	関係機関との連携	協議会等との連携内容	進捗あり	<p>①淀川流域治水協議会(琵琶湖分会)を令和元年度から令和3年度までに5回開催した。グリーンインフラの取り組みを拡充するとともに、プロジェクトの進捗状況を「見える化」すること、各構成機関の事業の取り組み状況の確認・情報共有を図っていく。</p> <p>②瀬田川および野洲川の地域安全協議会を令和元年度から令和3年度までに、瀬田川地域安全協議会を4回、野洲川地域安全協議会を3回開催した。沿川市と効果的に有意義な意見交換を行うことで、防災や河川といった複数の部署と横断的な意見交換・情報共有が可能となっている。継続的なフォローアップと取り組み施策の重点化による促進強化により、水防災意識社会を再構築し大規模氾濫に備えていく。</p> <p>③滋賀県域メディア連携協議会を令和3年3月1日に発足し、令和2年度から令和3年度までに2回開催した。行政が発信する水害・土砂災害等のリスク情報が地域の人々の避難行動に結びつくよう、マスメディア等と連携した情報提供・共有方法について議論を行い、今後の方針や関係機関との連携について協議を実施していく。</p> <p>④滋賀県主催の大規模氾濫減災協議会(湖北圏域、湖東圏域、東近江圏域、高島地域)に令和元年度から令和3年度までに14回出席した。県内の各市との意見交換を行うことで、防災や河川といった複数の部署と横断的な意見交換・情報共有が可能となっている。継続的なフォローアップと取り組み施策の促進強化により、水防災意識社会を再構築し大規模氾濫に備えていく。</p>
	12	上下流の連携の構築	上下流交流の促進	水源地域ビジョンに基づく活動内容	該当なし	



瀬田川・野洲川進捗点検結果(令和元年度～令和3年度の点検結果)

淀川水系河川整備計画の進捗点検における点検項目、観点及び指標

分類	No.	点検項目	観点	指標	令和元年度～令和3年度 進捗	点検結果	
環境	13	多様な生態系を有する淀川水系の再生と次世代への継承	琵琶湖・淀川水系の生態系の固有性および多様性の価値に関する保全	イタセンバラを目標種とした淀川中下流域での環境再生の実施内容・個体数〔下流域(湛水区間)、下流域(流水区間)〕	該当なし	①琵琶湖の水質調査に関して、滋賀県の公共用水域・地下水水質測定計画に基づき、滋賀県、水資源機構と連携を図りながら、北湖で10地点、南湖で12地点の水質調査を実施し、調査結果の分析・把握を行い、情報共有を図っている。 ②滋賀県、関係市、NPO法人、学識者、漁協等で構成される「琵琶湖外来水生植物対策協議会」にオブザーバーとして令和元年度～令和3年度において6回参加し情報共有、意見交換を行った。	
	14			ナカセコカワニナの生息・繁殖環境として望ましい河川環境の再生方策の検討内容〔中流域宇治川〕	該当なし		
	15			オオサンショウウオの生息・繁殖に適した河川環境の再生・創出方策の検討内容〔上流域(盆地～源流部)木津川〕	該当なし		
	16			アユモドキの生息環境として望ましい河川環境の再生方策の検討内容・確認箇所数〔中流域宇治川〕	該当なし		
	17		生態系・生物群集多様性の維持・回復に向けた取組	関係機関が連携した取り組み内容	進捗あり		
	18		外来種対策の実施	外来種の現状把握と対策内容	進捗あり		オオバナミズキンバイについて、瀬田川では繁殖の拡大が著しいため、関係機関やNPO団体等との協働による駆除活動に取り組んでいる。 ①学生ボランティア団体との協働により、令和元年度には4t、令和2年度には4tの外来水生植物の駆除を実施した。令和3年度は、コロナウィルス感染防止のため中止となった。外来水生植物の繁殖拡大防止に寄与していることから、今後も引き続き実施していく。 ②滋賀県、大津市、NPO団体、漁業協同組合等と連携を図り、駆除、葉刈りを令和元年度は7回、令和2年度は6回、令和3年度は3回実施した。外来水生植物の繁殖拡大防止に寄与していることから、今後も引き続き実施していく。
	19		良好な景観の保全・創出の取り組み	瀬田川の水辺のあり方に関する取り組み内容〔上流域(山間部)宇治川～瀬田川、上流域(湛水区間)瀬田川(野洲川含む)〕	進捗あり		瀬田川の河道内樹木について、令和元年度には河岸の倒木群、令和3年度には唐橋周辺の樹木を伐採し、損ねていた景観の回復を図っている。
	20			河川景観を損ねている不法工作物等の計画的な正やゴミの不法投棄の防止内容・対策箇所数	進捗あり		不法投棄警告看板をこれまでに66箇所設置している。不法投棄ゴミについては、令和元年度44.8m3、令和2年度33.0m3、令和3年度9.2m3のゴミを回収処理した。
	21			ダム貯水池の斜面裸地対策、ダム周辺における構造物等の景観対策の実施内容・対策箇所数〔上流域(山間部)宇治川～瀬田川〕	該当なし		
	22		河川の連続性の確保	河岸-陸域の連続性の確保	フンドやたまりの保全・再生内容・整備箇所数〔下流域(湛水区間)〕		該当なし
	23	ヨシ原の保全・再生内容・面積〔下流域(感潮区間)、下流域(流水区間)、中流域宇治川〕		進捗あり			
	24	内湾-汽水域-河川、琵琶湖-内湖・流入河川の連続性の確保		既設の堰・落差工の改良内容	進捗なし		
	25	川本来のダイナミズムの再生	水位変動リズム回復のための流況・位況(流量・水位の変動様式)の改善	淀川大堰による水位操作の改善内容〔下流域(湛水区間)〕	該当なし	洪水期前において、降雨による水位上昇後に急激な水位低下を抑制する瀬田川洗堰の環境に配慮した試行操作を継続して実施している。 琵琶湖の水位低下を抑制するため、琵琶湖からの下流水補給において、瀬田川洗堰の放流量を1m3/s単位で調節するきめ細やかな操作を継続して実施している。	
	26			瀬田川洗堰による水位操作の改善内容〔上流域(湛水区間)瀬田川(野洲川含む)〕	進捗あり		
	27			琵琶湖における水位低下緩和方策の検討内容〔上流域(湛水区間)瀬田川(野洲川含む)〕	進捗あり		
	28			既設ダムにおける弾力的運用等の検討内容・魚類確認数〔上流域(山間部)木津川、上流域(山間部)名張川・宇陀川・青蓮寺川・猪名川〕	該当なし		
	29			河川環境上必要な流量を確保するための流況・位況(流量・水位の変動様式)の改善	流水の正常な機能を維持するため必要な流量の確保内容・正常流量確保日数		該当なし
	30	流域の視点に立った水循環・物質循環系の構築	流域視点による水質対策の実現や流域的な現状把握状況	水質総量規制の実施体制の検討、新たな水質浄化の取り組み内容	進捗あり	琵琶湖、瀬田川の23地点において、月1回の頻度で水質調査を実施し、調査結果等を滋賀県、水資源機構と情報共有を図っている。また、令和2年度には琵琶湖の水質調査範囲の変更等、新たな調査体制の検討を滋賀県、水資源機構と連携して行った。	
	31			南湖の再生プロジェクト取り組み内容〔上流域(湛水区間)瀬田川(野洲川含む)〕	進捗あり	①琵琶湖の水質調査に関して、滋賀県の公共用水域・地下水水質測定計画に基づき、滋賀県、水資源機構と連携を図りながら、北湖で10地点、南湖で12地点の水質調査を実施し、調査結果の分析・把握を行い、情報共有を図っている。 ②滋賀県、関係市、NPO法人、学識者、漁協等で構成される「琵琶湖外来水生植物対策協議会」にオブザーバーとして令和元年度～令和3年度において6回参加し情報共有、意見交換を行った。	
	32			琵琶湖の水質保全対策の取り組み内容・効果〔上流域(湛水区間)瀬田川(野洲川含む)〕	進捗あり	琵琶湖の水質調査に関して、滋賀県の公共用水域・地下水水質測定計画に基づき、滋賀県、水資源機構と連携を図りながら、北湖で10地点、南湖で12地点の水質調査を実施し、調査結果の分析・把握を行い、情報共有を図っている。	
	33			水質負荷と環境影響についての流域的な現状把握	河川の水質保全対策の取り組み内容	進捗あり	河川における水質調査を瀬田川、野洲川で各1地点継続して実施し、水質監視を行っている。また、淀川水質汚濁防止連絡協議会の関係機関と情報共有を図り、令和元年度11件、令和2年度2件、令和3年度7件の水質事故に対応した。
	34			ダム貯水池の水質保全対策の取り組み内容・対策実施数	該当なし		
	35			流域の土砂生産・移動・堆積の実態把握	河床変動等の土砂動態のモニタリング、総合土砂管理方策の検討内容(既存ダム、ダム下流)	該当なし	
	36	土砂を下流へ流すことができる砂防えん堤の設置内容・設置数(砂防施設)	完了				

瀬田川・野洲川進捗点検結果(令和元年度～令和3年度の点検結果)

淀川水系河川整備計画の進捗点検における点検項目、観点及び指標

分類	No.	点検項目	観点	指標	令和元年度～令和3年度 進捗	点検結果
	37		モニタリングの実施	河川環境のモニタリングの実施内容	進捗あり	①天ヶ瀬ダム再開発事業に伴い直接改変部及び下流河川において影響を受けると予測される生物及び生物の生息場所について、天ヶ瀬ダム再開発事業生物環境ワーキンググループの開催により、学識経験者の指導・助言を得ながらモニタリング調査(工事中・供用前)を実施している。 ②野洲川河口部では、横断方向の連続性やヨシ帯を回復し、かつての自然環境を取り戻す自然再生事業を実施している。事業による河川環境の変化を把握するため、ヨシ帯の再生状況や再生したヨシ帯へのコイ科魚類等の産卵状況のモニタリング調査を継続して実施している。また、河川レンジャーのコーディネートのもと、地元中学生等ともモニタリング調査を実施するなど学習フィールドとして活用されている。 ③野洲川上流部において水制工を設置し、滞筋を蛇行させ瀬・淵を再生し、礫河原の復元を図り、アユ等の生息環境やカワラハハコ等在来植物の生育環境の創出に向けた自然再生事業を進めている。段階的な施工を進めており、学識者の助言も得ながら、河床の変動予測と現地でのモニタリング結果を踏まえ、水制工の配置や形状を適宜、見直しながら順応的に進めている。
	38		生物の生息・生育・繁殖環境に配慮した工事の施工	生物の生息・生育・繁殖環境に配慮した工事の実施内容・箇所	進捗あり	①野洲川の河道内樹木伐採にあたり、事前に専門家(湖北野鳥センター)と合同で現地確認を行い、鳥類や底生動物等への影響をできるだけ抑えられるように配慮すべき事項について助言を頂いたうえで、樹木伐採工事を実施した。 ②野洲川上流部において水制工を設置し、滞筋を蛇行させ瀬・淵を再生し、礫河原の復元を図り、アユ等の生息環境やカワラハハコ等在来植物の生育環境の創出に向けた自然再生事業を進めている。段階的な施工を進めており、学識者の助言も得ながら、河床の変動予測と現地でのモニタリング結果を踏まえ、水制工の配置や形状を適宜、見直しながら順応的に進めている。
	39	流域管理に向けた継続的な施策展開	関係機関との連携による河川環境や景観の保全・再生	関係機関との連携による河川環境や景観の保全・再生の実施内容	進捗あり	①学生ボランティア団体との協働により、令和元年度には4t、令和2年度には4tの外来水生植物の駆除を実施した。令和3年度は、コロナウイルス感染防止のため中止となった。外来水生植物の繁殖拡大防止に寄与していることから、今後も引き続き実施していく。 ②滋賀県、大津市、NPO団体、漁業協同組合等と連携を図り、外来水生植物駆除、藻刈りを令和元年度は7回、令和2年度は6回、令和3年度は3回実施した。外来水生植物の繁殖拡大防止に寄与していることから、今後も引き続き実施していく。 ③琵琶湖の水質調査に関して、滋賀県の公共用水域・地下水水質測定計画に基づき、滋賀県、水資源機構と連携を図りながら、北湖で10地点、南湖で12地点の水質調査を実施し、調査結果の分析・把握を行い、情報共有を図っている。 ④淀川水質汚濁防止連絡協議会の関係機関と情報共有を図り、令和元年度11件、令和2年度2件、令和3年度7件の水質事故に対応した。
	40		河川管理者以外の者が管理する施設に対する働きかけ	河川管理者以外の者が管理する施設に対する働きかけの実施内容	進捗あり	令和2年度は、「野洲川中洲親水公園(守山市)、野洲川立入河川公園(守山市)、野洲川河川公園(野洲市)、野洲川運動公園(栗東市)」の4件について、令和3年度は、「野洲川川田河川公園(守山市)」について、河川保全利用委員会が審議した。令和元年度、野洲川立入河川公園(守山市)において、ミニ四駆広場を廃止し、舗装を撤去後、川砂充てんを行い自然化が図られた。
	41		河川環境の保全と再生のための人材育成	河川環境の保全と再生のための人材育成の実施内容	進捗あり	令和元年度に学識経験者を1回招き、特定外来種オオバナミズキンバイに係る今後の繁殖可能性や効果的な駆除方法について講義を受けた。外来水生植物への理解促進に寄与することから、今後も引き続き実施していく。
	42		流域管理に向けた環境情報に関する調査研究の実施	流域管理に向けた環境情報に関する調査研究の推進の実施内容	進捗あり	琵琶湖の水質調査に関して、滋賀県の公共用水域・地下水水質測定計画に基づき、滋賀県、水資源機構と連携を図りながら、北湖で10地点、南湖で12地点の水質調査を実施し、調査結果の分析・把握を行い、情報共有を図っている。

瀬田川・野洲川進捗点検結果(令和元年度～令和3年度の点検結果)

淀川水系河川整備計画の進捗点検における点検項目、観点及び指標

分類	No.	点検項目	観点	指標	令和元年度～令和3年度 進捗	点検結果
治水・防災	43	危機管理体制の構築	破堤氾濫に備えた被害の軽減対策、避難体制の確立	防災意識の啓発内容	進捗あり	①地域安全協議会では、令和元年度から防災教育の促進に向けて協議会とモデル校が連携し、防災教育に関する指導計画(案)等の作成を支援した。作成した指導計画(案)等は、協議会に関連する全ての市と共有し、防災意識の啓発を図り防災力の向上に取り組んでいく。 ②令和2年度及び令和3年度に、地域の方々との交流イベント(水辺の匠)の中で、マイ・タイムラインの作成体験コーナー(逃げキット)を設け、子供たちに作成体験をして貰った。また、滋賀県の作成した「しが・マイタイムライン」と連携し(R3年度に小学校9校で実施)、地域に根ざしたマイ・タイムラインの普及を促進していく。
	44			自治体、水防団、マスメディア等との情報共有化のための情報伝達体制	進捗あり	①流域住民の洪水被害等の予防、迅速な避難等に役立てると共に、広く住民に対して災害関連の情報が提供され、自主的な避難行動及び災害に対する意識向上に資することを目的とし、ZTVと琵琶湖河川事務所管内河川カメラ映像情報の提供並びに放送等に関する協定書を令和4年3月23日に締結した。これにより、災害時の避難行動に寄与する。 ②沿川自治体との防災・災害時におけるホットラインを構築しており、有事の際に確実な情報伝達、共有が図れるよう、毎年出水期前に洪水対応演習を行い、ホットラインによる情報伝達訓練を実施している。
	45			ハザードマップの作成内容・フォローアップ	進捗あり	令和元年度から令和3年度までに、瀬田川地域安全協議会を4回、野洲川地域安全協議会を3回開催し、沿川市のハザードマップのフォローアップを実施した。沿川市の取り組みの見える化と継続的なフォローアップを実施し、水防災意識社会を再構築し大規模氾濫に備えていく。
	46			災害対応プログラムの作成内容	進捗あり	瀬田川及び野洲川の沿川市と、令和3年度までに避難情報着目型タイムラインを作成、有事に備えたタイムラインの共有を図った。これにより、各市の避難指示の発令タイミングや手順の理解を促進する。
	47			地下空間の浸水被害への対応状況	該当なし	
	48			水防活動、水防訓練への支援内容及び水防技術の継承	進捗あり	①毎年、地域安全協議会において河川管理者から提供する情報とそれを受けた自治体の対応等について、首長と議論するだけでなく、洪水に対してリスクが高い区間について、各市の担当者と堤防の共同点検や水防資機材の確認などを実施している。 ②令和2年度に瀬田川・野洲川水防連絡会に加盟している団体、自治体の水防担当職員21名に対し、排水ポンプ車や照明車を利用した操作説明を実施した。参加者からは「排水ポンプ車の大きさ、排水方法がわかり支援要請時に伝えるべき現地情報の重要性を理解した。」などの意見があり、防災活動の支援向上に寄与していることから、今後も継続して取り組んでいく。
	49			水防拠点整備の内容・箇所数	進捗あり	R2年度にブロック(4t)240個を製作し、非常用資材として備蓄するとともに、既存の非常用資材の再配置を行い、災害復旧工事等に機動的に着手できるよう整備を実施。 また、河川防災ステーションの整備に向け、関係自治体との調整を継続中。
	50			公共施設の耐水化等の支援内容	進捗あり	①令和2年度の第3回 瀬田川地域安全協議会において、想定最大規模の外力を対象とした氾濫シミュレーションを共有した。 ②令和3年度の第4回 野洲川地域安全協議会において、「野洲川洪水浸水想定区図詳細版(想定最大規模)」を共有した。
	51			水害に強い地域づくりに向けた取組内容	進捗あり	①毎年、地域安全協議会において河川管理者から提供する情報とそれを受けた自治体の対応等について、首長と議論するだけでなく、洪水に対してリスクが高い区間について、各市の担当者と堤防の共同点検や水防資機材の確認などを実施している。 ②野洲川では、令和2年度に流域住民により河川水位を容易に確認したい要望があり、住民が身近に利用する公園付近の堤防階段に簡易的な塗装を実施した。公開河川カメラで視認ができ、流域住民の自主的避難に寄与していることから、今後も継続して取り組んでいく。
	52			河川に集中させてきた洪水エネルギーの抑制/分散対策の実施	流域全体の総合的な治水の取組内容	進捗あり

瀬田川・野洲川進捗点検結果(令和元年度～令和3年度の点検結果)

淀川水系河川整備計画の進捗点検における点検項目、観点及び指標

分類	No.	点検項目	観点	指標	令和元年度～令和3年度 進捗	点検結果
	53	堤防強化の実施	堤防の強化対策の実施	HWL以下、浸透、侵食対策実施内容・延長	進捗あり	①瀬田川では、整備計画対策必要延長1.6kmの整備が完了し、洪水に対する堤防の安全性が向上。引き続き、琵琶湖計画高水位B.S.L.+1.4m時の琵琶湖後期放流に対応する堤防強化対策の検討を進め、対策が必要となる区間について、堤防強化を実施し、洪水に対する堤防の安全性の向上を図っていく。 ②野洲川では、整備計画対策必要延長5.7kmの整備が完了し、洪水に対する堤防の安全性が向上。引き続き、堤防強化実施済箇所における被災や新たな知見を踏まえ、必要な調査や点検を実施し、対策が必要となる区間について、堤防強化を実施し、洪水に対する堤防の安全性の向上を図っていく。
	54			堤防天端以下、侵食対策実施内容・延長	該当なし	
	55			堤防天端舗装実施内容・延長	完了	
	56	川の中で洪水を安全に流下させるための対策	上下流バランスの確保	上下流バランスにおける調整内容	進捗あり	宇治川は、計画高水流量1,500m <sup>3</sup> /sに対応した河道整備済みであり、瀬田川も、琵琶湖の後期放流に対応した1500m <sup>3</sup> /sの河道掘削がR3年度で完了した。鹿跳渓谷については、景観、自然環境の保全や親水性の確保などに配慮した河川整備を実施するため、有識者で構成する「瀬田川整備検討委員会(R3.3.28)」を設置した。今後、頂いた意見を参考に検討を進めていく。 天ヶ瀬ダム再開発事業により、トンネル式放流設備建設工事等を実施。トンネル式放流設備は令和3年度中に概成し、令和4年度洪水期より運用を開始している。
	57		河道流下能力の増大、洪水調節の効果的な実施による洪水位の低減	整備による効果	進捗あり	
	58	高規格堤防(スーパー堤防)の整備	ハードによる超過洪水対策の実施	高規格堤防の整備内容・延長	該当なし	
	59	土砂対策	土砂移動の制御の実施	土砂移動抑制策(砂防堰堤、山腹工)の実施内容・箇所数	完了	
	60	既設ダム等の運用検討	洪水調節の効果的な実施による洪水位の低減状況	既存ダムの効果内容・洪水位低下量	該当なし	
	61	高潮対策	高潮被害軽減策の実施	橋梁の嵩上げ内容・箇所数	該当なし	
	62			陸閘の確実な操作のための取組	該当なし	
	63	地震・津波対策	地震対策事業の実施	河川管理施設の耐震対策実施内容・箇所数	進捗あり	令和2年度に瀬田川洗堰(本堰)の耐震工事をを行い、レベル2地震動に対する耐震対策が完了した。また、令和3年度に瀬田川洗堰(バイパス水路)のレベル2地震動に対する耐震性能照査を実施した。
	64			緊急用河川敷道路の整備内容・延長	該当なし	
	65			津波ハザードマップ作成支援内容・作成市町村数	該当なし	
	66		津波対策事業の実施	津波情報提供設備の設置内容・設置数	該当なし	
	67			陸閘の確実な操作のための取組	該当なし	

瀬田川・野洲川進捗点検結果(令和元年度～令和3年度の点検結果)

淀川水系河川整備計画の進捗点検における点検項目、観点及び指標

分類	No.	点検項目	観点	指標	令和元年度～令和3年度 進捗	点検結果
利水	68	環境に配慮した効率的な水利用の促進	慣行水利権の許可水利権化の実施	水利権の見直し、転用、慣行水利権の許可化の実施状況	進捗あり	水利権の許可更新時に取水量の減量や用途廃止等の水利権の見直しを行っている。また慣行水利権の許可水利権化については、法定化に向けた働きかけを行っており、平成30年度から令和3年度の間に水利権許可の実績は2件あり。
	69		効率的な水利用の促進	効率的な水利用のための取り組み	進捗あり	ダムの貯水率をホームページで公表、各種イベントでのパネル展示などにより、節水への意識向上を図っている。
	70		安定した水利用が出来ていない地域の対策	新規水源の確保内容	進捗あり	川上ダム建設事業、天ヶ瀬ダム再開発事業を実施中。
	71	渇水への備えの強化	渇水調整の円滑化への取り組み	渇水対策会議の機能拡大、会議構成員拡大及び常設化(利水者会議)の実現に向けた内容	進捗あり	H30年度に気候変動が淀川水系の渇水リスクに及ぼす影響についての検討を行った。 令和元年度は気象変動に関する研究動向や水資源分野への影響について情報共有・意見交換を実施した。 令和3年度に淀川水系渇水対応タイムラインの試行運用を開始し、渇水への対策とその時期について行動計画を作成した。
利用	72	水域の秩序ある河川利用に向けての誘導または規制の取組(水面利用)	舟運の取り組み内容		該当なし	
	73		秩序ある河川利用に向けての取組内容・誘導、規制数		該当なし	
	74	川の安全利用施策の実施	安全利用点検の実施内容、水難事故防止に向けた取り組みの実施回数	進捗あり	安全利用点検結果をもとに11箇所の補修を実施した。 立入禁止区域としている野洲川落差工については、沿川の幼稚園・小学校等に水難事故啓発チラシを配布するとともに、夏季の特別巡視を行い、水難事故の発生防止に努めている。令和元年度～令和3年度にかけて水難事故は発生していない。	
	75	川らしい利用の促進	「川に活かされた利用」の実施	河川でしか出来ない利用(環境教育等)の実施内容	進捗あり	①野洲川において、地元住民、自治体や企業等を対象として、河川清掃やEポートによる中洲探検等の親水イベントを通じた環境・防災学習を実施しており、令和元年度は340名、令和2年度は170名、令和3年度は520名の方に参加いただいた。環境・防災意識の向上に寄与していることから、今後も引き続き実施していく。 ②瀬田川及び野洲川で毎年、小中学生を対象とした水生生物調査を実施している。令和元年度は33名の参加により、水質バクテスタや透視度調査の体験を通じて環境学習を行った(令和2年度、令和3年度はコロナ禍のため未実施)。参加者より「自然環境保全への関心が高まった」と意見を得られ、環境保全意識の向上に寄与していることから、今後も引き続き実施していく。
	76	陸域・水陸移行帯の秩序ある河川利用に向けての誘導または規制の取組(川らしい河川敷利用)	河川保全利用に関する取り組み内容	進捗あり	令和2年度は、「野洲川中洲親水公園(守山市)、野洲川立入河川公園(守山市)、野洲川河川公園(野洲市)、野洲川運動公園(栗東市)」の4件について、令和3年度は、「野洲川川田河川公園(守山市)」について、河川保全利用委員会で審議した。令和元年度、野洲川立入河川公園(守山市)において、ミニ四駆広場を廃止し、舗装を撤去後、川砂充てんを行い自然化が図られた。	
	77		違法行為の是正内容	該当なし		
	78	憩い、安らげる河川の整備	水辺の整備内容	完了	平成29年度に野洲川中洲地区かわまちづくり事業が完了。	
	79		小径(散策路)の利便性向上の取組内容	進捗あり	野洲川高水敷の管理用通路や進入用の坂路において、路面の劣化、損傷が激しい箇所について、令和3年度に補修を実施した。	
	80		迷惑行為の是正内容・対策箇所数	該当なし		
	81		ホームレス対応内容・確認数	該当なし		
82	まちづくり・地域づくりとの連携	歴史文化と調和した河川整備内容	該当なし			
83		水辺を活かしたまちづくりの利便性向上の取組内容	該当なし			
維持管理	84	堤防等の河川管理施設の機能を維持するための適切な維持管理の実施	ダムの健康診断内容・補修箇所数、堤防等河川管理施設の巡視・点検及び補修の実施内容	進捗あり	野洲川の4.8k付近に小動物による穴から法崩れに進展した箇所については、令和元年度に補修済み。 その他、出水期前に堤防等河川管理施設及び河道の点検・評価要領に基づいた点検・評価を毎年行い、令和3年度の点検結果では、予防保全段階として4箇所、措置段階が0箇所との点検となった。順次対応を行っていく予定。	
	86		ダム機能の維持内容・堆砂量	該当なし		
	87	維持管理	許可工作物の点検整備及び対策についての施設管理者への指導	点検、修繕内容・実施数	進捗あり	「許可工作物に係る施設維持管理技術ガイドライン」に基づく点検様式での点検結果の報告を設置者に依頼した。設置者自らが、毎年出水期前に点検を実施。要補修箇所が無いことを確認。令和3年度の点検結果は、175箇所の施設を点検し、要補修箇所は0箇所だった。
	88		河道内樹木の伐採の実施状況	進捗あり	野洲川において令和元年度～令和3年度にかけて、404.2千㎡伐採した。これによって、流下能力が向上した。また、対岸までの見通しが確保でき、河道内の状況を把握できるようになった。	
	89		河川区域等の管理	堆積土砂の除去の実施内容	進捗あり	放水路事業により確保した流下能力を維持するため、令和3年度に、野洲川服部地区において、河道内堆積土砂の除去を実施した(約2.6万m3)。順次、必要な区間の堆積土砂を撤去していくとともに、堆積状況等のモニタリングを継続していく。
	90		ゴミの不法投棄の状況及び処分の実施内容	進捗あり	警告看板設置やホームページへの掲載により、不法投棄の啓発活動を行っており、今後も引き続き、ゴミの不法投棄対策を進めていく。不法投棄ゴミについては、令和元年度44.8m3、令和2年度33.0m3、令和3年度9.2m3のゴミを回収処理した。	

桂川進捗点検結果(令和2年度～令和3年度の点検結果)

淀川水系河川整備計画の進捗点検における点検項目、観点及び指標

分類	No.	点検項目	観点	指標	令和2年度～令和3年度 進捗	点検結果
人と川とのつながり	1	日常からの川と人のつながりの構築	「住民参加推進プログラム」の作成・実践	住民参加推進プログラムの活動内容	進捗あり	地域住民、学生団体と連携し、桂川の貴重種の保全活動、外来種防除などの活動を定期的を実施した。活動回数33回、663名が参加した。
	2		住民・住民団体(NPO等)との連携	住民・住民団体(NPO等)との連携内容	進捗あり	過年度に地域の自主防災会と作成したマイ防災マップについて、自治会と共に更新のための調査活動や、隣接エリアの記載拡充に取り組んだ。自治体との連携により、あらたに作成したマイ防災マップの全戸配付を行った。自治会からは、「河川レンジャーのおかげで避難訓練のメニューが増え、地域の防災活動が充実してきた」「自治会未加入世帯への働きかけ方法の検討などに今後も協力してほしい」などの意見をいただいた。
	3		河川レンジャーの充実	河川レンジャー在籍人数(治水・環境・防災などの拡大)と、住民・住民団体(NPO等)との交流内容	進捗あり	淀川河川事務所管内では各出張所管内毎に河川レンジャーを配置し、沿川全域で活動を行っており、令和2年度から令和3年度で160回(桂川では33回)、住民等と交流を行った。自主防災会指導研修(R3.12)では、「お住いの地域で防災学習会「マイタイムラインの作り方」を開いてみたいと思いますか?」の質問に「とても思う」40%、「思う」16%の回答があった。受講者からは「今回のタイムラインの授業は子供から大人に活用できると感じました。この内容で活動を継続してほしいです。」「時間的な調整が必要だと思いますが、学習会を開催するときには、必ずサポートしてもらいたい。」との感想があった。
	4		子ども達の関わり方の促進	環境教育等の実施内容	進捗なし	近年、小学校等と連携した出前講座を継続的に実施しているが、コロナ禍によって学校側がゲストティーチャーの活用を停止したため、実施の機会がなかった。
	5		情報発信の充実	HP、携帯サイトの情報発信内容、新しいコンテンツの取り組み	進捗あり	河川に係わる身近な情報(工事情報や河川のライブ映像、河川公園で行われるイベントなど)をホームページやSNS(Youtube、Facebook、Twitter)で、継続的に情報発信している。
	6		住民に関心をもってもらうための取り組み	住民に河川行政への関心をもってもらうための具体的な取り組み、住民、住民団体との交流内容	進捗あり	地域・学校を対象としたマイ・タイムライン活動の実施に向け、地域の自主防災会リーダーに対してハザードマップの読み方や避難フローの考え方などを学ぶ防災研修を実施した。
	7		小径(散策路)、「歴史文化の薫る散歩道(仮称)」の整備	小径(散策路)の整備内容・延長	進捗なし	
	8		憩い、安らげる河川の整備	河川を安心して利用できる整備内容・箇所数	進捗あり	令和3年度末時点で淀川河川公園内の移動式トイレは86箇所あり、更新等にあわせて車椅子利用に対応したトイレを適宜整備している。
	9		三川合流部の整備	三川合流部交流拠点の整備内容	完了	平成28年度に三川合流部の交流拠点となる「さくらであい館」を背割堤地区に整備した。
	10	洪水・災害時の人と川とのつながりの構築	破堤氾濫に備えた分かりやすい情報発信	まるごとまちごとハザードマップ設置箇所・設置数、浸水想定区域、浸水シミュレーション等の防災情報の情報発信	進捗あり	沿川市町の京都市において、令和2年度に32枚、令和3年度に30枚を追加設置。長岡京市において、令和3年度に1枚を追加設置。それにより、京都府域で合計323枚を設置した。
	11		関係機関との連携	協議会等との連携内容	進捗あり	毎年度定期的に協議会(水害に強い地域づくり協議会)を開催することにより、関係自治体との連携を強化している。なお、令和3年度は首長会議1回、行政WG2回、ブロック別会議3回、鉄道WGを1回開催し、関係機関との連携を図った。
	12	上下流の連携の構築	上下流交流の促進	水源地域ビジョンに基づく活動内容	進捗あり	コロナ渦のため恒例の多くのイベントが中止となった。「天若湖アートプロジェクト」(ダム湖内にあった村を水面に浮かべた灯りで再現する活動)については、令和2年10月24日にオンライン会議が開催され、令和3年11月7日に技術伝承のため湖面に灯りを浮かべる作業が行われた。

桂川進捗点検結果(令和2年度～令和3年度の点検結果)

淀川水系河川整備計画の進捗点検における点検項目、観点及び指標

分類	No.	点検項目	観点	指標	令和2年度～令和3年度 進捗	点検結果	
環 境	13	琵琶湖・淀川水系の生態系の固有性および多様性の価値に関する保全		イタセンバラを目標種とした淀川中下流域での環境再生の実施内容・個体数〔下流域(湛水区間)、下流域(流水区間)〕	該当なし		
	14			ナカセコカワニナの生息・繁殖環境として望ましい河川環境の再生方策の検討内容〔中流域宇治川〕	該当なし		
	15			オオサンショウウオの生息・繁殖に適した河川環境の再生・創出方策の検討内容〔上流域(盆地～源流部)木津川〕	該当なし		
	16			アユモドキの生息環境として望ましい河川環境の再生方策の検討内容・確認箇所数〔中流域宇治川〕	該当なし		
	17	多様な生態系を有する淀川水系の再生と次世代への継承	生態系・生物群集多様性の維持・回復に向けた取組	関係機関が連携した取り組み内容	進捗あり	R2年度、R3年度に外来水草の調査を実施。天王山大橋付近に特定外来生物であるナガエツルノゲイトウ、オオバナミズキンバイ、オオフサモが確認されたため、維持管理作業、河川レンジャーとの連携により駆除作業を行った。	
	18		外来種対策の実施	外来種の現状把握と対策内容	進捗あり	「河川水辺の国勢調査」等による侵略的外来種の実態調査を継続実施しており、また関係機関や住民・住民団体と連携した駆除等の対策は、逐次調整を図りつつ取り組んでいるところ。これらの成果をふまえ、今後の啓発活動や自治体との調整・協議にむけた取組みを展開していく。	
	19			瀬田川の水辺のあり方に関する取り組み内容〔上流域(山間部)宇治川～瀬田川、上流域(湛水区間)瀬田川(野洲川含む)〕	該当なし		
	20		良好な景観の保全・創出の取り組み	河川景観を損ねている不法工作物等の計画的な正やゴミの不法投棄の防止内容・対策箇所数	進捗あり	桂川においては、不法耕作は、令和元年度と同じ約2.9万㎡で推移している。桂川松尾橋周辺においてはバーベキュー利用者が多く、大量のゴミが放置される事態となっており、この問題の解決に向け、松尾橋周辺環境改善協議会を設立し、チラシの配布や看板設置、巡視によりバーベキューのゴミを持ち帰ってもらうよう注意・啓発活動を実施した。	
	21			ダム貯水池の斜面裸地対策、ダム周辺における構造物等の景観対策の実施内容・対策箇所数〔上流域(山間部)宇治川～瀬田川〕	該当なし		
	22	河川の連続性の確保	河岸-陸域の連続性の確保	ワンドやたまりの保全・再生内容・整備箇所数〔下流域(湛水区間)〕	該当なし		
	23			ヨシ原の保全・再生内容・面積〔下流域(感潮区間)、下流域(流水区間)、中流域宇治川〕	該当なし		
	24			内湾-汽水域-河川、琵琶湖-内湖・流入河川の連続性の確保	既設の堰・落差工の改良内容	進捗あり	アユ等魚類の遡上環境の改善を目的に、R2年度に桂川1号井堰の撤去を行った。撤去したことにより魚類への遡上の支障が無い状態となり、直上流の久我井堰のアユ遡上数が1号井堰撤去後に増加した(R2年度久我井堰における1号井堰撤去前アユ遡上数372個体、R3年度撤去後アユ遡上数676個体)
	25	川本来のダイナミズムの再生		淀川大堰による水位操作の改善内容〔下流域(湛水区間)〕	該当なし		
	26			水位変動リズム回復のための流況・位況(流量・水位の変動様式)の改善	瀬田川洗堰による水位操作の改善内容〔上流域(湛水区間)瀬田川(野洲川含む)〕	該当なし	
	27			琵琶湖における水位低下緩和方策の検討内容〔上流域(湛水区間)瀬田川(野洲川含む)〕	該当なし		
	28			流況の平滑化に対する河川環境の改善	既設ダムにおける弾力的運用等の検討内容・魚類確認数〔上流域(山間部)木津川、上流域(山間部)名張川・宇陀川・青蓮寺川・猪名川〕	該当なし	
	29			河川環境上必要な流量を確保するための流況・位況(流量・水位の変動様式)の改善	流水の正常な機能を維持するため必要な流量の確保内容・正常流量確保日数	該当なし	

桂川進捗点検結果(令和2年度～令和3年度の点検結果)

淀川水系河川整備計画の進捗点検における点検項目、観点及び指標

分類	No.	点検項目	観点	指標	令和2年度～令和3年度 進捗	点検結果
流域の視点に立った水循環・物質循環系の構築	30	流域の視点に立った水循環・物質循環系の構築	流域視点による水質対策の実現や流域的な現状把握状況	水質総量規制の実施体制の検討、新たな水質浄化の取り組み内容	進捗あり	河川事務所内の集中管理センターにて、24時間体制で水域の水質監視を行っている。
	31			南湖の再生プロジェクト取り組み内容〔上流域(湛水区間)瀬田川(野洲川含む)〕	該当なし	
	32		水質負荷と環境影響についての流域的な現状把握	琵琶湖の水質保全対策の取り組み内容・効果〔上流域(湛水区間)瀬田川(野洲川含む)〕	該当なし	H28よりR3年度まで継続的に水質調査(BOD)を実施。R3年度の水質調査結果の平均値は0.5mg/L、水質階級はⅠ級(きれいな水)であった。
	33			河川の水質保全対策の取り組み内容	進捗あり	
	34			ダム貯水池の水質保全対策の取り組み内容・対策実施数	該当なし	
	35		流域の土砂生産・移動・堆積の実態把握	河床変動等の土砂動態のモニタリング、総合土砂管理方策の検討内容(既存ダム、ダム下流)	該当なし	該当なし
	36			土砂を下流へ流すことができる砂防えん堤の設置内容・設置数(砂防施設)	該当なし	
流域管理に向けた継続的な施策展開	37	モニタリングの実施	河川環境のモニタリングの実施内容	進捗あり	3号井堰魚道の改良に伴う遡上等のモニタリングをH22より継続的に行っている。また、他井堰の撤去後の魚類のモニタリングや桂川直轄区間における環境変化を網羅的に把握する調査、定点景観モニタリング等行っている。	
	38	生物の生息・生育・繁殖環境に配慮した工事の施工	生物の生息・生育・繁殖環境に配慮した工事の施工の実施内容・箇所	進捗あり	R2年度に行った桂川1号井堰の撤去時における魚類等への環境配慮については、仮締切り後の水位低下を利用したモット等ネットによる採捕を行い工事区域外に放流した。	
	39	関係機関との連携による河川環境や景観の保全・再生	関係機関との連携による河川環境や景観の保全・再生の実施内容	進捗あり	H24に京都府、京都市や学識経験者と連携のもと「桂川嵐山地区河川整備検討委員会」を設立し景観や利用に配慮した治水対策の検討整備を行っている。左岸溢水対策として検討された可動式止水壁については、地元意見や委員の助言を得ながらR3年3月に設置完了し運用を開始した。	
	40	河川管理者以外の者が管理する施設に対する働きかけ	河川管理者以外の者が管理する施設に対する働きかけの実施内容	進捗あり	桂川の高水敷利用について、公園等を審議対象として河川保全利用委員会を開催。令和3年度は大山崎町桂川河川敷公園(大山崎町)、久世川原公園、桂川緑地公園、桂川緑地離宮前公園及び久我橋東詰公園(京都市)を審議対象とし、河川保全利用委員会を開催。	
	41	河川環境の保全と再生のための人材育成	河川環境の保全と再生のための人材育成の実施内容	進捗あり	「多自然川づくり近畿地方ブロック会議」は、整備局・地方公共団体等の職員及び民間技術者の技術向上・研鑽を目的として毎年開催している。	
	42	流域管理に向けた環境情報に関する調査研究の実施	流域管理に向けた環境情報に関する調査研究の推進の実施内容	進捗あり	平成28年度に環境情報図を更新してから4年が経過し、河川水辺の国勢調査をはじめとする環境情報データの蓄積や淀川保全対象種リストが更新されたことから、令和2年度に新たに環境情報図を更新した。	



桂川進捗点検結果(令和2年度～令和3年度の点検結果)

淀川水系河川整備計画の進捗点検における点検項目、観点及び指標

分類	No.	点検項目	観点	指標	令和2年度～令和3年度 進捗	点検結果
治水・ 防災	43	危機管理体制の構築	破堤氾濫に備えた被害の軽減対策、避難体制の確立	防災意識の啓発内容	進捗あり	河川レンジャーによる小学校等での浸水地歩行・水没ドア体験の出前講座を令和3年度1回実施104人が参加。また、マイ防災マップのエリア拡大し、更新作成する活動を8回延べ84名で行った。
	44			自治体、水防団、マスメディア等との情報共有化のための情報伝達体制	進捗あり	R3年度、WEB会議により風水害対応時に水位予測データ等の共有を実施。
	45			ハザードマップの作成内容・フォローアップ	完了	
	46			マイ防災マップの作成状況	進捗あり	マイ防災マップに関する出前講座を継続的に実施 令和3年度、マイ防災マップ作成オンライン学習動画を作成し事務所HPへ公表した。
	47			地下空間の浸水被害への対応状況	進捗なし	
	48			水防活動、水防訓練への支援内容及び水防技術の継承	進捗あり	大山崎町では、住民を対象に、地域防災の要として「自助」「共助」の重要性を地域に広め、防災活動の活性化に寄与していただく人材を育成することを目的とした、防災伝道師養成講座を開催。
	49			水防拠点整備の内容・箇所数	進捗あり	令和3年度に水管理・国土保全局長より、水防拠点や河川防災ステーション等の防災関連施設整備に関する「河川防災関連施設全体計画」の承認を受けた。今後、全体計画に基づき沿川市町と河川防災ステーション整備に向けて調整を進めて行く。
	50			公共施設の耐水化等の支援内容	進捗なし	
	51			水害に強い地域づくりに向けた取組内容	進捗あり	電柱に想定浸水深長のラッピングをすることで、視覚的に浸水範囲を認識しやすくする、「まるごとまちごとハザードマップ」の実施箇所を増やした。具体的には京都市(宇治川と木津川と重複)で1箇所から63箇所に、長岡京市で7箇所から8箇所に増加した。
	52			河川に集中させてきた洪水エネルギーの抑制/分散対策の実施	流域全体の総合的な治水の取組内容	進捗あり
	53	堤防強化の実施	堤防の強化対策の実施	HWL以下、浸透、侵食対策実施内容・延長	進捗あり	令和2年度～令和3年度の間で2.0kmの侵食対策を実施した。残り2.7kmの侵食対策を引き続き実施する。
	54			堤防天端以下、侵食対策実施内容・延長	進捗なし	
	55			堤防天端舗装実施内容・延長	完了	
	56	川の中で洪水を安全に流下させるための対策	上下流バランスの確保	上下流バランスにおける調整内容	進捗あり	R3年度に可動式止水壁による左岸溢水対策が完成。これにより上流の亀岡市域の整備が進む予定。
	57		河道流下能力の増大、洪水調節の効果的な実施による洪水位の低減	整備による効果	進捗あり	R3年度に可動式止水壁による左岸溢水対策が完成したことでH16年洪水を嵐山地区で溢れずに流すことが可能となった。
	58	高規格堤防(スーパー堤防)の整備	ハードによる超過洪水対策の実施	高規格堤防の整備内容・延長	該当なし	
	59	土砂対策	土砂移動の制御の実施	土砂移動抑制策(砂防堰堤、山腹工)の実施内容・箇所数	該当なし	
	60	既設ダム等の運用検討	洪水調節の効果的な実施による洪水位の低減状況	既存ダムの効果内容・洪水位低下量	進捗あり	日吉ダムでは令和2年度～3年度において、計6回の洪水調節を行った。下流の水位低減効果はいずれも約0.3mであった。令和3年8月の前線による洪水に際して、事前放流実施要領に基づく事前放流を実施し、利水容量に約285万m3の空き容量を確保した。
	61	高潮対策	高潮被害軽減策の実施	橋梁の嵩上げ内容・箇所数	該当なし	
	62			陸閘の確実な操作のための取組	該当なし	
	63	地震・津波対策	地震対策事業の実施	河川管理施設の耐震対策実施内容・箇所数	進捗なし	
	64			緊急用河川敷道路の整備内容・延長	完了	
	65		津波対策事業の実施	津波ハザードマップ作成支援内容・作成市町村数	該当なし	
	66			津波情報提供設備の設置内容・設置数	該当なし	
	67	陸閘の確実な操作のための取組	該当なし			

桂川進捗点検結果(令和2年度～令和3年度の点検結果)

淀川水系河川整備計画の進捗点検における点検項目、観点及び指標

分類	No.	点検項目	観点	指標	令和2年度～令和3年度 進捗	点検結果	
利水	68	環境に配慮した効率的な水利用の促進	慣行水利権の許可水利権化の実施	水利権の見直し、転用、慣行水利権の許可化の実施状況	進捗あり	水利権の許可更新時に取水量の減量や用途廃止等の水利権の見直しを行っている。また慣行水利権の許可水利権化については、法定化に向けた働きかけを行っており、平成30年度から令和3年度の間に水利権許可の実績は2件あり。	
	69		効率的な水利用の促進	効率的な水利用のための取り組み	進捗あり	ダムの貯水率をホームページで公表、各種イベントでのパネル展示などにより、節水への意識向上を図っている。	
	70		安定した水利用が出来ていない地域の対策	新規水源の確保内容	進捗あり	川上ダム建設事業、天ヶ瀬ダム再開発事業を実施中。	
	71	渇水への備えの強化	渇水調整の円滑化への取り組み	渇水対策会議の機能拡大、会議構成員拡大及び常設化(利水者会議)の実現に向けた内容	進捗あり	H30年度に気候変動が淀川水系の渇水リスクに及ぼす影響についての検討を行った。 令和元年度は気象変動に関する研究動向や水資源分野への影響について情報共有・意見交換を実施した。 令和3年度に淀川水系渇水対応タイムラインの試行運用を開始し、渇水への対策とその時期について行動計画を作成した。	
利用	72		水域の秩序ある河川利用に向けての誘導または規制の取組(水面利用)	舟運の取り組み内容	該当なし		
	73			秩序ある河川利用に向けての取組内容・誘導、規制数	該当なし		
		74	川の安全利用施策の実施	安全利用点検の実施内容、水難事故防止に向けた取り組みの実施回数	進捗あり	安全利用点検結果をもとに3箇所を補修を実施した。危険箇所における注意喚起看板の設置や水難事故防止の教育等を行ったこともあり、利用者が増加するゴールデンウィークや夏休み期間において令和2年度～令和3年度にかけて無事故であった。	
		75	川らしい利用の促進	「川に活かされた利用」の実施	河川でしか出来ない利用(環境教育等)の実施内容	進捗あり	小学生を主な対象として、バツタのオリンピック(バツタ採集と同定、跳躍距離を競うプログラム)を令和2～3年度各1回実施。バツタの生息場所となる河川敷の自然環境を説明し、環境保全に向けた啓発を行った。
		76		陸域・水陸移行帯の秩序ある河川利用に向けての誘導または規制の取組(川らしい河川敷利用)	河川保全利用に関する取り組み内容	進捗あり	桂川の高水敷利用について、公園等を審議対象として河川保全利用委員会を開催。 淀・桂川グラウンド及び羽束師運動広場は平成27年度から始まった桂川緊急治水対策事業により占有面積が大幅に減少した。委員からは「市民団体と連携した自然環境に関する情報提供」に評価をいただき、草地の刈り残しによる環境保全を意識した管理について、占有者に指導・助言を行うことができた。
		77			違法行為の是正内容	進捗あり	桂川においては、不法耕作は、令和元年度と同じ約2.9万㎡で推移している。不法工作物に対しては、是正看板設置や現地指導を行い、行為者による撤去が行われた。また不法耕作地については、堤防強化工事の実施に伴い是正を行った。
		78	憩い、安らげる河川の整備	憩い、安らげる河川の整備	水辺の整備内容	該当なし	
		79			小径(散策路)の利便性向上の取組内容	進捗なし	
		80			迷惑行為の是正内容・対策箇所数	進捗あり	桂川松尾橋周辺においてはバーベキュー利用者が多く、大量のゴミが放置される事態となっており、この問題の解決に向け、松尾橋周辺環境改善協議会を設立し、チラシの配布や看板設置、巡視によりバーベキューのゴミを持ち帰ってもらうよう注意・啓発活動を実施したこともあり、ゴミの発生量は減少傾向にある。
		81			ホームレス対応内容・確認数	進捗あり	桂川管内では、2名のホームレスが起居していたが、これまで定期的に巡回を実施したことにより、令和3年度に1名が退去した。
	82	まちづくり・地域づくりとの連携	まちづくりや地域連携の取り組み	歴史文化と調和した河川整備内容	進捗あり	嵐山地区の左岸治水対策として止水壁を設置。景観や眺望への配慮等の観点から、常設ではなく洪水時に起立する可動式の止水壁として、令和元年度から整備工事を実施し、令和2年度に完成。令和3年度から運用を開始。	
	83			水辺を活かしたまちづくりの利便性向上の取組内容	該当なし		
維持管理	84		堤防等の河川管理施設の機能を維持するための適切な維持管理の実施	ダムの健康診断内容・補修箇所数、堤防等河川管理施設の巡視・点検及び補修の実施内容	進捗あり	ダム施設及び貯水池が適切に維持管理され良好な状態に保持されているかを、原則として3年毎に検査するダム定期検査が、令和3年度に日吉ダムで実施され、全体的に問題のないことが確認されている。 堤防等河川管理施設の点検と点検結果の評価、対策工の検討及び優先度評価を実施。 抽出された変状毎の2次評価結果では、R3年度末時点で、予防保全段階52箇所、措置段階0箇所となっている。	
	86			ダム機能の維持内容・堆砂量	進捗あり	日吉ダムは管理開始から24年が経過しており、計画堆砂量8,000千m3のうち、令和3年度末における堆砂量は約2,596千m3であり、堆砂率は約33%となっている。令和2年度～令和3年度、ダム上流部において約8千m3の堆砂除去を実施。	
		87	許可工作物の点検整備及び対策についての施設管理者への指導	点検、修繕内容・実施数	進捗あり	「許可工作物に係る施設維持管理技術ガイドライン」に基づき、令和3年度は橋梁、樋門等許可工作物72施設の点検について、設置者単独、又は河川管理者との合同点検を実施した。うち要監視段階が18施設、予防保全段階が6施設あった。	
		88	河川区域等の管理		河道内樹木の伐採の実施状況	進捗あり	桂川全体で令和2年度～令和3年度にかけて、233.6千㎡伐採した。これによって、対岸までの見通しを確保できたことで河道内の状況を把握できるようになった。
		89			堆積土砂の除去の実施内容	進捗あり	河道内堆積土砂の管理については、定期的及び出水後の河床変動状況を把握するため、縦横断測量等モニタリングを実施。
		90			ゴミの不法投棄の状況及び処分の実施内容	進捗あり	不法投棄を発見した場合には、行為者の特定に努め、行為者への指導監督、撤去等の対応を適切に行う。 ゴミ等の不法投棄は夜間や休日に行われやすいことから、行為者の特定等のため、必要に応じて夜間や休日の河川巡視等を実施する。 広報によりマナーアップや自己啓発を促すとともに、河川レンジャーなどによる河川愛護活動や地域ボランティア活動の支援を行い、地域と一体となった塵芥処理に努める。 淀川河川事務所管内では、令和2年度で約1100m3、令和3年度で約980m3のゴミを処理。

猪名川進捗点検結果(令和2年度～令和3年度の点検結果)

淀川水系河川整備計画の進捗点検における点検項目、観点及び指標

分類	No.	点検項目	観点	指標	令和2年度～令和3年度 進捗	点検結果
人と川とのつながり	1	日常からの人と川とのつながりの構築	「住民参加推進プログラム」の作成・実践	住民参加推進プログラムの活動内容	進捗あり	令和2年度は、東久代運動公園(川西市)の河川敷で実施された外来植物の出前講座では参加者から、「猪名川についてよく知れた、ちょうどいい難易度だった」等の意見があり、川や環境へ興味・関心を持つ機会を設けることができた。令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止となったが、今後も引き続き外来種問題への取組みを実施していく。
	2		住民・住民団体(NPO等)との連携	住民・住民団体(NPO等)との連携内容	進捗あり	猪名川クリーン作戦は、新型コロナウイルス感染症に係る緊急事態宣言発令のため、令和2年度は中止となった。令和3年度は、桑津橋(伊丹市)等16地点で猪名川クリーン作戦が実施され、参加者から、「ゴミの減少の兆しがみられる」や「子供の意識が高まった」等の声が多く寄せられ、参加者の増加に伴う意識の高揚効果が期待できたことから、こういった取組みを継続していく。
	3		河川レンジャーの充実	河川レンジャー在籍人数(治水・環境・防災などの拡大)と、住民・住民団体(NPO等)との交流内容	進捗あり	河川レンジャー主催の「猪名川いーな」で、猪名川の魅力を表現した「写真」と「絵画」を募集し、イオンモール伊丹(伊丹市)等6施設での展示・表彰や出前講座を行い、レンジャー活動を発信している。猪名川では、河川レンジャーの活動を支援する人材を募る「協力員」の制度を設けている。令和3年度現在、河川レンジャーは5人、協力員が2人の体制となっている。今後も引き続き、河川レンジャー活動の定着化に努めるとともに、活動分野の多様化を推進していく。
	4		子ども達の関わりの促進	環境教育等の実施内容	進捗あり	猪名川流域の小・中学校からの要望に応じて、猪名川の自然環境についての出前講座等の環境教育を実施している。令和2年度3回、令和3年度5回実施した。子供たちに川でバックテスト等の体験学習をしてもらうことで、「実験ができて面白かった」や「猪名川についてよく知れた」等好評であった。今後も、これらイベントによる子ども達への環境教育を実施していく。
	5		情報発信の充実	HP、携帯サイトの情報発信内容、新しいコンテンツの取組	進捗あり	猪名川河川事務所ホームページによる配信の他、SNSによるインスタグラム(平成30年度より)、ツイッター(令和元年度より)による配信を行っている。スマートフォンの利用も含め、いつでも、どこでも、誰でも手軽に情報を入力しやすい環境づくり等の取組みを推進していく。
	6		住民に関心をもってもらうための取組み	住民、住民団体との交流内容	進捗あり	令和元年度より、有識者及び住民団体とともに利倉地区(豊中市)及び軍行橋下流(伊丹市)で現地確認を行い、ヒメボタルに配慮した伐採方法をヒアリングしている。令和元年度以降、ヒメボタルへの影響を回避するため、外来植物であるハリエンジュに対して環状剥皮による駆除を実施している。令和2～令和3年度では、有識者へのヒアリング及びモニタリングを行っており、地上部の枯死が確認されても、根茎が生きている可能性があることから、今後もモニタリングを行っていく必要があるとの助言を得ている。
	7		小径(散策路)、「歴史文化の薫る散歩道(仮称)」の整備	小径(散策路)の整備内容・延長	進捗なし	
	8		憩い、安らげる河川の整備	河川を安心して利用できる整備内容・箇所数	該当なし	河川を安心して利用できるように、占有者にて公園施設の計画的な補修等を行っている。令和2～令和3年度は、絹延橋(池田市)付近の堤防から高水敷へアクセスする階段手摺の補修を行ったことで、階段利用時の安全性の向上に寄与している。
	9		三川合流部の整備	三川合流部交流拠点の整備内容	該当なし	
	10	洪水・災害時の人と川とのつながりの構築	破堤氾濫に備えた分かりやすい情報発信	まるごとまちごとハザードマップ設置箇所・設置数	進捗なし	まるごとまちごとハザードマップの設置については、平成28年度に必要箇所の全てにおいて設置が完了している。今後は、関係自治体と連携・調整を図った上で、合意が得られる箇所への設置を進めていくが、現時点では、新たな箇所への設置には至っていない。
	11		関係機関との連携	協議会等との連携内容	進捗あり	「猪名川・藻川の大規模氾濫に関する減災対策協議会」では、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症も踏まえた対応・令和元年度の洪水等を踏まえた協議会における取組内容の充実、令和3年度は、大規模氾濫減災協議会の取組を通じた鉄道事業者等との連携について、参加機関(流域2府県5市を含む10機関)と情報を共有した。また、「猪名川流域総合治水対策協議会」、「猪名川・藻川の大規模氾濫に関する減災対策協議会」の参加機関と連携した取組みを行うことにより、河川管理者間の地域防災力向上に向けた共通認識を深めることができた。今後も引き続き、参加機関との連携を強化し、洪水時等における円滑かつ迅速な避難確保に向けた取組み等を実施していく。
	12	上下流の連携の構築	上下流交流の促進	水源地域ビジョンに基づく活動内容	進捗あり	一庫ダム水源地域ビジョン推進協議会主催の流木ベインティング大会は、ダム湖に流入した流木を有効活用して芸術作品を創作するとともに、会場周辺のゴミを拾って美しい猪名川・知明湖の再生を目指すイベント。(令和2年～令和3年)令和3年8月1日(日)には27名の参加者により知明湖キャンプ場にて開催。(H19年より毎年開催計15回) 一庫ダム内部見学&説明会は、能勢電鉄山下駅から一庫ダムまでのハイキングの後、ダム見学及び説明会を行うイベント。広報誌やHPによる募集を行っている。コロナ禍のため令和3年度は中止。(H18年より計15回開催) 流木ベインティング大会は、廃棄物となる流木を使って芸術作品を作り、利用者からも「きれいな流木はなかなか手に入らないので、普段あまり経験できない体験ができた。」など好評を得ている。今後もダム湖周辺におけるマラソン大会など関係機関と連携し、下流域の住民等とダム施設との関わりを深めるイベントとして実施していく。

猪名川進捗点検結果(令和2年度～令和3年度の点検結果)

淀川水系河川整備計画の進捗点検における点検項目、観点及び指標

分類	No.	点検項目	観点	指標	令和2年度～令和3年度 進捗	点検結果
多様な生態系を有する淀川水系の再生と次世代への継承	13	琵琶湖・淀川水系の生態系の固有性および多様性の価値に関する保全		イタセンバラを目標種とした淀川中下流域での環境再生の実施内容・個体数	該当なし	
	14			ナカセコカワニナの生息・繁殖環境として望ましい河川環境の再生方策の検討内容	該当なし	
	15			オオサンショウウオの生息・繁殖に適した河川環境の再生・創出方策の検討内容	該当なし	
	16			アユモドキの生息環境として望ましい河川環境の再生方策の検討内容・確認箇所	該当なし	
	17		生態系・生物群集多様性の維持・回復に向けた取組	関係機関が連携した取り組み内容	該当なし	
	18		外来種対策の実施	外来種の現状把握と対策内容	進捗あり	河川レンジャーを通して東久代運動公園(川西市)の河川敷、池田市桃園周辺で環境学習会を実施した。環境学習会では、外来植物であるセイタカアワダチソウ、キクイモを対象に駆除活動を行った。猪名川流域の学校から協力依頼がきており、これまでの河川レンジャー活動に興味・関心が向けられ、河川環境に関する学習機会を創出できた。
	19			瀬田川の水辺のあり方に関する取り組み内容	該当なし	
	20		良好な景観の保全・創出の取り組み	ダム貯水池の斜面裸地対策、ダム周辺における構造物等の景観対策の実施内容・対策箇所数	進捗なし	洪水期制限水位より上の範囲における斜面裸地対策については、陸上に露出する7月～11月の間、水位変動によって生じる裸地部分が自然植生により早期に繁茂し、樹林が広く分布することが確認されているため、現時点では、特に斜面裸地対策は行っていない。
	21			河川景観を損ねている不法工作物等の計画的な正やゴミの不法投棄の防止内容・対策箇所数	進捗あり	猪名川の直轄河川管理区間における不法投棄について、令和2年度は35m3、令和3年度は45m3、合計80m3の不法投棄ゴミ等を処分した。今後も引き続き、投棄箇所での警告看板による啓発を実施するとともに、投棄が発生する前の事前の対策について、現場における取組の中で検討していく。
	22	河川の連続性の確保	河岸-陸域の連続性の確保	ワンドやたまりの保全・再生内容・整備箇所	該当なし	礫河原再生実施箇所において、令和3年度までに、北伊丹地区(伊丹市)、桑津橋地区(伊丹市)、猪名川大橋地区(川西市)で累計面積42,900m2の整備を実施し、礫河原再生事業が完了した。 現在も、礫河原及び水陸移行帯を維持するとともに、外来種が抑制され、オギ等の在来種が再生している。
23	干潟・ヨシ原の保全・再生内容・面積			進捗あり		
24	内湾-汽水域-河川、琵琶湖-内湖・流入河川の連続性の確保			既設の堰・落差工の改良内容	完了	
25	川本来のダイナミズムの再生	流況の平滑化に対する河川環境の改善	流況の平滑化に対する河川環境の改善	淀川大堰による水位操作の改善内容	該当なし	一庫ダムでは、一庫ダムから猪名川本川合流点までの5km区間の一部について減水区間が生じ、魚類の生息等に必要な流量が不足する状況がみられたため、平成18年度からダム下流の流況改善を目的として弾力的管理試験を実施している。 ダム下流で環境改善の指標種としているオイカワについて、土砂還元と弾力的管理試験を開始して数年が経過した平成18年度以降、年によって増減はあるものの、個体数は増え、令和3年は、一庫ダム下流の実験区におけるオイカワ個体数は665匹となっている。
26				瀬田川洗堰による水位操作の改善内容	該当なし	
27				琵琶湖における水位低下緩和方策の検討内容	該当なし	
28				既設ダムにおける弾力的運用等の検討内容・魚類確認数	進捗あり	
29		河川環境上必要な流量を確保するための流況・位況(流量・水位の変動様式)の改善	流水の正常な機能を維持するため必要な流量の確保内容・正常流量確保日数	進捗あり	平成24年から令和3年の10年間の小戸地点の流量(令和3年は暫定値)は約83%の日数で正常流量(1.4m3/s)を満たしている。期別の取水計画に基づいて、一庫ダム(水資源機構)より必要な流量を補給している。 過去2年間で見ると、令和2年は63.9%、令和3年は91.8%の日数で正常流量を満たしている。 令和2年から令和3年については、一庫ダムからの補給により、利水及び環境への深刻な影響を回避することができた。	

猪名川進捗点検結果(令和2年度～令和3年度の点検結果)

淀川水系河川整備計画の進捗点検における点検項目、観点及び指標

分類	No.	点検項目	観点	指標	令和2年度～令和3年度 進捗	点検結果		
環境	30	流域視点による水質対策の実現や流域的な現状把握状況	水質総量規制の実施体制の検討、新たな水質浄化の取り組み内容	水質総量規制の実施体制の検討、新たな水質浄化の取り組み内容	進捗なし	毎年開催している「神崎川水質汚濁対策連絡協議会 猪名川分科会」の分科会メンバーである猪名川流域の河川管理者、自治体及び住民・住民団体等が連携し行動することにより、令和3年7月に公表された令和2年近畿地方一級河川の水質現況では、猪名川の水質改善幅が4年連続で全国第1位を記録するなど、猪名川の水質向上に大きく寄与していることから、新たな水質浄化の取り組みまでには至っていない。		
	31				南湖の再生プロジェクト取り組み内容		該当なし	
	32	流域の視点に立った水循環・物質循環系の構築	水質負荷と環境影響についての流域的な現状把握	琵琶湖の水質保全対策の取り組み内容・効果	琵琶湖の水質保全対策の取り組み内容・効果	該当なし		
	33					河川の水質保全対策の取り組み内容	進捗あり	猪名川のBODの年75%値は、令和2年～令和3年の値では、銀橋から猪名川橋までの全6区間で環境基準を満たしている。猪名川流域の人々に河川愛護や水質問題に関心を持ってもらうことを目的に、令和3年には、猪名川の愛護セミナー(年1回、こんにやく橋(川西市)、池田床固下流(川西市)、桑津橋(伊丹市)の3箇所)、令和2年～令和3年には小学校への出前講座等(3～5回/年)を実施した。猪名川愛護セミナーのアンケート結果では、「たくさんの生き物を捕まえて、見て、知ることができた」等の意見が得られ、河川環境への知識の習得機会を設けることができた。今後もこれらのイベントを継続して実施していく。
	34					ダム貯水池の水質保全対策の取り組み内容・対策実施数	進捗あり	一庫ダム(水資源機構)では、選択取水設備、平成23年4月より浅層曝気循環設備4基、平成24年4月より深層曝気設備(浅層曝気併用型)2基を運用するとともに、ダム貯水池水質調査要領に基づき、平成29年度以降も継続して、月1回の頻度で貯水池水質のモニタリング調査を行っている。 一庫ダムでは、浅層曝気循環設備及び深層曝気設備(浅層曝気併用型)の運用後、平成24年以降は景観障害となるような大規模なアオコは発生しておらず、令和2年から令和3年は、貯水池内でアオコの発生はあるものの、ダムサイトや流入端など小規模の発生に留まっている。選択取水設備の運用もあり、下流利水者からカビ臭や濾過障害等の報告もなされていない。
	35					河床変動等の土砂動態のモニタリング、総合土砂管理方策の検討内容(既存ダム、ダム下流)	進捗あり	令和2年度の定期横断測量結果等を反映した土砂動態マップでは分派地点より上流で2.2万m <sup>3</sup> /年の土砂堆積傾向、同じく分派地点より下流で0.2万m <sup>3</sup> /年の堆積傾向となっている。 一庫ダム(水資源機構)では、平成15年度から下流河川環境改善のために洪水期への移行操作期間(例年5月)にフラッシュ放流による土砂還元を実施している。 一庫ダム(水資源機構)において土砂動態の実態把握のためのモニタリングとして、貯水池の堆砂調査を継続して実施。ダム完成後39年の令和3年度時点において、堆砂率は約40%となっている。 猪名川においては、土砂動態マップ作成からの知見を活用し、今後、土砂管理において、効率的な方法を総合土砂管理委員会で議論していく。一庫ダムにおいては、今後の状況によって堆砂除去等適時検討していく。
	36		土砂を下流へ流すことができる砂防えん堤の設置内容・設置数(砂防施設)	該当なし				
	37	モニタリングの実施	河川環境のモニタリングの実施内容	進捗あり	礫河原再生モニタリング調査では、航空写真等を含む定点写真により、礫河原再生施工箇所である北伊丹地区軍行橋(伊丹市)付近の地形変化を把握している。平成21年度及び平成24年度の工事完成後、平成25年度の大規模出水等を受けて自然裸地が拡大した。平成29年度の工事後にも、平成30年7月豪雨や令和2年7月豪雨など、平均年最大流量規模を超える出水を受けたため、現在でも自然裸地が維持されている。			
	38	生物の生息・生育・繁殖環境に配慮した工事の施工	生物の生息・生育・繁殖環境に配慮した工事の施工の実施内容・箇所	進捗あり	ヒメボタルの生息範囲(利倉地区(豊中市)及び軍行橋下流(伊丹市))にハリエンジュ(外来植物)が分布している。ハリエンジュ(外来植物)を駆除するにあたり、ヒメボタルへの影響を回避するために環状剥皮による駆除・モニタリングを令和元年度より行っている。令和2～令和3年度では、有識者へのヒアリング及びモニタリングを行っており、地上部の枯死が確認されても、根茎が生きている可能性があることから、今後もモニタリングを行っていく必要があるとの助言を得ている。			
	39	関係機関との連携による河川環境や景観の保全・再生	関係機関との連携による河川環境や景観の保全・再生の実施内容	進捗あり	関係機関との連携・協働による水質一斉調査等を実施し、猪名川環境交流館前から神崎川までの区間で水質が「良い」と判定された地点の比率は平成30年度以降は85%以上の高い状態を維持しており、流域の広い範囲で良好な水質が保たれていることが確認された。住民・住民団体と連携して活動を行ったことにより、河川環境への関心を流域の住民に広めることができた。今後も引き続き、連携を強化し充実していく。			
40	流域管理に向けた継続的な施策展開	河川管理者以外の者が管理する施設に対する働きかけ	河川管理者以外の者が管理する施設に対する働きかけの実施内容	進捗あり	淀川水系猪名川及び藻川の猪名川河川事務所直轄区間において、周辺環境及び地域特性を考慮しつつつららしい自然環境を保全・再生する観点に立って、公園等の占用施設の新設及び更新許可にあたって意見を述べることを目的として、平成21年度から「猪名川・藻川河川保全利用委員会」による議論を実施している。 河川環境保全について、令和2年度から令和3年度の河川保全利用委員会において、施設管理者に対する意見が提言された。 ・猪名川緑地(池田市)については堤防法面の踏み荒らし箇所は、補修を繰り返すことにならないためにも、利用者の動線を考慮して、既存の階段へ誘導等対策していただきたい。 ・猪名川河川敷公園(尼崎市)、猪名川河川敷緑地(伊丹市)、藻川河川敷公園(尼崎市)の植生管理は、チガヤ群落の部分的な導入により、草原の質を向上させる努力をされたい。			
41	河川環境の保全と再生のための人材育成	河川環境の保全と再生のための人材育成の実施内容	進捗あり	令和3年の猪名川愛護セミナーは、こんにやく橋(川西市)、池田床固下流(川西市)、桑津橋(伊丹市)の3地点で同時開催し、参加者に水生生物調査、人の感覚による水質調査、簡易水質試験(バックテスト)の体験学習を行っている。若手職員も積極的に参加し、河川環境に対する知識の習得機会を創出することができた。				
42	流域管理に向けた環境情報に関する調査研究の実施	流域管理に向けた環境情報に関する調査研究の推進の実施内容	該当なし					

猪名川進捗点検結果(令和2年度～令和3年度の点検結果)

淀川水系河川整備計画の進捗点検における点検項目、観点及び指標

分類	No.	点検項目	観点	指標	令和2年度～令和3年度 進捗	点検結果
治水・防災	43	危機管理体制の構築	破堤氾濫に備えた被害の軽減対策、避難体制の確立	災害体験者からの災害状況の聞き取り及び防災意識の啓発内容	進捗なし	近年では、猪名川の河川整備が進展しているとともに、内水氾濫が起きるような大規模災害は発生していないため、災害体験者からの災害状況の聞き取りはない。
	44			自治体、水防団、マスメディア等との情報共有化のための情報伝達体制	進捗あり	猪名川流域の5市では、猪名川の水位情報をリアルタイムに確認することができるよう、市庁舎内等に光ファイバーを利用したカメラ映像、雨量情報等を確認出来る端末を設置している。令和2年度には園田出張所(尼崎市)等7つのCCTVに無停電電源装置を新設し、停電時にも一定時間カメラ映像の情報提供ができるようにした。令和3年度には猪名川流域の5市において、情報伝達体制を含む地域防災計画の見直しを実施した。
	45			ハザードマップの作成内容・フォローアップ	進捗あり	猪名川・藻川洪水浸水想定区域図(H28.6公表)をもとに、猪名川流域の5市でハザードマップを更新・公表している。令和元年度末時点では、池田市・川西市・尼崎市・伊丹市の4市が公表しており、ハザードマップの作成率は80%となっていたが、令和3年度に豊中市が作成したことにより、100%を達成した。
	46			災害対応プログラムの作成内容(災害時要援護者に配慮した避難勧告・指示の発令基準の明確化及び周知体制整備の内容)	進捗あり	豊中市では、令和3年度にハザードマップを活用したマイ・タイムラインの作成に関する出前講座を庄内公民館(豊中市)で実施し、豊中市民4名が参加した。尼崎市では、令和3年度に公益財団法人 尼崎市文化振興財団の主催によって、あましんアルカイックホール(尼崎市)で開催された「アルカイック避難訓練コンサート」において、『マイタイムライン』と題した講演を行った。マイタイムラインの必要性が浸透してきていることを踏まえ、今後はマイからファミリータイムラインへ移行してもらい講座を実施していく。
	47			地下空間の利用者及び管理者への情報伝達体制整備内容	該当なし	
	48			水防活動、水防訓練への支援内容及び水防技術の継承	進捗あり	「猪名川水防連絡会」では、毎年の出水期前に、円滑な水防活動による水害防止または軽減することを目的として、関連機関とともに現地合同点検及び連絡会議を実施している。令和2年度及び令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けた対策のため、書面開催した。今後も、関連機関と連携・協働し、水防防災意識の向上を図っていく。
	49			水防拠点整備の内容・箇所数	完了	
	50			公共施設の耐水化等の支援内容	進捗なし	
	51			水害に強い地域づくりに向けた取組内容	進捗あり	「猪名川・藻川の大規模氾濫に関する減災対策協議会」では、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症も踏まえた対応・令和元年の洪水等を踏まえた協議会における取組内容の充実、令和3年度は、大規模氾濫減災協議会の取組を通じた鉄道事業者等との連携について、参加機関(流域2府県5市を含む10機関)と情報を共有した。また、「猪名川流域総合治水対策協議会」、「猪名川・藻川の大規模氾濫に関する減災対策協議会」の参加機関と連携した取組を行うことにより、河川管理者間の地域防災力向上に向けた共通認識を深めることができた。今後も引き続き、参加機関との連携を強化し、洪水時等における円滑かつ迅速な避難確保に向けた取組み等を実施していく。
	52			河川に集中させてきた洪水エネルギーの抑制/分散対策の実施	流域全体の総合的な治水の取組内容	進捗あり
53	堤防強化の実施	堤防の強化対策の実施	HWL以下、浸透、侵食対策実施内容・延長	進捗あり	令和2年度から令和3年度では、利倉地区(豊中市)で浸透対策0.5kmを実施したことにより、浸透対策がすべて完了した。また、「水防災意識社会 再構築ビジョン」の取組として抽出した箇所を含む堤防強化対策の進捗状況については、令和2年度で概ね完了しており、今後も引き続き、粘り強い構造の堤防整備等を進めていく。	
54			堤防天端以下、侵食対策実施内容・延長	該当なし		
55			堤防天端舗装実施内容・延長	進捗あり	令和3年度では、東園田地区(尼崎市)で橋梁接続区間の堤防天端舗装0.1kmを実施し、残り0.6kmの未舗装区間については、堤防との橋梁接続に合わせて舗装を実施することにより、堤防天端舗装がすべて完了する見込みである。また、「水防災意識社会 再構築ビジョン」の取組として抽出した箇所を含む堤防強化対策の進捗状況については、令和2年度で概ね完了しており、今後も引き続き、粘り強い構造の堤防整備等を進めていく。	

猪名川進捗点検結果(令和2年度～令和3年度の点検結果)

淀川水系河川整備計画の進捗点検における点検項目、観点及び指標

分類	No.	点検項目	観点	指標	令和2年度～令和3年度 進捗	点検結果
	56	川の中で洪水を安全に流下させるための対策	上下流バランスの確保	上下流バランスにおける調整内容	進捗あり	猪名川では、上下流バランスの観点から、下流神崎川や安威川ダムの事業進捗を踏まえ、上流兵庫県管理区間及び直轄管理区間の整備時期等について、兵庫県・大阪府と調整を図りながら、事業を実施している。
	57		河道流下能力の増大、洪水調節の効果的な実施による洪水位の低減	整備による効果	進捗あり	令和2年度から令和3年度では、猪名川直轄最上流端に位置する出在家地区の河道掘削を実施した。令和3年度における河道掘削の進捗率は98.1%であり、当該地区の河道掘削が完了する令和4年度の出水期までに進捗率が100%に到達し、戦後最大洪水である昭和35年台風16号洪水を安全に流下させる河道整備が完成した。今後は、令和3年8月に変更した河川整備計画に基づき、上下流バランスに配慮しながら、戦後最大洪水である昭和35年台風16号洪水の降雨量を1.1倍とした洪水を安全に流下させる河道掘削等を進めていく。
	58	高規格堤防の整備	ハードによる超過洪水対策の実施	高規格堤防の整備内容・延長	該当なし	
	59	土砂対策	土砂移動の制御の実施	土砂移動抑制策(砂防堰堤、山腹工)の実施内容・箇所数	該当なし	
	60	既設ダム等の有効活用	洪水調節の効果的な実施による洪水位の低減状況	既存ダムの効果内容・洪水位低下量	進捗あり	平成30年7月豪雨において異常洪水時防災操作を行ったことを受け、計画規模を上回る洪水が想定された場合に予め一庫ダムの貯水位を下げておく事前放流を令和元年9月1日から実施している。令和2年度には、令和2年7月前線の影響により、計画規模を上回る洪水が予測されたため、事前放流による洪水調節を行った。
	61	高潮対策	高潮被害軽減策の実施	橋梁の嵩上げ内容・箇所数	該当なし	
	62			陸閘の確実な操作のための取組	該当なし	
	63	地震・津波対策	地震対策事業の実施	河川管理施設の耐震対策実施内容・箇所数	進捗なし	
	64			緊急用河川敷道路の整備内容・延長	該当なし	
	65			津波ハザードマップ作成支援内容・作成市町村数	進捗なし	猪名川流域内の津波浸水が想定される尼崎市及び豊中市において、尼崎市が平成26年12月に、豊中市が平成27年4月にそれぞれ津波ハザードマップを公表したことにより、猪名川流域内の市町全てで津波ハザードマップが作成されたため、現時点では、新たな進捗はない。
	66		津波情報提供設備の設置内容・設置数	完了		
	67		陸閘の確実な操作のための取組	該当なし		

猪名川進捗点検結果(令和2年度～令和3年度の点検結果)

淀川水系河川整備計画の進捗点検における点検項目、観点及び指標

分類	No.	点検項目	観点	指標	令和2年度～令和3年度 進捗	点検結果
利水	68	環境に配慮した効率的な水利用の促進	慣行水利権の許可水利権化の実施	水利権の見直し、転用、慣行水利権の許可化の実施状況	進捗あり	水利権の許可更新時に取水量の減量や用途廃止等の水利権の見直しを行っている。また慣行水利権の許可水利権化については、法定化に向けた働きかけを行っており、平成30年度から令和3年度の間に水利権許可の実績は2件あり。
	69		効率的な水利用の促進	効率的な水利用のための取り組み	進捗あり	ダム貯水率をホームページで公表、各種イベントでのパネル展示などにより、節水への意識向上を図っている。
	70		安定した水利用が出来ていない地域の対策	新規水源の確保内容	進捗あり	川上ダム建設事業、天ヶ瀬ダム再開事業を実施中。
	71	渇水への備えの強化	渇水調整の円滑化への取り組み	渇水対策会議の機能拡大、会議構成員拡大及び常設化(利水者会議)の実現に向けた内容	進捗あり	H30年度に気候変動が淀川水系の渇水リスクに及ぼす影響についての検討を行った。 令和元年度は気象変動に関する研究動向や水資源分野への影響について情報共有・意見交換を実施した。 令和3年度に淀川水系渇水対応タイムラインの試行運用を開始し、渇水への対策とその時期について行動計画を作成した。
利用	72	水域の秩序ある淀川利用に向けての誘導または規制の取組(水面利用)		舟運の取り組み内容	該当なし	
	73			秩序ある河川利用に向けての取組内容・誘導、規制数	進捗なし	不法係留船は管内に1隻確認しており、所有者に対して移動を指導中であるが、現時点では、新たな進捗はない。
	74	川の安全利用施策の実施	安全利用点検の実施内容	進捗あり	河川巡視による安全利用点検の結果、利倉地区(豊中市)付近の親水護岸等3箇所を補修を実施した。また猪名川では、猪名川河川レンジャーのフェイスブックで河川利用の啓発を実施した他、猪名川河川事務所ホームページ内の子ども用サイト『いなネットキッズ』において、「川あそびのちゅうい」を掲載し、子どもたちの川遊びにおける注意喚起を行っている。 令和2年度～令和3年度にかけて、水難事故はなく、イベント等を通じた啓発により、水難事故防止意識の醸成に寄与しているものと考えている。今後も安全利用点検やイベント等を通じた河川利用の啓発活動を続けていく。	
	75	川らしい利用の促進	「川に活かされた利用」の実施	河川でしか出来ない利用の実施内容	進捗あり	流域の小学生を対象に愛護セミナーを開催し、猪名川の水生物調査等を通じて、水質管理や河川環境の保全・再生への取り組みを行った。新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、令和2年度は中止となったが、令和3年度はこんやく橋(川西市)、池田床固下流(川西市)、桑津橋(伊丹市)の3箇所を実施し、計121名の参加があった。 また、アユの産卵時期の11月頃に中園橋上流(尼崎市)付近において、一般住民を対象に産卵場を作る体験イベントを開催し、令和2年に69人、令和3年に84人の参加があった。イベントの参加者からは「子どもがいつも楽しく遊んでいる川で、アユが産卵することを知れて、この活動に参加出来たことが有意義だと思った」等の感想を頂いた。今後も河川でしか出来ない河川環境を利用した環境学習の提供を継続的に実施していく。
	76	陸域・水陸移行帯の秩序ある淀川利用に向けての誘導または規制の取組(川らしい河川敷利用)		河川保全利用に関する取組内容	進捗あり	猪名川直轄管理区間において、周辺環境及び地域特性を考慮しつつ川らしい自然環境を保全・再生する観点に立って、公園等の占用施設の新設及び更新許可にあたって意見を述べることを目的として、平成21年度から「猪名川・瀬川河川保全利用委員会」による議論を実施している。「グラウンド以外の草地についてもできるだけ川らしい植生となるよう配慮されたい。」という猪名川緑地(池田市)についての提言に対し、令和3年度までに外来種の駆除や猪名川らしい植生となるよう配慮に取り組んでいる。今後は、猪名川に関心を持ってもらい、より良い環境をつくっていくことを目標にした池田市猪名川自然再生プロジェクト「いなプロ」等の関係団体や、河川レンジャーと調整を図り、保全活動に取り組んでいく。
	77			違法行為の是正内容	進捗あり	不法工作物設置に対しては、従来より禁止警告看板の設置や是正指導を行っている。河川区域等における河川巡視の結果、令和2年度から令和3年度では、呉服橋(池田市)から神崎川合流部付近において不法投棄や不法占拠等を含む違法行為が認められたことから、今後も引き続き禁止警告看板の設置や継続的な指導を実施していく。
	78			水辺の整備内容	該当なし	
	79	憩い、安らげる河川の整備	憩い、安らげる河川の整備	小径(散策路)の利便性向上の取組内容	進捗なし	
	80			迷惑行為の是正内容・対策箇所数	進捗あり	ゴミの持ち帰り、火気使用やゴルフ練習等の禁止など、利用上のルールを定め看板で明示している。従来から多く見られたゴルフによる迷惑行為は、令和2年度は38件、令和3年度は26件と減少しているものの、迷惑行為は継続していることから、呉服橋(池田市)付近等でマナーを呼びかける看板の設置や口頭指導を行っており、今後も引き続き、迷惑行為防止に努めていく。
	81			ホームレス対応内容・確認数	進捗あり	管内のホームレスの個別訪問を月1回以上実施し、更に、自治体福祉部局と連携して個別訪問を実施している。令和3年度現在、名神高速猪名川橋上流(伊丹市)、善法寺歩道橋下(尼崎市)で各1人のホームレスが河川敷にて起居していることを確認している。平成29年度より確認数は2名となっており、平成14年度及び平成19年度からの起居者である。今後も引き続き自治体福祉部局と連携し、退去指導を行っていく。
82	まちづくり・地域づくりとの連携	まちづくりや地域連携の取り組み	歴史文化と調和した河川整備内容	該当なし		
83			水辺を活かしたまちづくりの利便性向上の取組内容	該当なし		



猪名川進捗点検結果(令和2年度～令和3年度の点検結果)

淀川水系河川整備計画の進捗点検における点検項目、観点及び指標

分類	No.	点検項目	観点	指標	令和2年度～令和3年度 進捗	点検結果	
維持管理	84	維持管理	堤防等の河川管理施設の機能を維持するための適切な維持管理の実施	ダム健康診断内容・補修箇所数、堤防等河川管理施設の巡視・点検及び補修の実施内容	進捗あり	令和2年度から令和3年度は、出水期前に堤防等河川管理施設及び河道の点検・評価要領に基づいた点検と評価を実施し、令和3年度の点検結果では、予防保全段階が44箇所、措置段階が0箇所となっている。 堤防等の河川管理施設は定期点検時や河川巡視時に状態を把握し、優先度を踏まえて順次補修等を行っている。今後もアセットマネジメントの視点に立って、適切な河川管理施設の機能維持のための巡視、点検・評価、補修を実施していく。	
	85			ダム機能の維持内容・堆砂量	進捗あり	一庫ダム(水資源機構)は完成後39年が経過しており、計画堆砂量2,500千m <sup>3</sup> のうち、令和3年度末で堆砂量は約1,005千m <sup>3</sup> 、堆砂率は約40.2%であり、堆砂量や堆砂の進行速度は概ね計画通りである。平成30年度の堆砂量の増加要因は、7月豪雨による影響が大きいと推測する。平成15年度から測定方法をマルチビームに変更して、測量精度の向上を図っており、平成29年度以降も継続して実施している。今後も堆砂量の継続的な監視を行うとともに、今後の状況によって、堆砂除去等を適宜検討していく。	
	86			許可工物の点検整備及び対策についての施設管理者への指導	点検、修繕内容・実施数	進捗あり	「許可工物に係る施設維持管理技術ガイドライン」に基づく点検様式での点検結果の報告を設置者に依頼した。設置者自らが、毎年出水期前に点検を行い、その結果は河川管理者に報告された。点検数は、令和2年度に144件、令和3年度に142件で、各年度ともに要補修箇所はなかった。
	87			河道内樹木の伐採の実施状況	進捗あり	令和2年度から令和3年度は、「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」の取組みを含め、川の流れを阻害するものや、河川管理上の支障になる樹木について、河川環境に配慮しながら、森本地区(伊丹市)等で令和2年度は11箇所約9万m <sup>2</sup> 、令和3年度は8箇所約2万m <sup>2</sup> 、合計約11万m <sup>2</sup> の樹木伐採を実施した。伐採した樹木の幹については、一般の方に配布することで、コスト縮減を図っている。一般の方には、ホームページ、インスタグラム等にて、無料配布を呼びかけており、令和2年度は9回、令和3年度は6回の無料配布を実施した。	
	88			河川区域等の管理	堆積土砂の除去の実施内容	進捗なし	近年では、河道断面の維持管理の観点から、定期的又は出水後の定期縦横断面測量結果をもとに、堆積土砂の状況を確認したところ、河道断面に著しい悪影響を及ぼす堆積箇所が見られないことから、堆積土砂の除去は実施していない。
89		ゴミの不法投棄の状況及び処分の実施内容	進捗あり	猪名川の直轄河川管理区間におけるゴミの不法投棄については、事務所ホームページ上で不法投棄禁止の啓発を行うとともに、投棄箇所に警告のため看板設置や、ホームレスの出すゴミやバーベキュー利用によるゴミに対して指導を実施した。 令和2年度は35m <sup>3</sup> 、令和3年度は45m <sup>3</sup> 、合計80m <sup>3</sup> の不法投棄ゴミ等を処分した。今後も引き続き、投棄箇所での警告看板による啓発を実施するとともに、投棄が発生する前の事前の対策について、現場における取組の中で検討していく。			